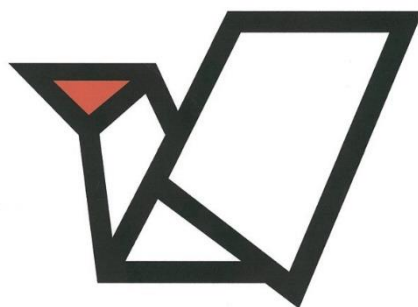


第3期保健事業実施計画 (データヘルス計画)

令和6年度～令和11年度



神奈川県後期高齢者医療広域連合

目次 (1/2)

【本編】 第1章 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項	
(1) 計画の趣旨	1
(2) 計画期間	2
(3) 実施体制・関係者連携	2
第2章 当広域連合の現状	
(1) 保険者の特性	
1) 総人口と被保険者数の推移	3
2) 被保険者の状況	3
3) 年齢階層別構成比の推移	5
4) 被保険者の要介護認定状況	6
(2) 前期計画に対する実績と評価	
1) 総括評価	8
2) 個別事業評価	9
第3章 健康医療情報等の分析	
(1) 被保険者数に関する分析	
1) 年齢階層別被保険者数の推移予測	19
2) 市区町村別被保険者数の推移予測	20
(2) 寿命に関する分析	
1) 平均余命と平均自立期間	22
2) 要介護期間	23
3) 死因	25
(3) 健康診査に関する分析	
1) 健康診査受診状況	26
2) 健康診査結果からみるリスク状況	28
3) 後期高齢者質問票からみるリスク状況	31
4) 歯科健康診査受診状況	34
(4) 医療費に関する分析	
1) 医療費基礎統計値	36
2) 市区町村別の被保険者1人当たり医療費	38
3) 医療費の将来予測	40
4) 高額医療費の状況	41
5) 疾病別医療費の状況	45
6) 生活習慣病の医療費	48
7) 健康診査受診と医療費の関係	49
8) 後発医薬品の普及状況	50
(5) 介護に関する分析	
1) 要介護認定者数の状況	51
2) 要介護認定者の有病状況	52
3) 要介護認定者の医療費状況	53
4) 要介護認定者の介護給付状況	53
第4章 課題と対策	
(1) 計画全体に関わる目的と現状把握	54
(2) 事業推進に関わる課題と対策	55

目次 (2/2)

第5章 保健事業計画

(1) 第3期データヘルス計画の体系図	56
(2) 総合的な評価指標について	57
(3) 第3期保健事業一覧	58
(4) 個別事業計画	
1) 健康診査事業	59
2) 歯科健康診査事業	60
3) 低栄養予防事業	61
4) 口腔機能低下予防事業	62
5) 服薬適正化事業	63
6) 身体的フレイル予防事業	64
7) 重症化予防事業	65
8) 健康状態不明者対策事業	67
9) 後発医薬品の利用促進事業	68
10) 市町村支援事業	69

第6章 その他

(1) 計画の評価・見直し	70
(2) 計画の公表・周知	70
(3) 個人情報の取扱い	70
(4) 地域包括ケアに関する取組	70

【資料】

(資料-1) 市区町村別の被保険者数の推移明細 (平成30年度～令和4年度)
(資料-2) 市区町村別の年齢階層別被保険者数明細 (令和4年度)
(資料-3) 市区町村別の要介護認定者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-4) 市区町村別の75歳以上人口の推移予測明細 (令和7年度・令和12年度・令和17年度)
(資料-5) 市区町村別の平均余命・平均自立期間明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-6) 市区町村別の要介護期間明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-7) 75歳以上死亡者における主要死因別人数明細 (平成30年度・令和2年度)
(資料-8) 死亡レセプトから見た75歳以上死亡者における主要死因別明細 (令和4年度)
(資料-9) 市区町村別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-10) 年齢階層別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-11) 市区町村別の健康診査結果6項目リスク保有者数明細 (令和4年度)
(資料-12) 市区町村別のCKDリスクレベル別人数明細 (令和4年度)
(資料-13) 市区町村別の質問票リスク保有者数明細 (令和4年度)
(資料-14) 市区町村別の歯科健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-15) 市区町村別の1人当たり医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)【年齢調整なし】
(資料-16) 市区町村別の1人当たり医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)【年齢調整あり】
(資料-17) 市区町村別の高額・長期入院レセプト件数明細 (平成30年度・令和4年度)
(資料-18) 市区町村別の人工透析導入者数明細 (平成30年度・令和4年度)
(資料-19) 大分類による疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-20) 中分類による疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-21) 市区町村別の医療費上位5疾病分類 (令和4年度)
(資料-22) 生活習慣病の疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)
(資料-23) 市区町村別の重複・頻回・重複投薬者数明細 (令和4年度)
(資料-24) 市区町村別の後発医薬品利用状況明細 (令和4年度)
(資料-25) 75歳以上要介護認定者の主要疾病別人数明細 (令和4年度)
(資料-26) 市区町村別の75歳以上要介護認定者の介護給付額明細 (令和4年度)

【参考】

(参考-1) 本計画書で使用した疾病分類表
(参考-2) 本計画書で使用した死因分類表 (死因簡単分類)
(参考-3) 健康診査結果のリスク判定基準
(参考-4) 後期高齢者質問票リスク判定基準
(参考-5) 本計画書で使用したフレイル該当疾病分類

【本 編】

第1章 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項

（1）計画の趣旨

「第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）」の対象期間は、令和6年度～令和11年度となります。計画開始の翌年令和7年度には、「2025年問題」として戦後の第一次ベビーブーム（1947～1949年）に生まれた、いわゆる「団塊の世代」のすべての人が75歳を迎える年度となり、日本がさらなる「超高齢社会」に突入します。当広域連合においても被保険者の大幅な増加が見込まれる中、後期高齢者の心身の健康保持や自立した日常生活の維持が求められています。

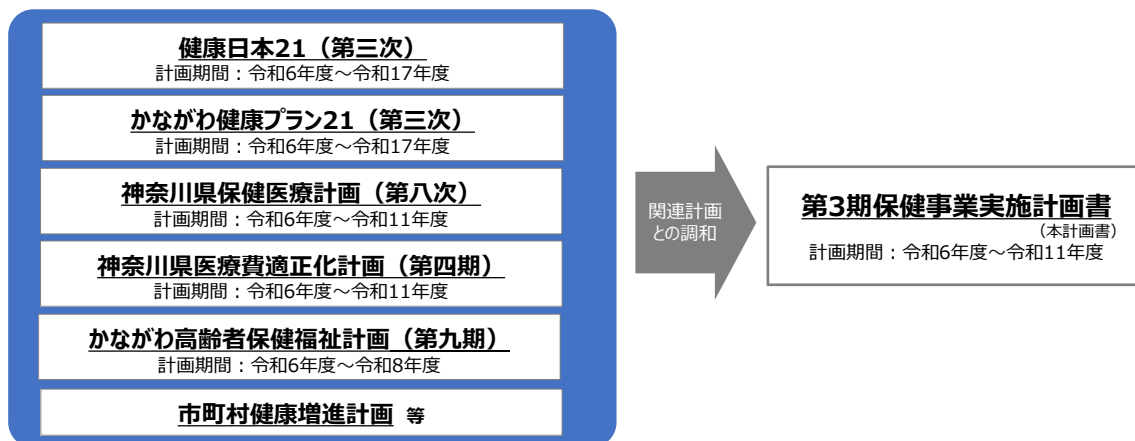
これまで当広域連合の保健事業実施計画（データヘルス計画）は「高齢者の医療の確保に関する法律に基づく保健事業の実施等に関する指針」（平成二十六年厚生労働省告示第百四十一号）に基づき作成してきました。当広域連合においても、第1期・第2期を通じ、約10年間においてはKDBシステムのデータや診療報酬明細書（レセプトデータ）の分析による現状把握と健康課題の抽出により、被保険者の生活習慣病をはじめとする疾病の発症や重症化の予防に重きを置いた保健事業が主でした。

しかし、令和2年度からスタートした「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の推進を図るためには、これまでのレセプト等によるデータ分析に基づいて疾病や医療費に関する事業計画を検討だけでなく、介護保険者である構成市町村が取り組む介護予防事業や地域包括ケアシステムの強化をしていく必要があります。

また、これまでの全国的なデータヘルス計画に基づいた保健事業の実施状況を踏まえ、「高齢者保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き」（令和5年3月30日改正）が示され、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取組や共通評価指標の設定が求められています。当広域連合においても、標準化された計画策定における考え方のフレームや共通評価指標を活用することにより、全国の広域連合間の実績等を比較可能にすることで、市町村との連携を含めた効果的な保健事業の抽出につなげることが期待されています。

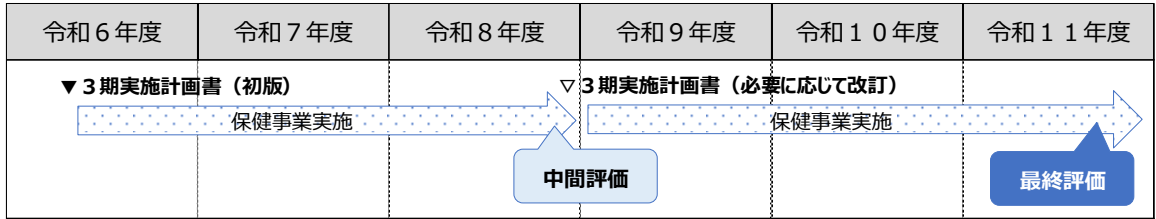
本計画による保健事業は、当広域連合が構成市町村と協力して高齢者保健事業を実施していくことにより、できる限り長く住み慣れた地域で自立した生活を送ることのできる高齢者を増やすことを目的とします。また、効果的な保健事業の実施により、生涯にわたる健康の保持増進、生活の質（QOL:Quality Of Life）の維持及び向上が図られ、結果として医療費の適正化、要介護認定率の低下や介護給付費の減少に資するものと考えます。

本計画の策定に当たっては、令和6年度から開始される『健康日本21（第三次）』に示された方針を踏まえ、今後神奈川県にて策定される『かながわ健康プラン21（第三次）』、『神奈川県保健医療計画（第八次）』、『神奈川県医療費適正化計画（第四期）』、『かながわ高齢者保健福祉計画（第九期）』、さらに構成市町村にて策定される健康増進計画等と整合性を図りながら推進していきます。



(2) 計画期間

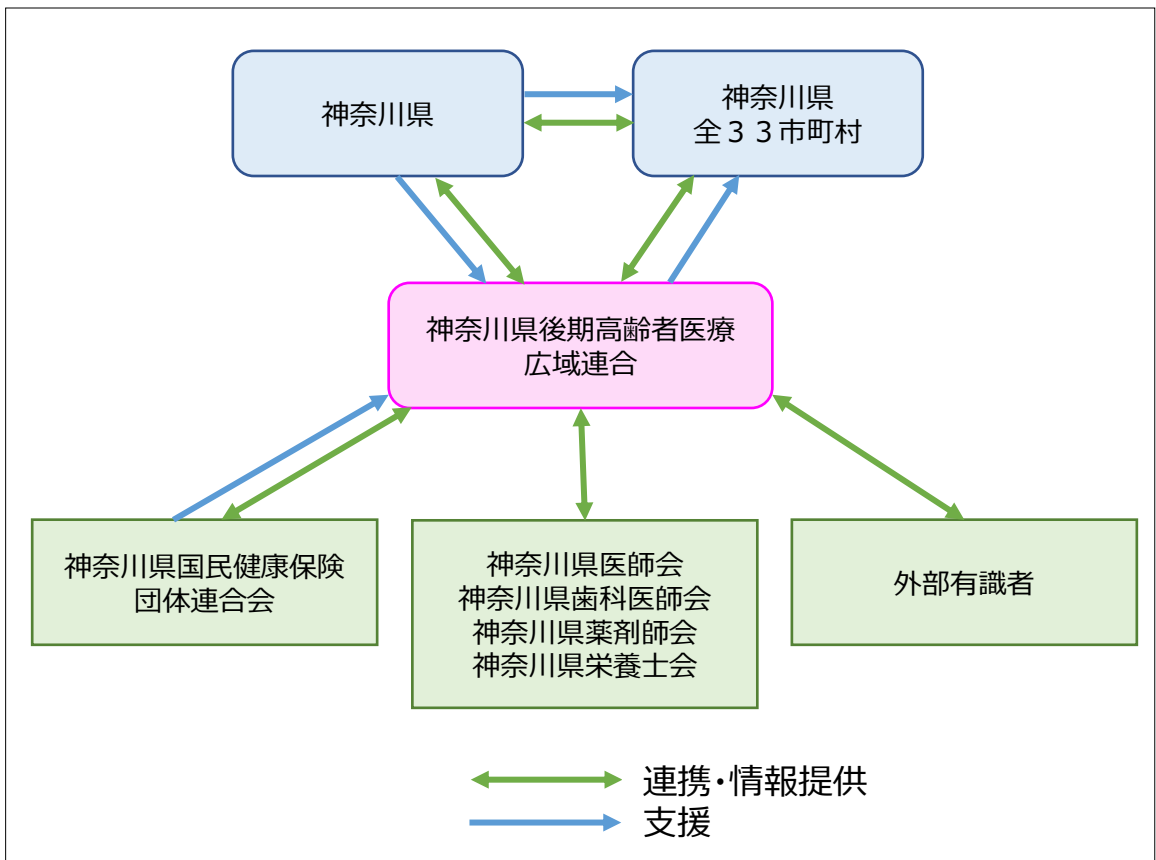
本計画の期間は、令和6年度～令和11年度です。計画期間の途中の令和8年には中間評価を実施し、必要に応じて事業内容など、計画の見直しを行います。更に、令和11年度には、最終報告書を作成する予定です。



(3) 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、広域連合と市町村が緊密に連携を図り、高齢者の特性を踏まえた保健事業を実施することが重要です。

また、大学などの外部有識者との連携・協力により、保健事業に関する助言や分析を受けるとともに、保健医療関係者とも連携し、効果的な保健事業を推進していきます。



第2章 当広域連合の現状

(1) 保険者の特性

1) 総人口と被保険者数の推移

平成30年度から令和4年度までの神奈川県人口、および当広域連合の被保険者数の推移は以下のとおりです。

【神奈川県総人口と被保険者数の推移】

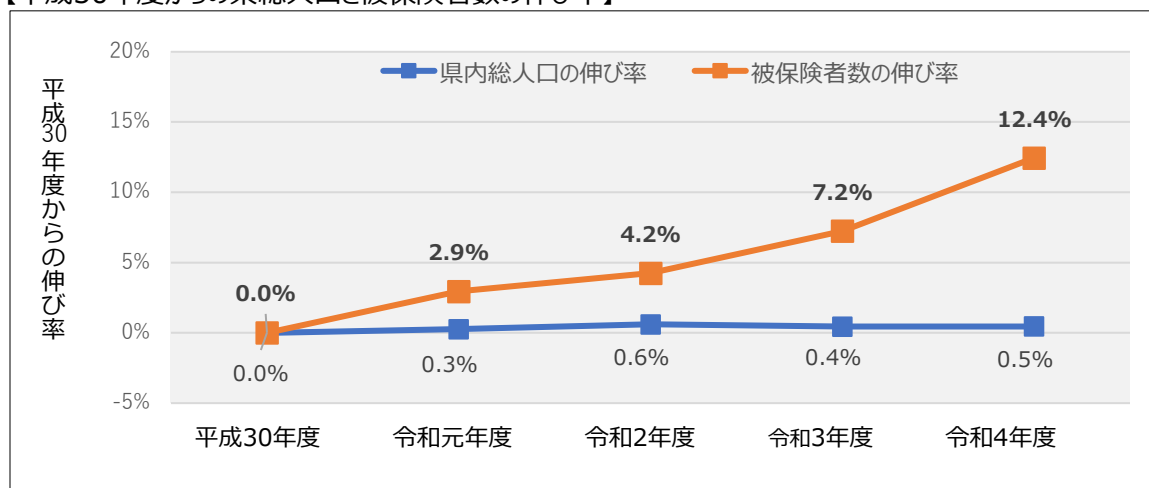
(年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内総人口(人)	9,180,510	9,204,965	9,236,337	9,221,129	9,222,108
被保険者数(人)	1,117,923	1,150,895	1,165,372	1,198,906	1,257,039
被保険者率	12.2%	12.5%	12.6%	13.0%	13.6%
県内総人口の伸び率	0%	0.3%	0.6%	0.4%	0.5%
被保険者数の伸び率	0%	2.9%	4.2%	7.2%	12.4%

* 出典：「神奈川県人口統計調査(月報)」翌年度初日(4月1日)現在

* 伸び率は平成30年度からの増減率を示す

令和4年度の県総人口は、平成30年度と比較すると41,598人(伸び率0.5%)の微増となった一方、当広域連合の被保険者数は、139,116人(伸び率12.4%)の増加となります。令和3年度以降の被保険者数の伸び率が大幅に増加している要因は、昭和22年～昭和24年生まれの、いわゆる「団塊世代」の方が75歳に到達する「2025年問題」に差し掛かったためです。

【平成30年度からの県総人口と被保険者数の伸び率】



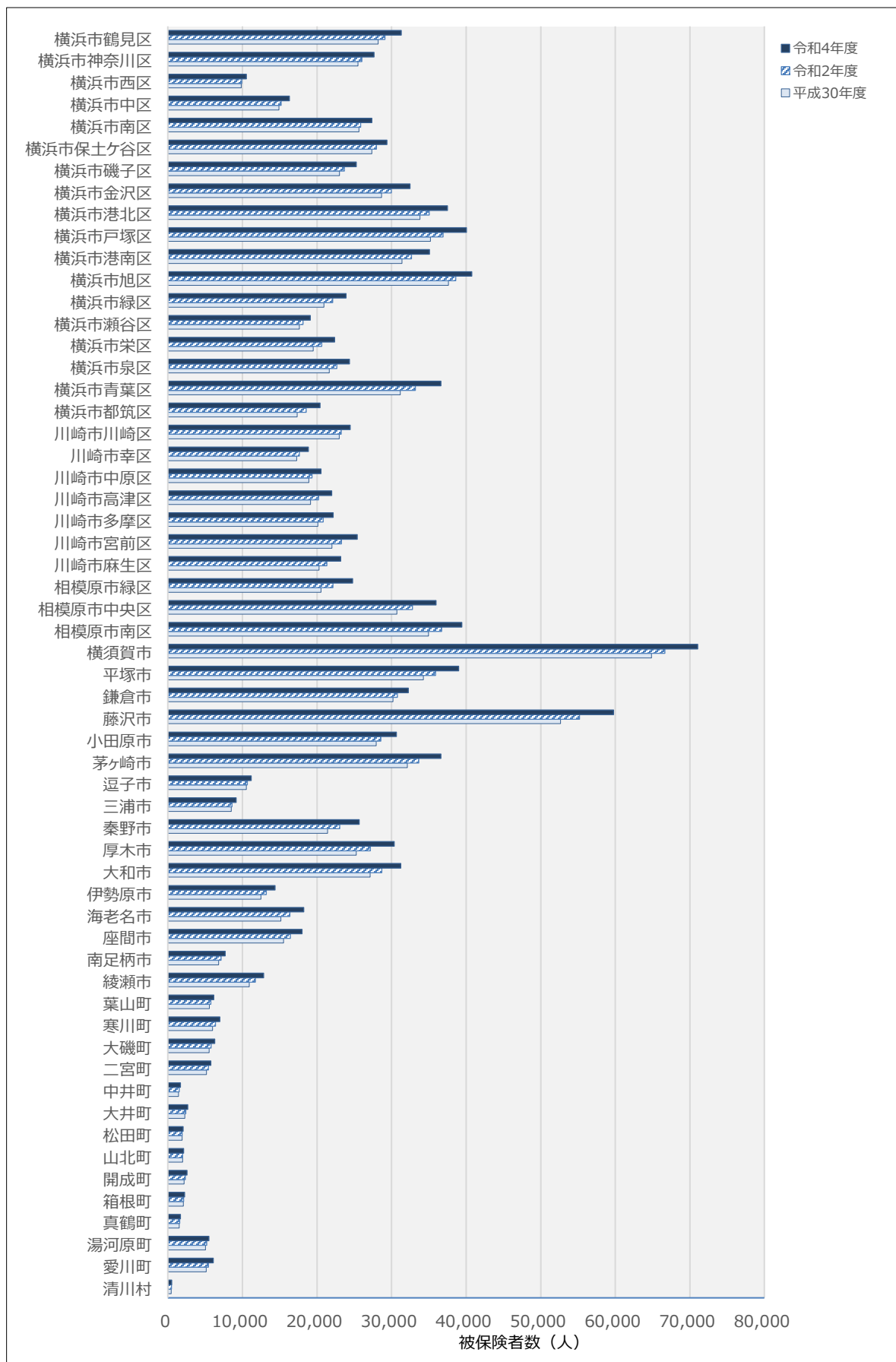
* 出典：「神奈川県人口統計調査(月報)」翌年度初日(4月1日)現在

* 伸び率は平成30年度からの増減率を示す

2) 被保険者の状況

平成30年度・令和2年度・令和4年度の当広域連合の市区町村別の被保険者数の推移を次ページに掲載します。平成30年度からの5年間で、県内58の市区町村すべてで被保険者数が増加しており、特に増加人数が多いのは、藤沢市、横須賀市、横浜市青葉区、相模原市中央区、厚木市であり、これら5市区の増加人数はいずれも5,000人を超えています。また、増加率が著しいのは、相模原市緑区、海老名市、厚木市であり、これら3市区の増加率はいずれも20%を超えています。なお、被保険者数の多い横浜市と川崎市の市全体としての増加率は11%台で、県平均の増加率：12.4%を下回っています。

【市区町村別の被保険者数の推移】



* 当広域連合にて管理している最新被保険者基本情報データ（令和5年5月末時点）より独自集計
 * 平成30年度～令和4年度の各年度末（翌年3月31日）時点での被保険者資格保有者のみを計上
 * 詳細の明細については（資料－1）参照

3) 年齢階層別構成比の推移

平成30年度、令和2年度、令和4年度における被保険者の年齢階層別（5歳刻み）・男女別の人数は下表の通りです。各年齢階層ともに男女の比率に大きな変動はなく、75歳未満は減少しているものの、75歳以上はすべての年齢階層においては増加が続いています。

【被保険者の年齢階層別被保険者数の推移】

(単位：人)

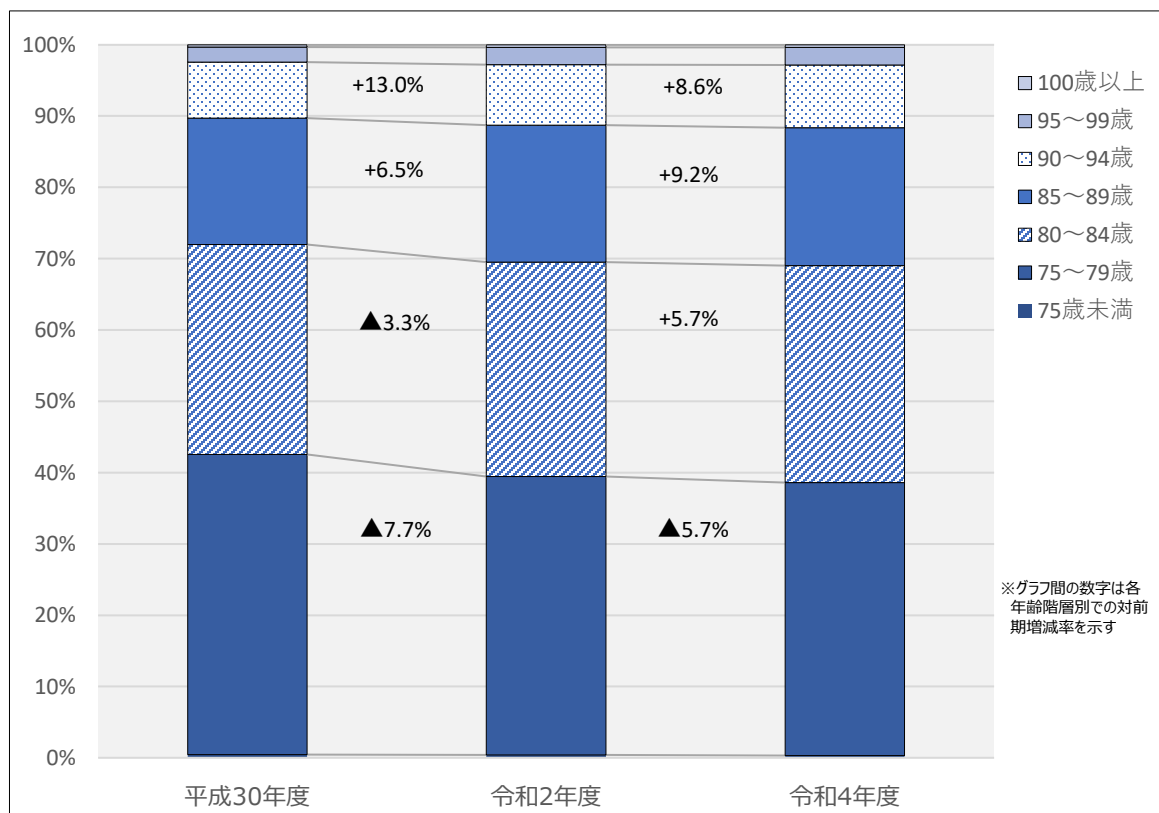
年齢階層	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	男性	女性	(計)	男性	女性	(計)	男性	女性	(計)
75歳未満	2,594	2,443	5,037	2,507	2,142	4,649	2,333	2,053	4,386
75～79歳	212,955	257,805	470,760	204,389	250,845	455,234	216,462	264,526	480,988
80～84歳	141,928	186,893	328,821	151,292	198,852	350,144	163,849	218,345	382,194
85～89歳	73,371	124,895	198,266	85,074	138,950	224,024	94,268	149,050	243,318
90～94歳	25,554	62,002	87,556	29,685	69,132	98,817	33,783	76,767	110,550
95～99歳	4,570	19,113	23,683	5,801	22,319	28,120	6,704	24,199	30,903
100歳以上	489	3,311	3,800	542	3,842	4,384	586	4,114	4,700
(計)	461,461	656,462	1,117,923	479,290	686,082	1,165,372	517,985	739,054	1,257,039

* 当広域連合にて管理している最新被保険者基本情報データ（令和5年5月末時点）より独自集計

* 令和4年度の市区町村別明細については（資料－1）参照

男女合わせた被保険者の年齢階層別構成比をみると、各年齢階層別の増減率に大きな差が見受けられます。75～79歳の年齢階層においては平成30年度から連続して減少、80～84歳の年齢階層は令和2年度では一旦減少したものの令和4年度では増加、85歳以上の年齢階層は連続して増加が続いています。この状況は後期高齢者の中でもより高齢化にシフトしていていることを示しており、高齢者の寿命延伸要因によるものと考えられます。

【被保険者の年齢階層別構成比】



* 当広域連合にて管理している最新被保険者基本情報データ（令和5年5月末時点）より独自集計

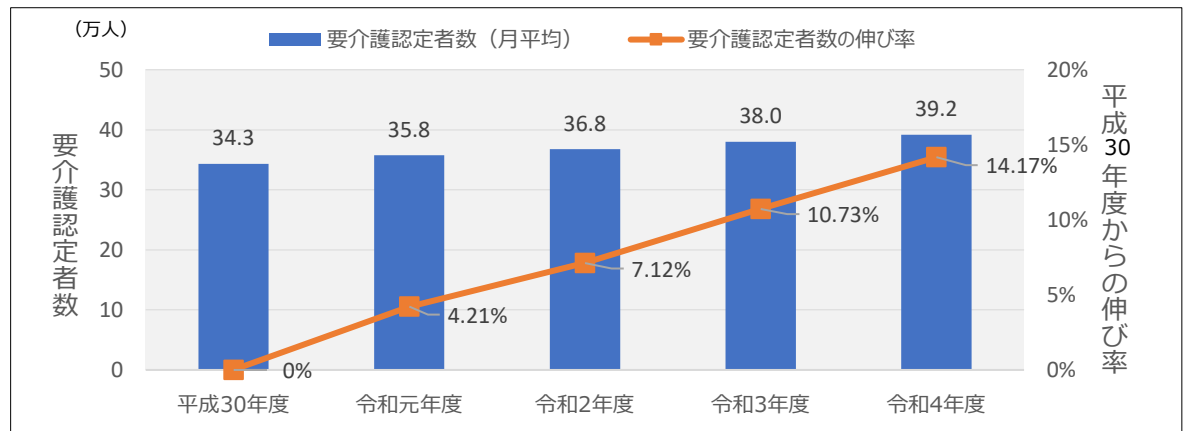
* 令和4年度の市区町村別明細については（資料－2）参照

4) 被保険者の要介護認定状況

令和2年度からスタートした「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」にも深く関わる、75歳以上被保険者の要介護または要支援の認定状況（以下、介護保険における「要介護認定」と「要支援認定」をまとめて「要介護認定」と記載）についてです。

厚生労働省の「介護保険事業状況報告（令和5年3月暫定版）」によると、令和5年3月末時点における神奈川県75歳上介護保険第1号被保険者数は1,297,201人です。このほぼすべての方が当広域連合の被保険者でもありますが、平成30年度以降の要介護認定者数の推移状況は次のグラフのとおりです。

【75歳以上の要介護認定者数とその伸び率（対平成30年度）】

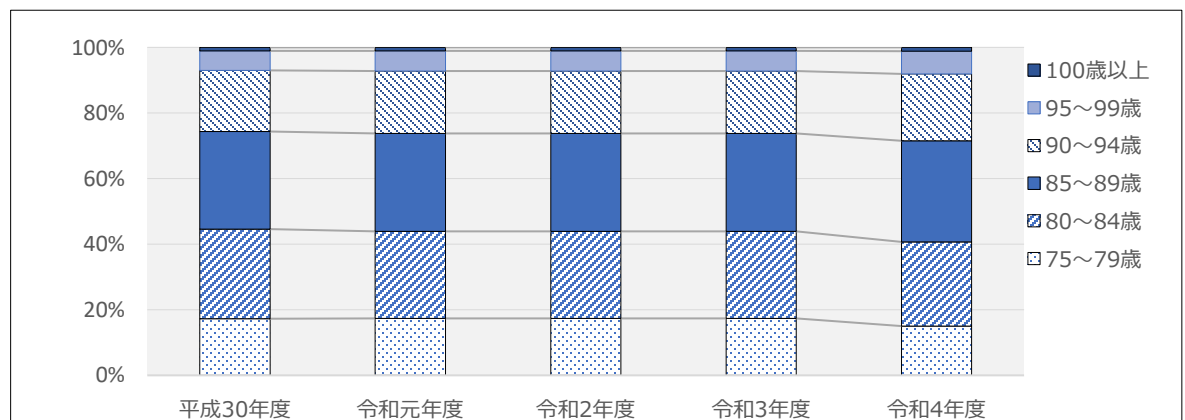


* KDB健康スコアリング(介護) より集計
 * 認定者数は月次集計値の年間累積数を12カ月で除して月平均として算出した値
 * 市区町村別の推移と明細については(資料-3)を参照

要介護認定者数は平成30年度以降毎年1万人以上の増加が続いており、平成30年度からの5年間で約14%の増加となっています。なお、市区町村別の要介護認定者数の推移状況については次ページのとおりです。

さらに、要介護認定者の年齢階層別の構成比の推移をみたのが次のグラフです。年齢階層ごとの構成割合は平成30年度から令和3年度までは大きな変動はなかったものの、令和4年度については75～79歳の年齢階層の割合が減少した代わりに、85～89歳、90～94歳、95～99歳の3つの年齢階層の割合が増加しました。

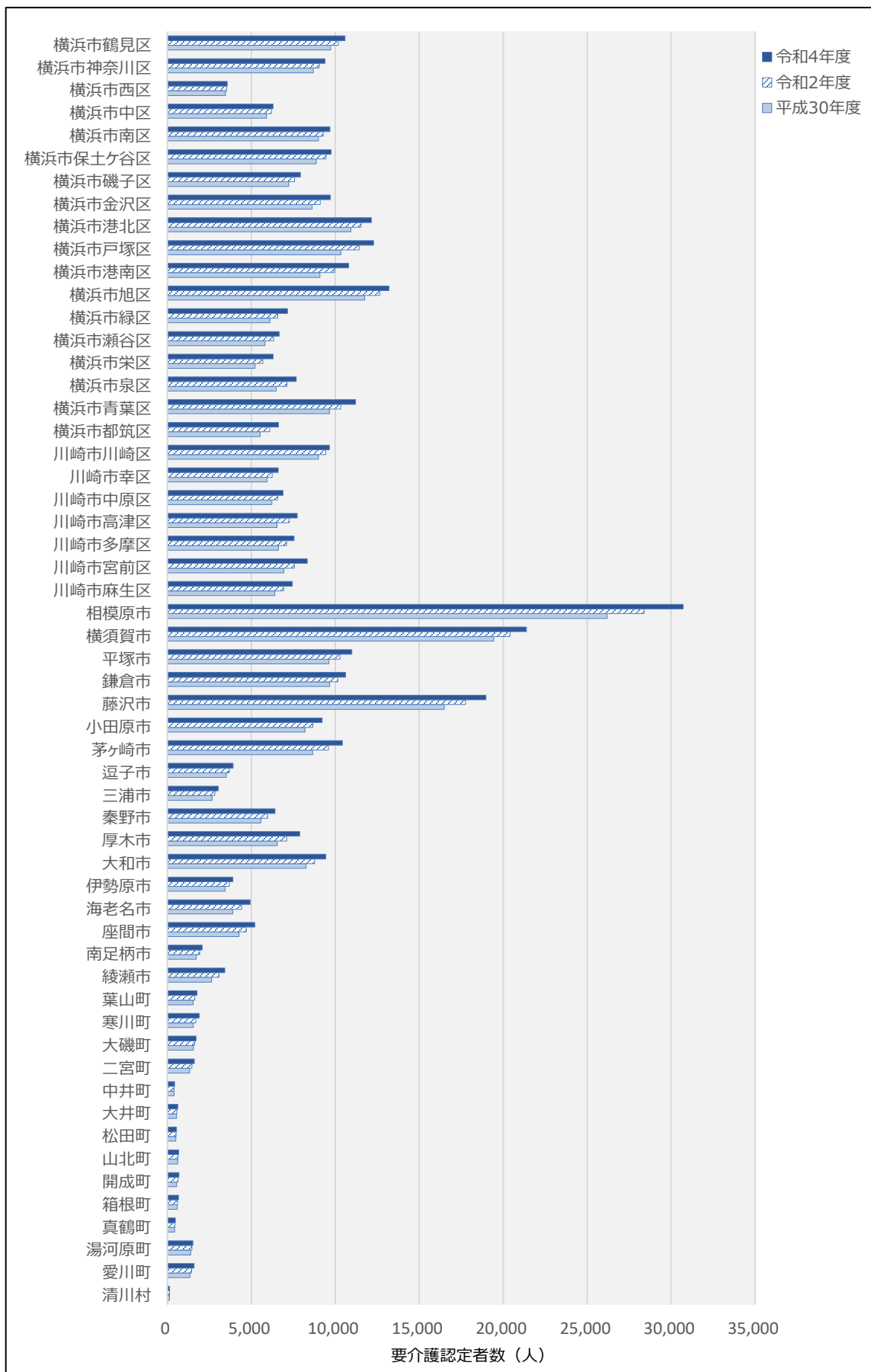
【要介護認定者の年齢階層ごとの構成推移】



* KDB健康スコアリング(介護) より集計

なお、要介護度ごとの5年間の構成推移については大きな変化はみられません。

【市区町村別の75歳以上要介護認定者数の推移】



* KDB健康スコアリング(介護)より集計(相模原市は全市でまとまっていることに注意)
 * 認定者数は月次集計値の年間累積数を12ヵ月で除して月平均として算出した値
 * 市区町村別の推移と明細については(資料-3)を参照

(2) 前期計画に対する実績と評価

1) 総括評価

平成30年6月に初版作成、令和3年2月に改訂した『第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）』で計画した保健事業と、その実施評価結果は下表のとおりです。

【前期計画における保健事業とその実施評価】

保健事業	事業の内容	実施評価
1) 健康診査事業	被保険者の生活習慣病等の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療による重症化予防を図るため、市町村が主体となって実施する健康診査事業費用の一部を助成する。	B
2) 歯科健康診査事業	歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的とし、県歯科医師会への委託により歯科健康診査を実施する。	A
3) 重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業	レセプトデータを活用し、医療機関への重複や頻回受診が確認される被保険者、または重複して同一薬を処方されている被保険者を特定し、適正な医療機関へのかかり方等について、保健師等の専門職による指導を行うことにより、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。	B
4) 糖尿病性腎症重症化予防事業	健康診査及びレセプトデータを活用し、事業対象者を選定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように保健師等の専門職による保健指導を行い、病期進行の防止または遅らせることにより、対象者のQOL（Quality of life：生活の質）の向上を図り、医療費の適正化に繋げる。	A
5) 後発医薬品利用差額通知事業	レセプトデータを活用し、後発医薬品の使用率が低く、後発医薬品に切り替えることにより薬剤費が一定額以上軽減する被保険者を特定し、通知を送付することで、後発医薬品への切り替えを促進し、医療費の適正化を図る。	B
6) 医療費通知事業	被保険者の健康に対する意識向上、ひいては、後期高齢者医療制度の健全な運営に資することを目的とし、レセプトデータを活用し、年2回医療費通知を送付する。	A
7) 市町村保健事業支援	市町村で行っている保健事業を支援し、実効性のある保健事業の拡大を図る。条件を検討し補助金を交付する。	A
8) 薬剤併用禁忌	併用禁忌薬剤による健康被害の防止を図る。	A

* 平成30年度から令和4年度までに実施した事業について、令和5年9月末段階で行った評価結果を掲載

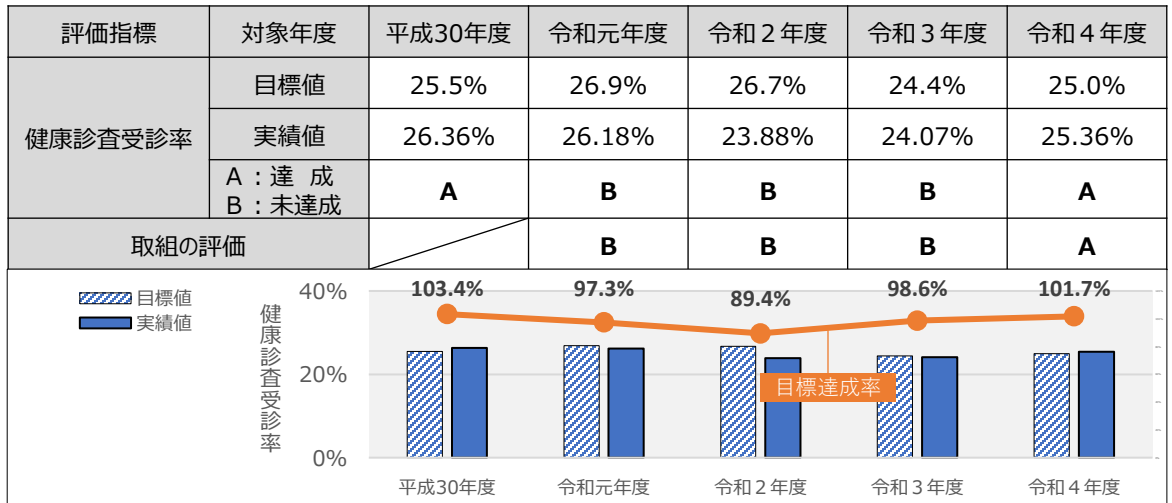
* 実施評価(A/B/C)の意味は次のとおり
A：目標を達成し十分な効果が現れている
B：目標値は未達であるが一定の効果が現れている
C：目標値は未達であり取組の改善が必要である

前期計画で対象期間とした平成30年度から令和4年度までの5年間においては、令和2年度からの新型コロナウイルスの蔓延と度重なる非常事態宣言の発出があり、とりわけ高齢者の感染・重症化リスクが強く懸念される中でこれらの保健事業を実施してきました。結果としてはアウトプット/アウトカム評価において数値目標に達することができなかった事業もいくつかありますが、計画当初に想定できなかった保健環境の激変を考慮すると、ほぼ目的は達成できたものと評価しています。

2) 個別事業評価

事業1 健康診査事業

①健康診査受診率（アウトプット/アウトカム評価項目）



* KDB等のシステム登録データからの集計結果については（資料－9）を参照

■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

初年度の実績値26.36%に対し、令和4年度の実績値は25.36%となり、初年度と比較しても実績値で1.00ポイント減少している。この結果には、新型コロナウイルス蔓延により健康診査の受診控えの影響があったと想定されたが、コロナ禍でも受診率が下がっていない市町村もあった。計画期間中を通して受診率が伸びなかった要因の分析が必要である。

■プロセス評価（実施方法）

当広域連合及び市町村による事業周知の方法や受診勧奨に工夫を重ねて、また、市町村の取組事例を取りまとめ、市町村への情報提供を行った。主治医をはじめとする医療専門職からの受診勧奨を積極的に推進していく仕組みづくりが求められ、当広域連合から健康診査の受診勧奨に医療機関の支援を働きかける必要がある。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

令和2年度以降は、市町村への補助の仕組みについて見直し検討を行い、その上で計画上の対象者を「県内に住所を有する被保険者」から「住所地特例者を含めたすべての被保険者」に変更した。

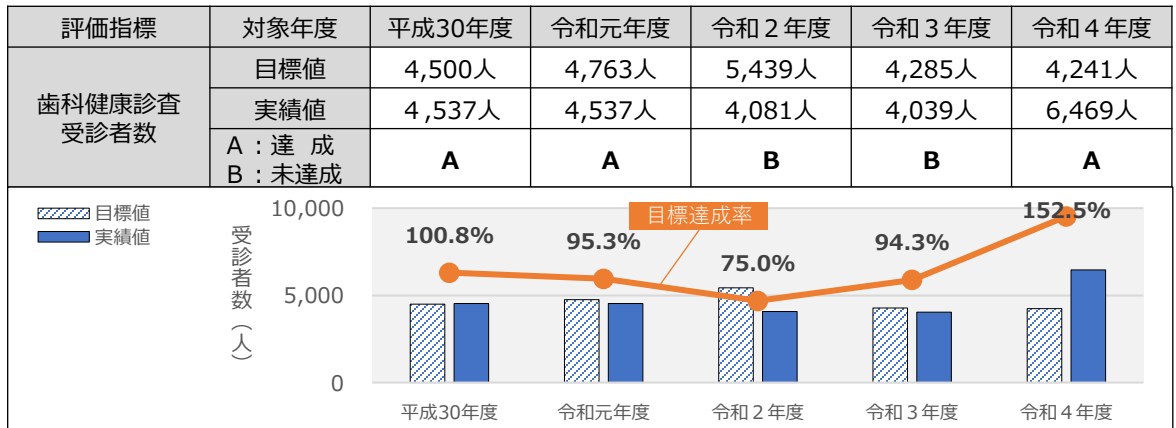
■課題と今後の対策

当広域連合としては市町村毎の健康診査受診率の分析により課題を把握し、個々の市町村の現状に即した支援を行うことが必要である。また、後期高齢者への健康診査の受診勧奨は書面や通知では限界があることから、今後は、地域包括ケアシステムに関わる機関の協力が得られる体制の構築を、県及び市町村と連携して検討する。

さらに、一体的実施事業の拡充に伴い、地域住民が自主的に取り組む「通いの場」や「老人会」などの既存の住民組織に県民目線の言葉で啓発の協力をお願いし、可能な限り多くの被保険者の健康状態を把握することが重要と考える。

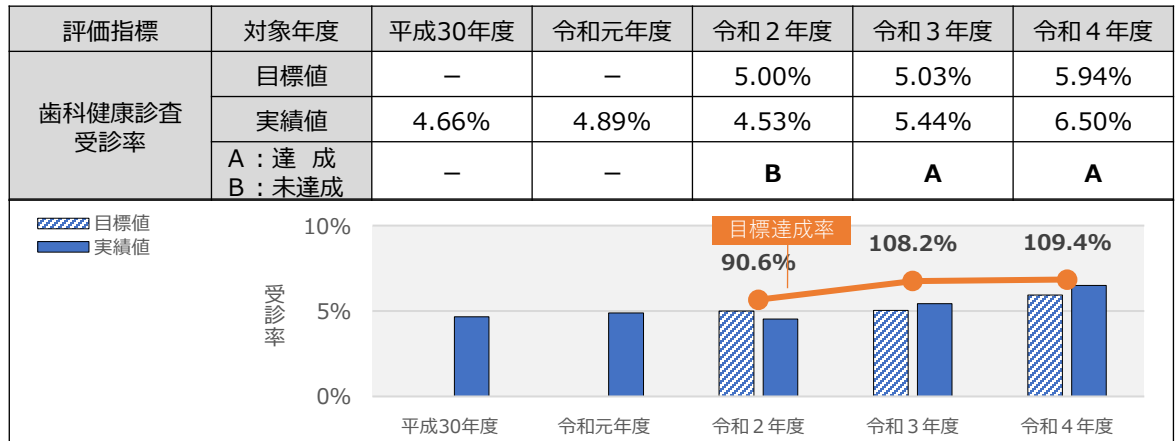
事業2 歯科健康診査事業

① 歯科健康診査受診者数（アウトプット評価項目）



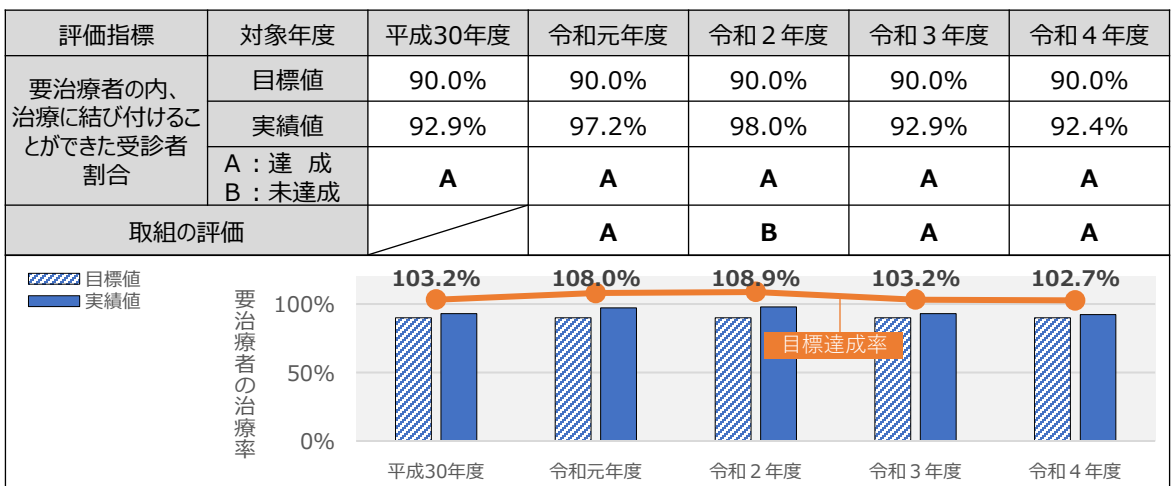
* KDB等のシステム登録データからの集計結果については（資料-15）参照

② 歯科健康診査受診率（アウトプット評価項目）



* 本来対象外となる長期入院患者や施設入所者等を考慮しなかった場合の市区町村別受診率の集計値については（資料-15）を参照

③ 要治療者の内、治療に結び付けることができた受診者数の割合（アウトカム評価項目）



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

前年75歳到達者を対象とする歯科健康診査の令和2年度の受診率は目標5.00%に対し、実績は4.53%であった。健康診査受診後に歯科の治療を必要とする受診者が、治療に結び付いた受診率は90%の目標に対し、98%と高い実績値となった。令和4年度にはアウトプット評価、アウトカム評価において、すべて目標達成することができた。

■プロセス評価（実施方法）

歯科健康診査は、神奈川県歯科医師会の協力を得て県内全域で実施することができた。また、令和3年度からは、個別受診勧奨通知を発送し、受診率を高める工夫を行った。受診勧奨は令和4年度も実施し、受診率の向上につながった。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

歯科健康診査の対象者は「前年度で75歳に到達した方」としていることから、「歯科健康診査受診者数」という人数では保健事業として評価が難しいと考え、令和2年度は「受診率目標5.00%」とし、令和3年度以降は「前年度実績+0.5%」の目標値に変更した。

また、令和4年度と令和5年度に限定して、低栄養防止の一環やオーラルフレイルによる社会的フレイル予防を目的に、管理栄養士が栄養相談を行う「モデル事業」を、神奈川県歯科医師会及び神奈川県栄養士会の協力のもと、横須賀市、鎌倉市、三浦市の3市で実施した。

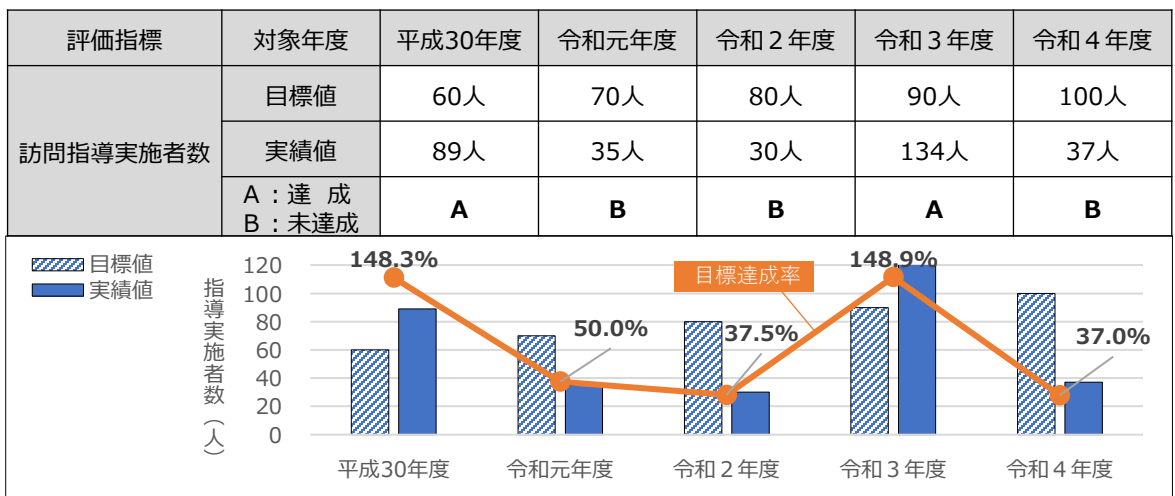
■課題と今後の対策

受診率の向上が本事業の最大の課題であることから、被保険者の利便性を高めることが重要であり、多くの歯科医院に当該事業への参加を引き続き働きかけていく。

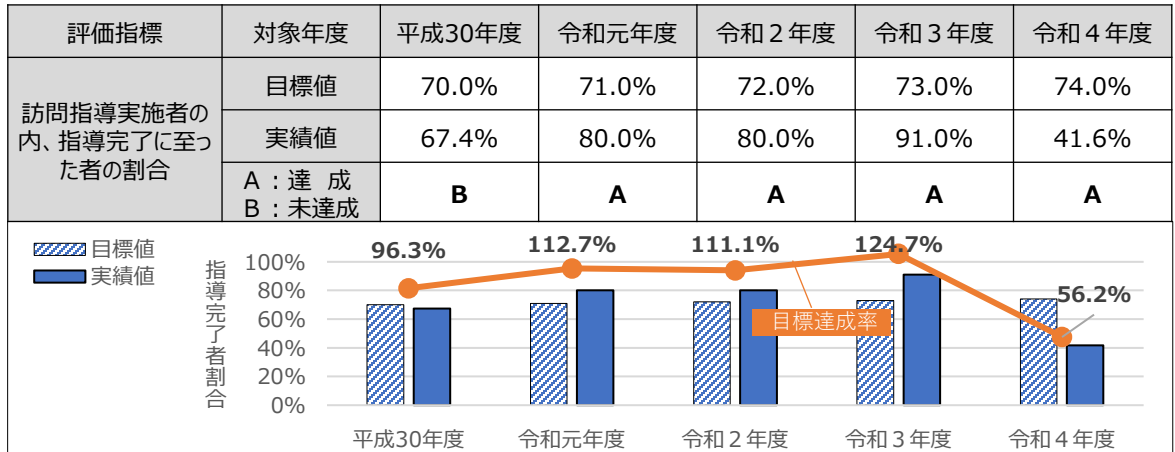
また、管理栄養士による低栄養防止の取組や、保健師等の専門職による口腔機能低下と全身疾患のリスクの啓発を、この事業との関連において今以上に充実させていくことが求められる。これらの事業は、市町村が実施する高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組みと関係が深いことから、市町村との連携強化が今後のポイントである。

事業3 重複・頻回受療者、重複投薬者訪問指導事業

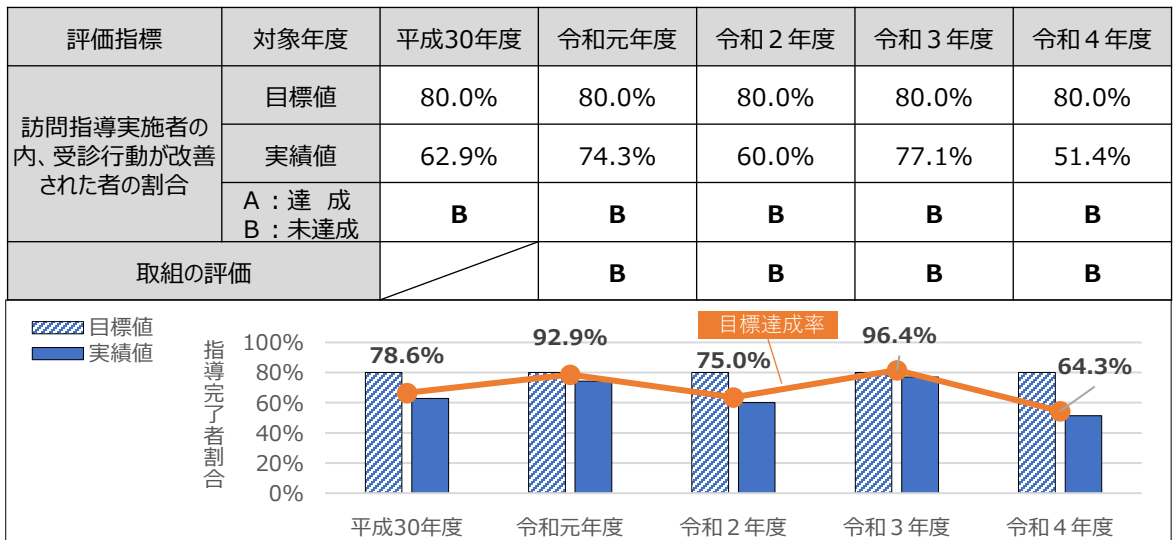
①訪問指導実施者数（アウトプット評価項目）



②訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合（アウトプット評価項目）



③訪問指導実施者の内、受療行動が改善された者の割合（アウトカム評価項目）



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

本事業は、受診行動の適正化を目的として、被保険者への訪問指導を行うものである。令和3年度は重複受診、頻回受診、重複服薬を継続的に行っている対象者に広げたため、訪問指導実績者数が大幅に増加した。令和4年度は電話勧奨により、効果が見込まれる対象者に絞り込んだため、訪問指導実績者は前年よりも大幅に減少した。また、重複服薬者の保健指導にはアウトカム評価の訪問指導実施者の内、受診行動が改善された者の割合は、計画期間中の年度において一度も80%の目標値には至らなかった。

■プロセス評価（実施方法）

対象者への訪問指導を行う専門職は外部事業者に委託しており、指導対象者には2回の対面指導を行うことを基本としている。しかし、対象者が高齢であることや、疾病の状況によって2回の面談ができない状況も見られた。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

対面指導ができる専門職は、住民の一番近くにいる市町村専門職が本事業には適任と判断したが、広域連合及び市町村の組織体制の都合により、外部事業者に委託する方法が適当と判断した。

■課題と今後の対策

重複・頻回受診者の健康保持と疾病管理を促すためのハイリスクアプローチは、レセプト情報により抽出した対象者に対し、保健師又は看護師、薬剤師等が個別訪問して指導・健康相談を実施する。今後は、当事業について市町村が実施主体となっていけるよう、関係団体の一層の協力や理解を得られるように働きかけ、市町村に対して効果的な実施方法等を提供できるように検討していく。

事業4 糖尿病性腎症重症化予防事業

①訪問指導実施者数（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問指導実施者数	目標値	15人	20人	－	－	－
	実績値	11人	18人	－	－	－
	A：達成 B：未達成	B	B	－	－	－

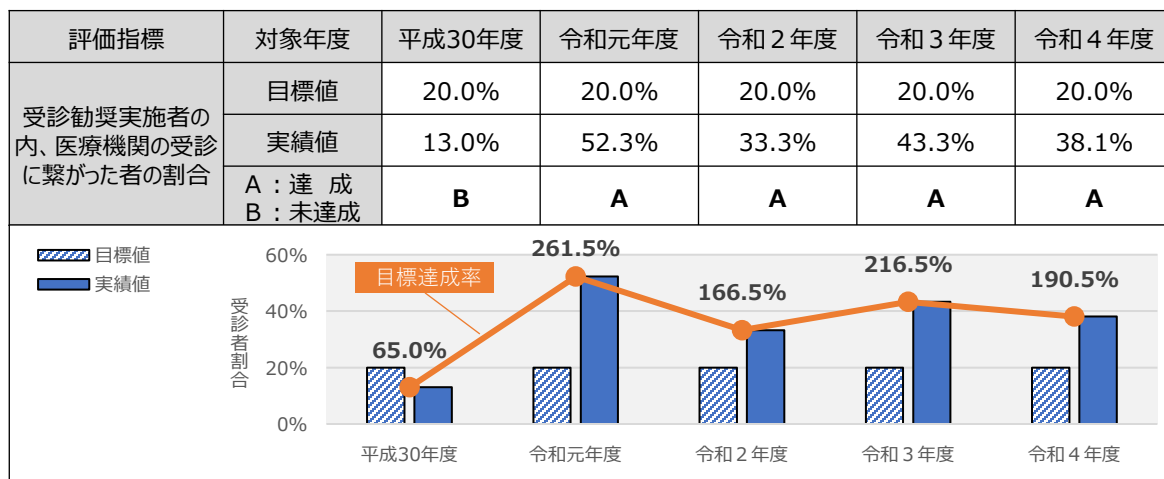
②訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合	目標値	35.0%	35.0%	－	－	－
	実績値	90.9%	94.4%	－	－	－
	A：達成 B：未達成	A	A	－	－	－

③受診勧奨が必要な者の内、受診勧奨を実施した者の割合（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診勧奨が必要な者の内、受診勧奨を実施した者の割合	目標値	－	－	100%	100%	100%
	実績値	－	－	100%	100%	100%
	A：達成 B：未達成	－	－	A	A	A

④受診勧奨実施者の内、医療機関の受診に繋がった者の割合（アウトカム評価項目）



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

令和2年度以降の「受診勧奨が必要な者の内、受診勧奨を実施した者の割合」は毎年100%となっている。医療機関の受診に繋がった者の割合を指標とするアウトカム指標は、令和2年度以降も目標値20%を越えていることから、数値的な目標は達成している。

■プロセス評価（実施方法）

本事業では、対象者の抽出方法と訪問指導受入れの理解を得ることが重要なプロセスとなる。第2期の保健事業では、現状の抽出基準による対象者に受診勧奨を行っても治療の必要がないケースもあり、「対象候補者の抽出」と「対象者への訪問指導等の実施」を分けて実施することで、事業の効率的・効果的な実施を目指した。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

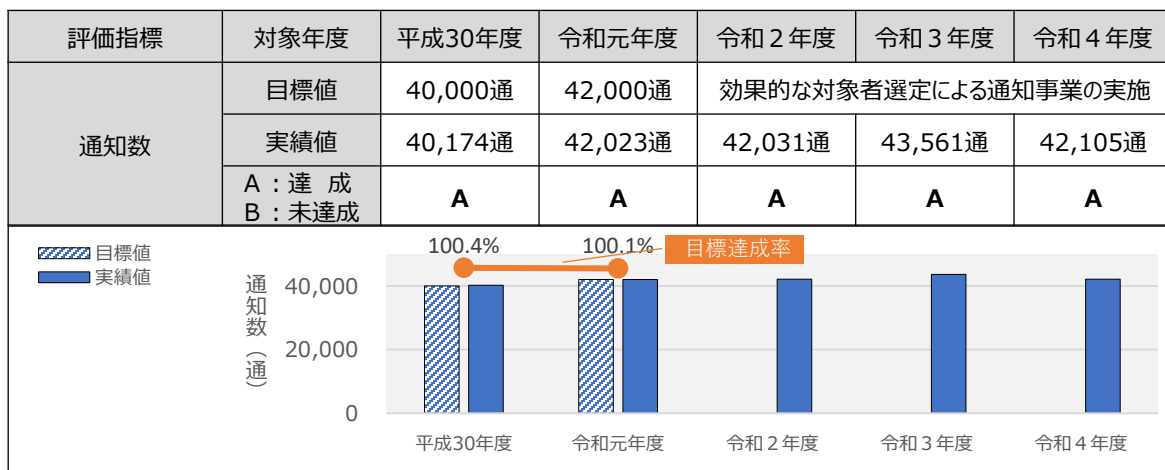
令和元年度までは対象地域を限定してモデル的に実施していたが、令和2年度からは「保健事業と介護予防の一体的実施」を行っている市町村、及びKDBシステムに健康診査データを登録していない市町村を除く全市町村に対象を広げて実施した。また、令和4年度からはナッジ理論を活用した受診勧奨の通知の送付と、未治療者・中断者への保健指導を広域連合の保健師が実施した。

■課題と今後の対策

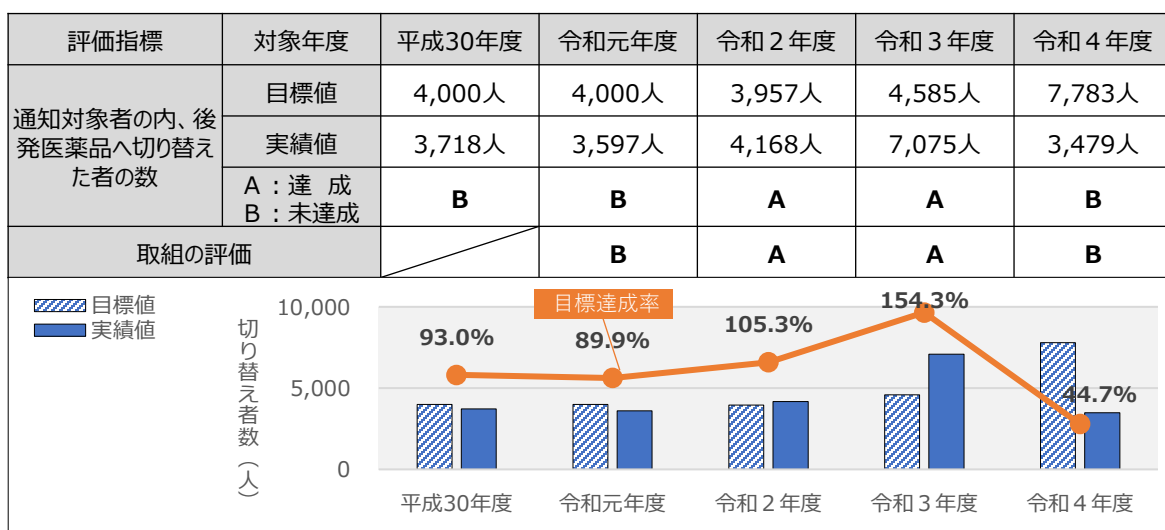
糖尿病性腎症重症化予防事業は、重症化リスクの高い未受診者・治療中断者への働きかけを継続的に実施する必要がある。74歳までは国民健康保険で重症化予防の保健指導を受けていた被保険者が、75歳到達時に後期高齢者医療制度の被保険者となるため、ハイリスク者の情報が共有されにくい現状がある。令和2年度から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」が開始され、市町村では75歳で途切れることなく保健指導が可能であることから、関係機関と共に市町村が取り組めるように支援していく。

事業5 後発医薬品利用差額通知事業

①通知事業の実施（アウトプット評価項目）



②通知対象者の内、後発医薬品に切り替えた者の人数（アウトカム評価項目）



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

差額通知の送付数は、計画期間中を通して40,000通以上を保持している。アウトカム評価の「通知対象者の内、後発医薬品へ切り替えた者の数」では、令和3年度は目標を大幅に超えた実績となったが、翌年の令和4年度は前年度の半数に減少している。要因としては、後発医薬品製薬会社の相次ぐ業務停止命令（令和3年2月以降）による供給不足により先発医薬品を使用せざるを得なくなったが、その後、後発医薬品の供給が復旧したことにより、一時的に切替率が上がったものと推測される。

■プロセス評価（実施方法）

先発医薬品ごとの数量や薬剤料等の分析結果を参考に対象とする薬効区分を決めるといった方法を採用してきた。令和元年度は44の薬効から抽出したが、令和2年度は10の薬効として大幅に絞り込みを行った。また一方で、令和4年度に差額通知文を単色からカラーに変更するなど、被保険者に通知の趣旨がより伝わるような工夫も行っている。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

計画実施期間の途中で、製薬会社の不祥事により、後発医薬品が不足するという事態が影響し、年度ごとの切替率と効果額にばらつきが見られ、評価が難しい状況である。一方、計画実施のための予算を最大限有効に活用する工夫として、案内チラシを独自に作成するのではなく、既存の県作成の案内チラシを活用して通知に同封している。

■課題と今後の対策

令和4年度の通知において、被保険者に通知の趣旨がより伝わるように通知文の構成やイラストを工夫した。その結果、通知発送後の後発医薬品コールセンターへの問い合わせ件数が前年度に比べて大幅に減少し、通知内容の理解度を高めることに効果があったので、引き続き通知文の工夫を行っていく。また、後発医薬品に対する理解を深めてもらうよう広報誌や後発医薬品希望カードによる普及啓発も引き続き実施していく。

事業6 医療費通知事業

①実施市町村数（アウトプット／アウトカム評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施市町村数	目標値	33	33	33	33	33
	実績値	33	33	33	33	33
	A：達成 B：未達成	A	A	A	A	A
取組の評価			A	A	A	A

■アウトプット／アウトカム評価（実績評価）

本事業は、医療費の自己負担相当額をお知らせすることにより、実際に治療に必要とされた医療費を理解してもらい、後期高齢者医療制度の仕組みを再確認してもらうとともに、健康に対する意識を高めてもらう目的の事業であり、33構成市町村すべてで実施している。

■プロセス評価（実施方法）

医療費通知は、レセプトデータを活用して年2回送付をしているが、送付時期は前年1月から11月受診分を2月中旬に送付し、前年12月受診分を3月中旬に送付している。平成29年度から確定申告での医療費控除の申告方法が改正され、医療費通知を確定申告に使用することが可能となったため、送付時期を合わせることで、より多くの被保険者に関心を持って医療費通知を見てもらい、自身の医療費の自己負担額を意識してもらうことができています。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

多くの被保険者に一斉に通知ができるという医療費通知のメリットを生かし、広報誌（広報かながわ広域連合）を同封している。広報誌にはフレイルや健診事業、ジェネリック医薬品、ポリファーマシー等についての記事を掲載し、被保険者に身近な情報として、保健事業や医療費適正化についてお知らせする役割を果たしている。

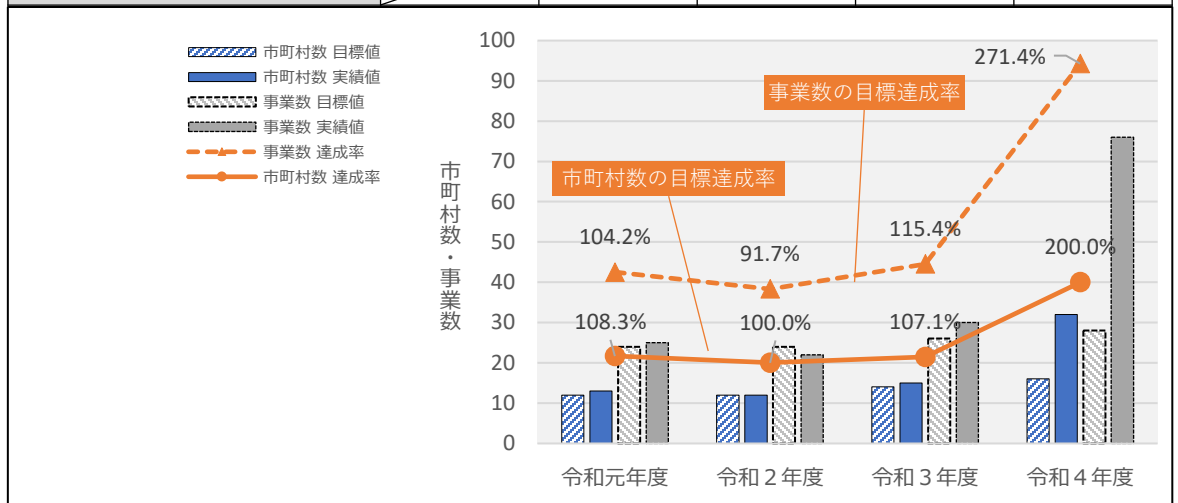
■課題と今後の対策

本事業は、毎年全市町村で実施され目標が達成された。引き続き、健康に対する意識向上や医療費適正化に対する理解を深めてもらうよう普及啓発を図っていく。

事業7 市町村保健事業支援

①市町村保健事業支援数（アウトプット／アウトカム評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市町村保健事業 支援数 (市町村数/事業数)	目標値	—	12市 24事業	12市 24事業	14市 26事業	16市 28事業
	実績値	—	13市町 25事業	12市町 22事業	15市町村 30事業	32市町村 76事業
	A：達成 B：未達成	—	A	B	A	A
取組の評価			A	B	A	A



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

令和元年度は13市町/25事業と目標を達成したが、令和2年度は12市町/22事業と事業数は達成できなかった。令和3年度は15市町村/30事業となり、更に、令和4年度は32市町村/76事業と大幅な増加となった。要因は、令和4年度から保険者支援事業補助金を新設したことにより、1町を除いたすべての市町村が当補助金を申請したことが挙げられる。

■プロセス評価（実施方法）

当広域連合が市町村に対して支援する保健事業は以下のとおり。

- ・ 長寿・健康増進事業
- ・ 低栄養防止・重症化予防事業
- ・ 重複・頻回受診者、重複投薬者への保健指導事業
- ・ 保険者インセンティブ評価対象等事業
- ・ 一体的実施事業を含むその他の事業

また、市町村職員を対象とした「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に向けた講習や研修を国保連合会と協力して実施している。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

当広域連合が市町村保健事業を的確に支援していくためには、意見交換等によって課題や要望を把握することが大切であり、個々の事業において、当広域連合と市町村の役割を再整理する必要がある。各種補助金制度を活用し、継続的に市町村の事業に対して財政的な支援ができています。

また、市町村の要望に応じ、ヒアリング等を通じて、課題の抽出・共有を行いながら円滑な事業実施に向けた検討を行うほか、保健・医療・介護に関するデータを提供し、連携の強化に取り組んできた。

■ 課題と今後の対策

令和4年度に新設した保険者支援事業補助金の今後の活用方法を検討するにあたり、全市町村に対して高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関するアンケート調査を実施した。専門職を中心としたマンパワー不足等、各市町村毎の課題が把握できたことから、引き続き、補助金制度の充実も含め、実効性のある支援内容を検討していく必要がある。

事業8 薬剤併用禁忌

① 通知事業の実施者数（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
通知事業の実施者数	目標値	—	—	—	—	効果的な対象者選定による通知事業の実施
	実績値	—	—	—	258	317
	A：達成 B：未達成				—	A

② 多剤・併用禁忌薬剤が改善した者の割合（アウトカム評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
多剤・併用禁忌薬剤が改善した者の割合	目標値	—	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	57.9%
	A：達成 B：未達成				—	—
取組の評価				—	—	

■ アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

アウトプット評価の項目のとおり、令和3年度は通知事業の実施者数は258名となり、令和4年度は317名となった。令和4年度は保健指導を19人に実施し、17人が指導完了に至った。アウトカム評価項目の「多剤・併用禁忌薬剤が改善された者の割合」は57.9%となった。

■ プロセス評価（実施方法）

第2期の保健事業計画の前半では、神奈川県医師会、神奈川県薬剤師会の助言を頂きながら、併用禁忌薬剤の分析による現状把握が主な活動であった。令和3年度から、多剤服薬者、併用禁忌薬剤服薬者の対象者を抽出し、薬と上手に付き合うための通知を送付した。なお、この事業では実績のある外部事業者から支援をいただき、ナッジ理論を取り入れ通知の工夫を図った。

■ ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

令和3年1月～令和3年3月の3か月のレセプトを使用して対象者を抽出した結果、長期多剤服用者は276,599人（被保険者の23.75%）、併用禁忌薬剤服用者は2,745人であった。90日処方や60日処方を考慮すると、もっと多くの患者が対象者になると推測されることから、更にデータ分析を継続し、関係機関等との連携を図りながら推進していく必要がある。

■ 課題と今後の対策

本事業は、患者の受診行動の適正化という点で、「重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業」とも深く関係している。保健指導対象者もこれらの事象が重なって抽出されることも多いと考えられる。また、これらの受診行動に関する事業は、医師会及び薬剤師会との連携が欠かせない事業であることから、今後は事業の枠組みや関係機関の役割の整理が必要である。

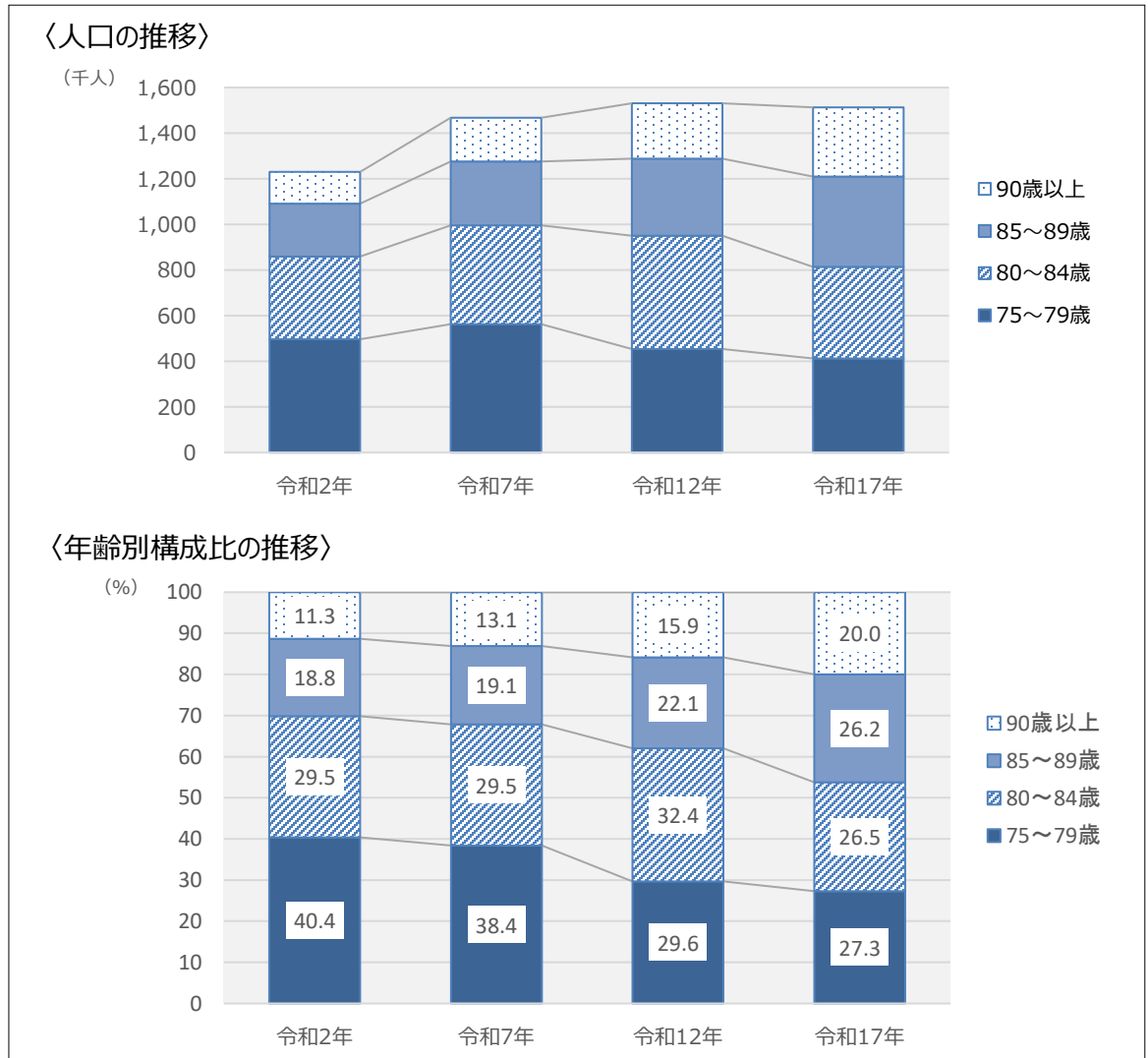
第3章 健康医療情報等の分析

(1) 被保険者数に関する分析

1) 年齢階層別被保険者数の推移予測

「国立社会保障・人口問題研究所」の人口予測によると、当広域連合における今後10数年間の75歳以上被保険者数の推移予測は以下のとおりです。

【令和2年以降の75歳以上年齢階層別人口の推移予測】



* 国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』のデータをもとに作成

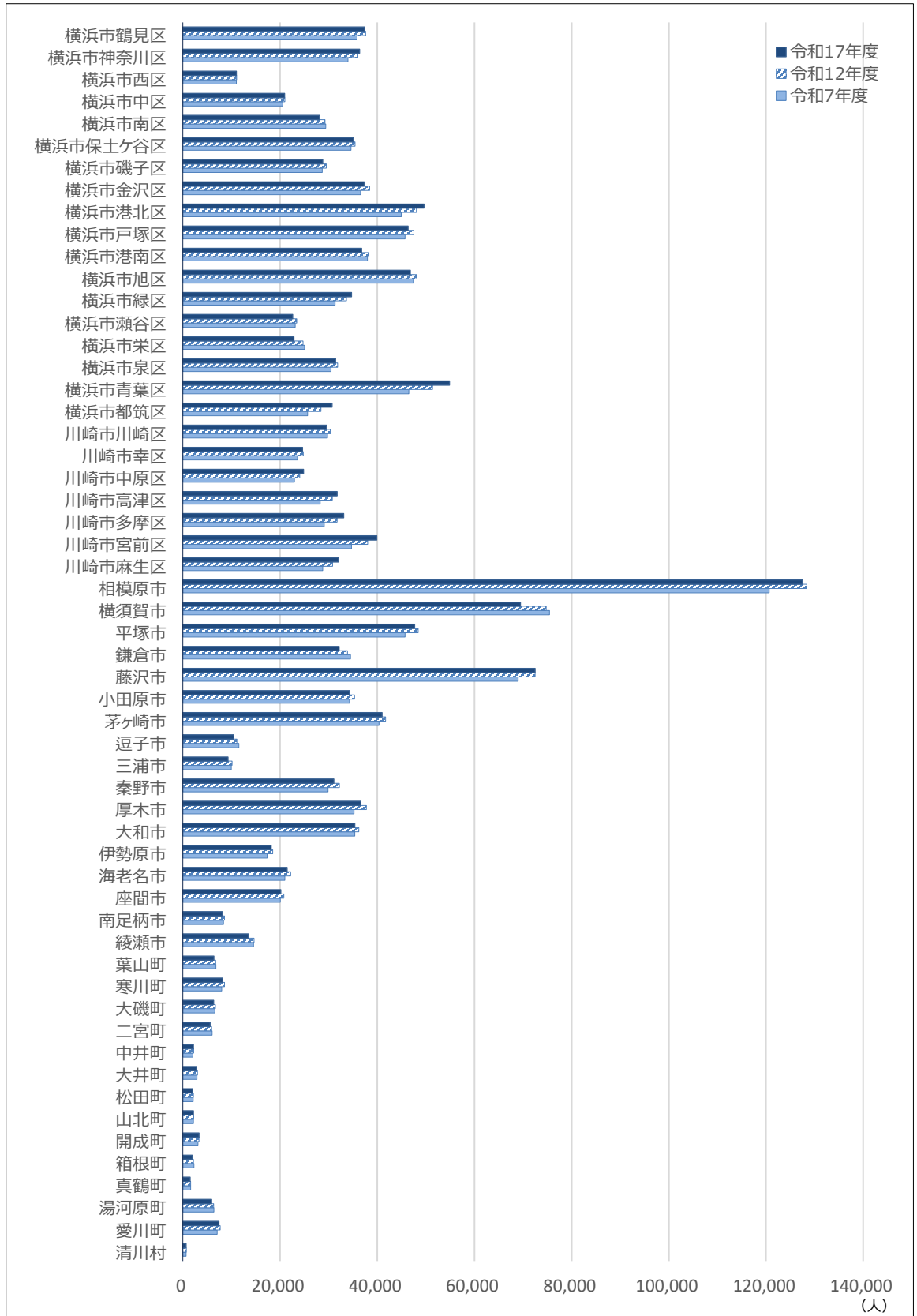
令和2年から令和17年までの75歳以上の人口を年齢階層別（5歳刻み）でみると、団塊世代が75歳を迎える「2025年問題」に起因して、令和7年までは75歳～79歳の人口がピークを迎えますが、それ以降は減少し、80歳以上の人口は増え続けます。そのため75歳以上の年齢階層別人口は、より高齢化し続けて増加すると見込まれます。ただし、令和12年以降をピークに減少に転じており、令和17年以降は減少が続くものと予測されます。

75歳以上の県内人口を年齢別構成比でみると、85歳以上の割合は増加し続け、令和2年に30%だった構成比が令和17年には46%と約1.5倍になると予測されます。

2) 市区町村別被保険者数の推移予測

前述の「国立社会保障・人口問題研究所」の人口予測結果を基に市区町村別に予測したものが次のグラフになります。

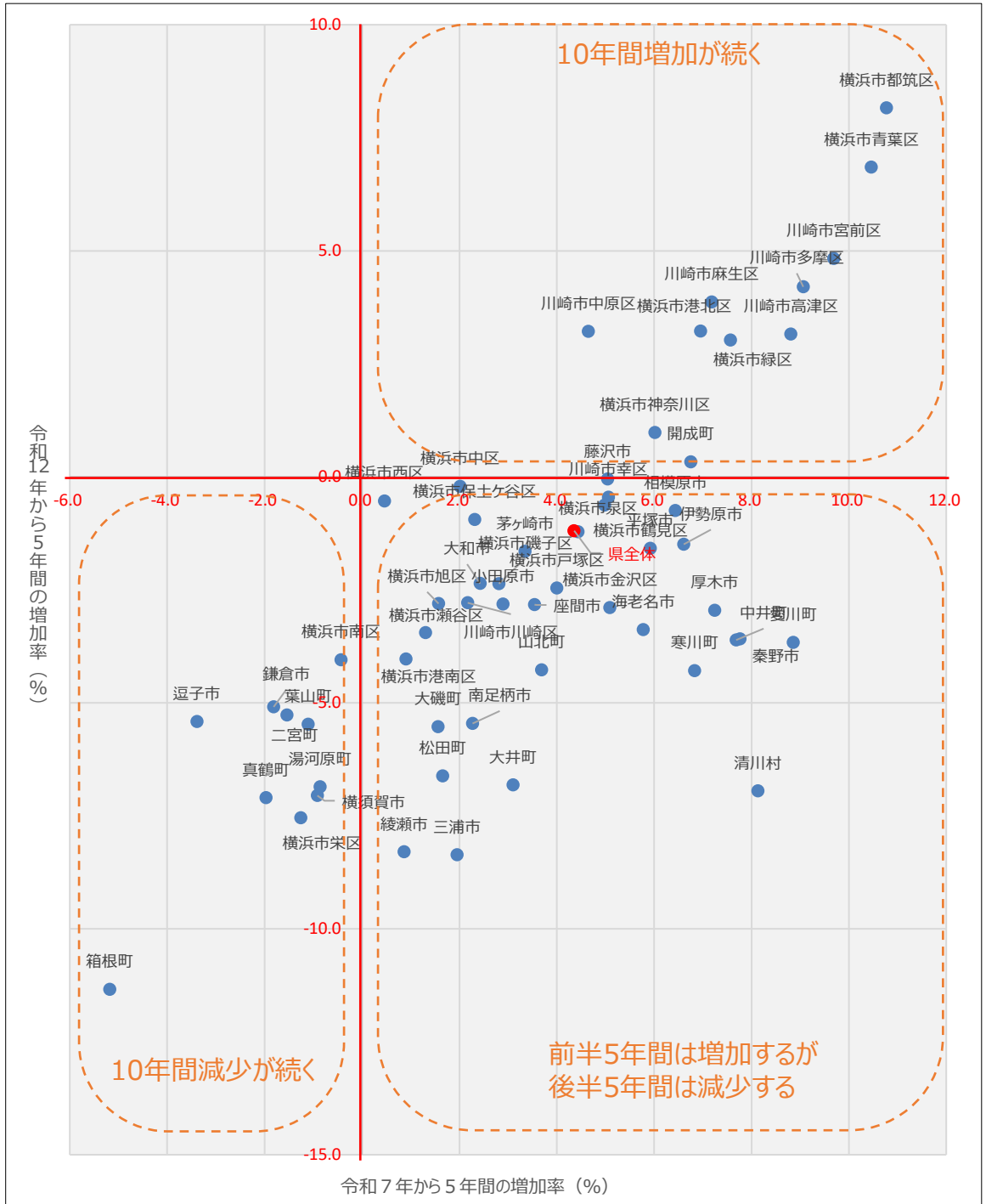
【市区町村別の75歳以上人口の推移予測】



* 国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』のデータをもとに作成
 * 詳細の明細については（資料－4）参照

この市区町村別の人口予測をもとに、令和7年から10年間の75歳以上の人口増減率の予測を5年ごとの増減パターンで表しました。

【令和7年から10年間の75歳以上人口の推移パターンマップ】



* 国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』のデータをもとに作成
 * 詳細の明細については（資料-4）参照

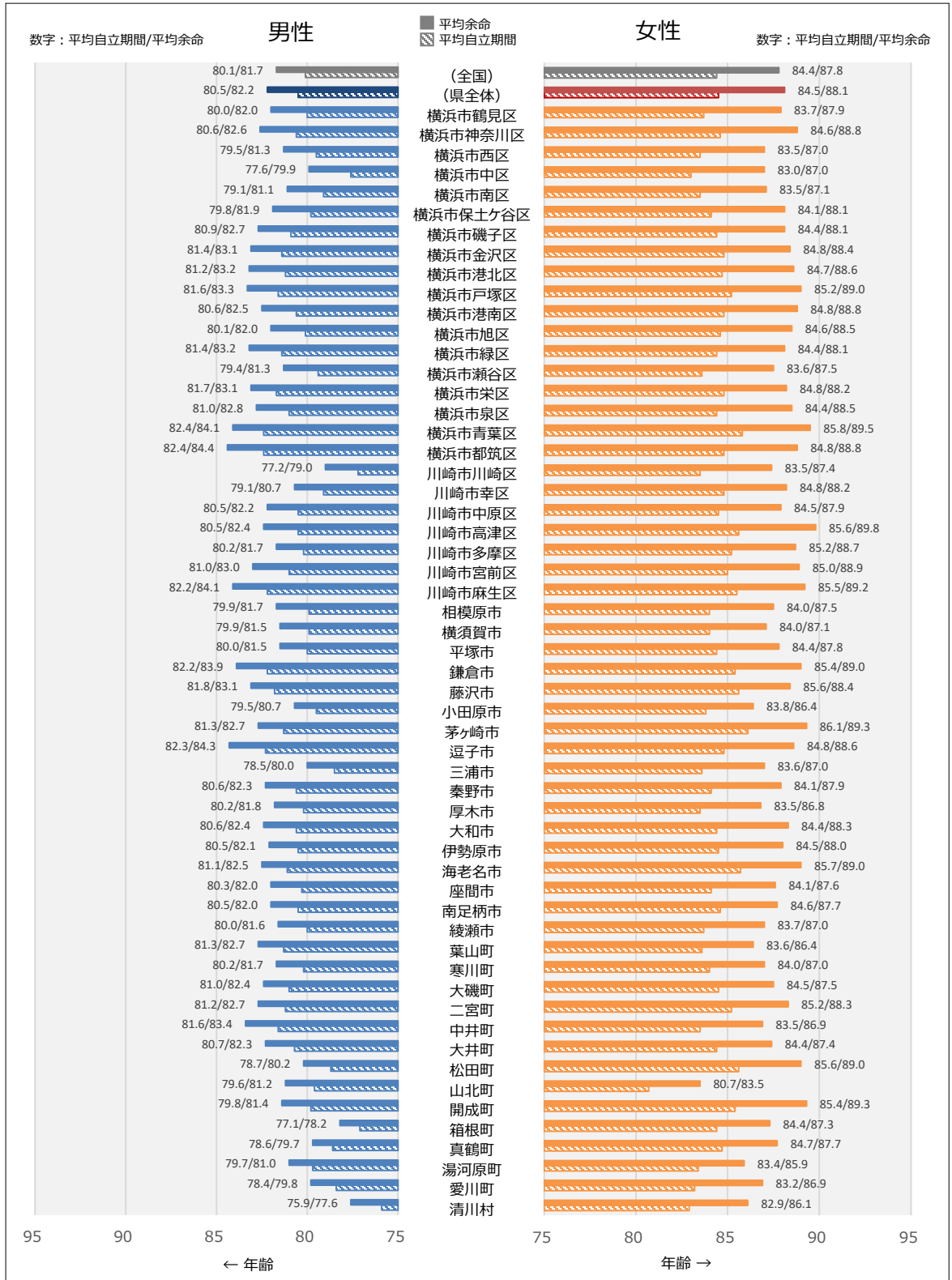
多くの市区町村が「前半5年間は増加が続くがその後5年間は減少に転じる」グループですが、川崎市の多くの区や横浜市の一部の区などは「10年間増加が続く」グループ、箱根町を筆頭に県西部や横須賀・三浦エリアの一部市町村は「10年間減少が続く」グループです。

(2) 寿命に関する分析

1) 平均余命と平均自立期間

市区町村別の平均余命と平均自立期間（≒健康寿命）を男女別に表したものが次のグラフとなります。なお、ここでいう「自立期間」は、要介護認定区分が「要介護2以上」となるまでの期間を示しています。

【市区町村別の平均余命と平均自立期間（令和4年度）】



* KDB健康スコアリング（介護）より集計

* 相模原市は行政区別の健康スコアリング(介護)のデータが無いため、相模原市全体値で集計

* 詳細の明細については（資料-5）参照

男女共に、平均余命と平均自立期間の両方で全国平均を上回っています。また、男性よりも女性の方が平均余命と平均自立期間の差が大きいことから、女性の方が支援を必要とする期間が長いことがわかります。

市区町村別に見ると、男性においては、横浜市都筑区、逗子市、横浜市青葉区、川崎市麻生区が自立期間、余命ともに長くなっています。一方、清川村、箱根村、川崎市川崎区、横浜市中区は自立期間、余命ともに短くなっています。また、女性においては、茅ヶ崎市、横浜市青葉区が自立期間、余命ともに長く、山北町、清川村は自立期間、余命ともに短くなっています。

2) 要介護期間

平均余命から平均自立期間を引いた差の期間を「要介護期間」（≡不健康期間）と見なして、平成30年度から令和4年度までの5年間における伸縮傾向を市区町村別に表したものが次ページの図表となります。

【市区町村別の要介護期間の伸縮傾向（平成30年度→令和4年度）】

男性			市区町村名	女性		
延伸傾向	ほぼ変化なし (または不明)	短縮傾向		短縮傾向	ほぼ変化なし (または不明)	延伸傾向
←			(全国)			→
←			(県全体)			→
	—		横浜市鶴見区			→
←			横浜市神奈川区			→
←			横浜市西区	←		
←			横浜市中区		—	
←			横浜市南区	←		
←			横浜市保土ヶ谷区			→
←			横浜市磯子区			→
	—		横浜市金沢区			→
	—		横浜市港北区	←		
		→	横浜市戸塚区			→
		→	横浜市港南区		—	
←			横浜市旭区	←		
		→	横浜市緑区	←		
←			横浜市瀬谷区			→
		→	横浜市栄区	←		
	—		横浜市泉区			→
		→	横浜市青葉区		—	
←			横浜市都筑区			→
	—		川崎市川崎区			→
		→	川崎市幸区	←		
←			川崎市中原区			→
←			川崎市高津区			→
		→	川崎市多摩区			→
←			川崎市宮前区			→
←			川崎市麻生区			→
		→	■相模原市	←		
		→	横須賀市	←		
		→	平塚市			→
		→	鎌倉市	←		
←			藤沢市	←		
		→	小田原市	←		
←			茅ヶ崎市			→
←			逗子市	←		
		→	●三浦市	←		
	—		秦野市			→
	—		厚木市			→
←			大和市			→
	—		伊勢原市		—	
←			海老名市			→
←			座間市	←		
←			●南足柄市			→
←			綾瀬市	←		
	—	→	●葉山町	←		
		→	寒川町		—	
		→	●大磯町	←		
		→	●二宮町	←		
←			●中井町			→
←			●大井町			→
←			●松田町			→
←			●山北町	←		
←			●開成町			→
		→	●箱根町	←		
		→	●真鶴町			→
	—		●湯河原町	←		
		→	●愛川町			→
←			●清川村	←		

* KDB健康スコアリング（介護）より集計

* ■印の相模原市は行政区単位の数値が無いため市全体での集計値を使用

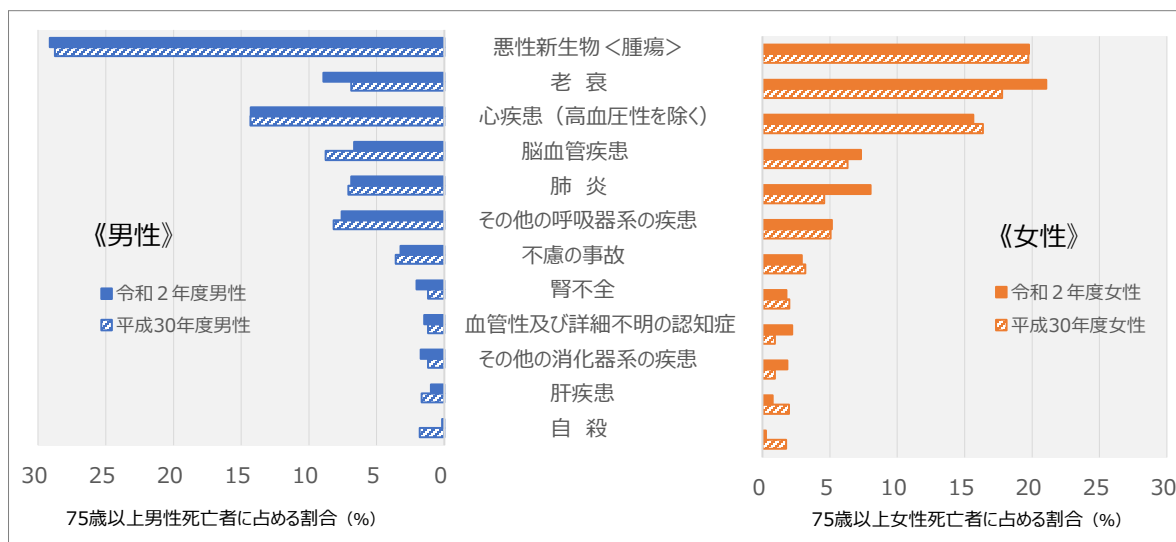
* ●印の市町村は令和2年度以前の保険者単独の数値が無いため二次医療圏の数値で集計値を使用

* 市区町村別の明細については（資料－6）参照

3) 死因

神奈川県から公表されている「衛生統計年報」から、平成30年度と令和2年度の75歳以上県内住民の死亡者における死因の割合を男女別にまとめたのが次のグラフになります。

【75歳以上死亡者における主要死因別割合の推移（平成30年度・令和2年度）】

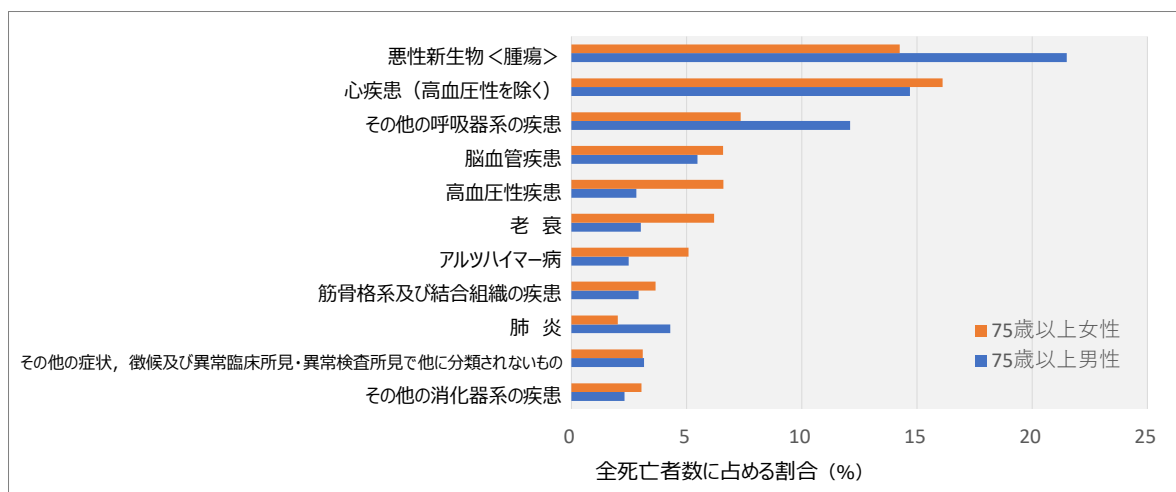


* 「平成30年度神奈川県衛生統計年報」および「令和2年度神奈川県衛生統計年報」より集計
 * 死因分類は「死因簡易分類コード」の中位分類にて集計
 * 掲載した死因分類は平成30年度または令和2年度に上位10分類、掲載順序は令和2年度における男女合計割合の高い順
 * 詳細の明細については（資料-7）参照

平成30年度、令和2年度共に男性は「悪性新生物<腫瘍>」が、女性は「老衰」がそれぞれ最も高くなっています。また、男女を合わせた死亡者数で見ると、令和2年度では悪性新生物による死因が24.3%に達し、ほぼ4人に1人ががんで亡くなっていることがわかります。また、平成30年度から令和2年度への変化を見ると、男女ともに「老衰」が2ポイント以上増加している点と、女性の「肺炎」の割合が3ポイント以上増加している点が目立ちます。

令和4年度分の死因統計についてはまだ公表されたものがないため、参考に令和4年度の死亡レセプトから死因の状況を集計したものが次のグラフになります。あくまでもレセプトベースのため、自宅で終末を迎えたケース等の医療機関以外で死亡したケースが計上されていないため、「老衰」等の一部に令和2年度と異なるものも散見されますが、傾向としては大きな変化は見られません。

【死亡レセプトから見た75歳以上死亡者における主要死因別割合（令和4年度）】



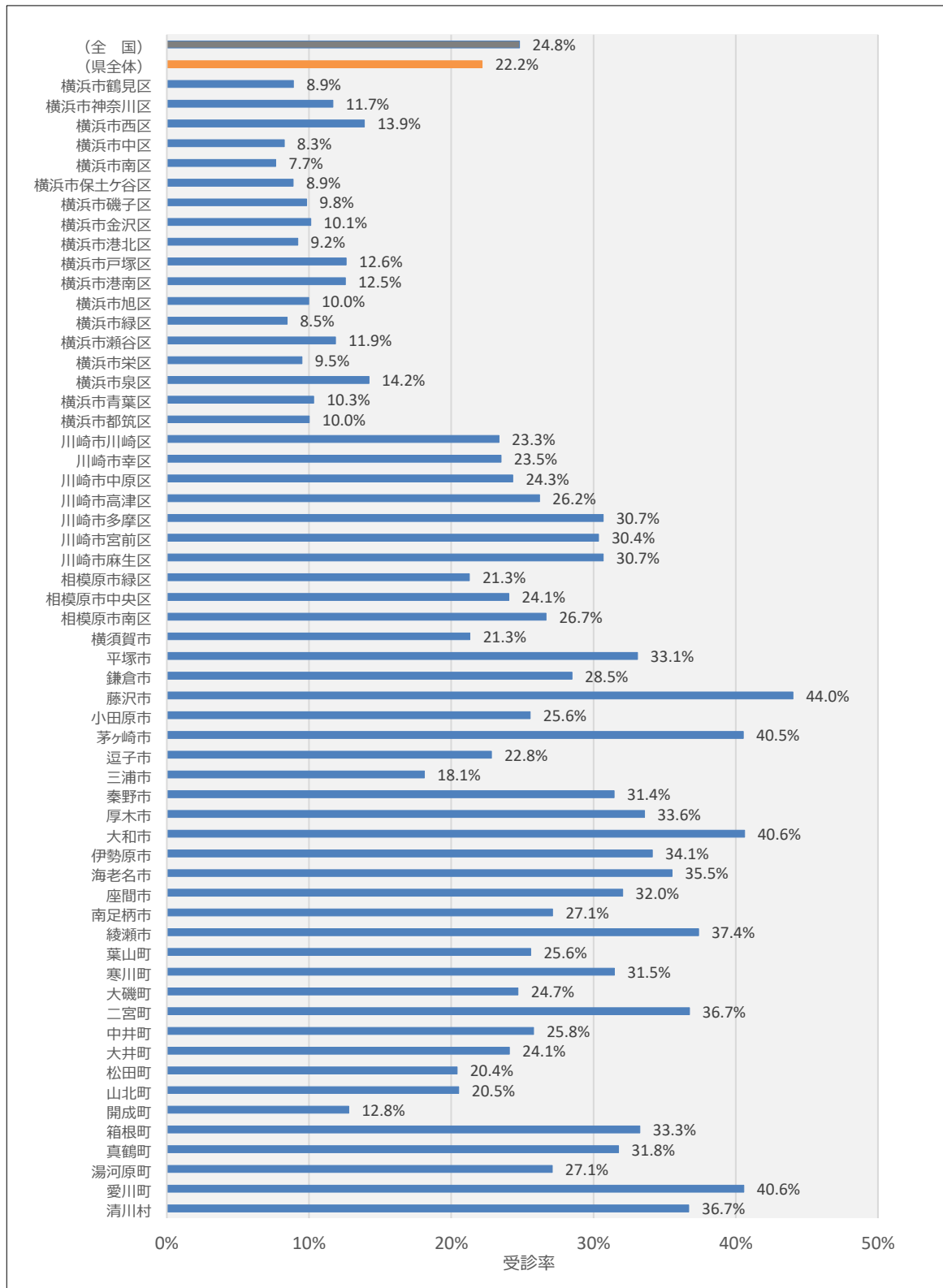
* 令和4年度のレセプトより死亡レセプト（転帰区分が「死亡」のもの）を抽出し、そのレセプトの主病名から対応する死因簡易分類（中位）に変換して集計
 * 掲載した死因分類は男女合計での割合の上位11分類（男女別での上位10分類を含む）、掲載順序は男女合計での割合の高い順
 * 詳細の明細については（資料-8）参照

(3) 健康診査に関する分析

1) 健康診査受診状況

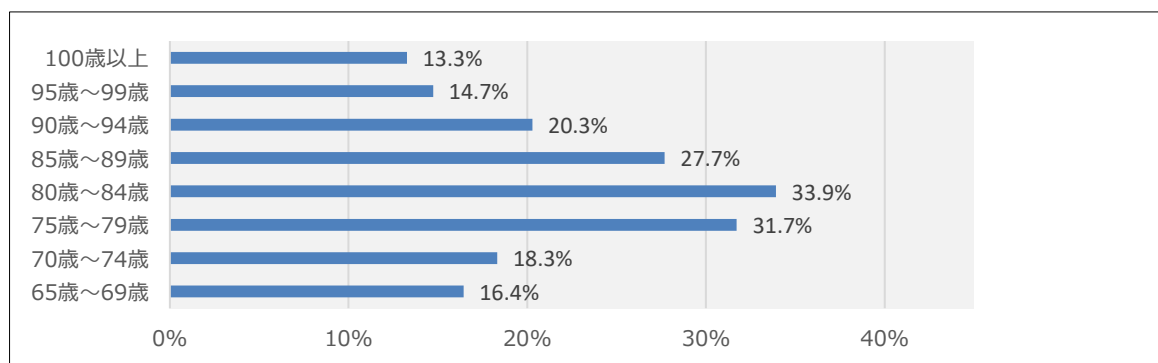
KDBシステムに登録されているデータと一部個別提供のあった健診データをもとに、令和4年度の受診率を市区町村別に集計したものが次のグラフとなります。

【市区町村別の健康診査受診率（令和4年度）】



* KDB健康スコアリング（健診）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 詳細の明細については（資料－9）参照

【年齢階層別健康診査受診率】



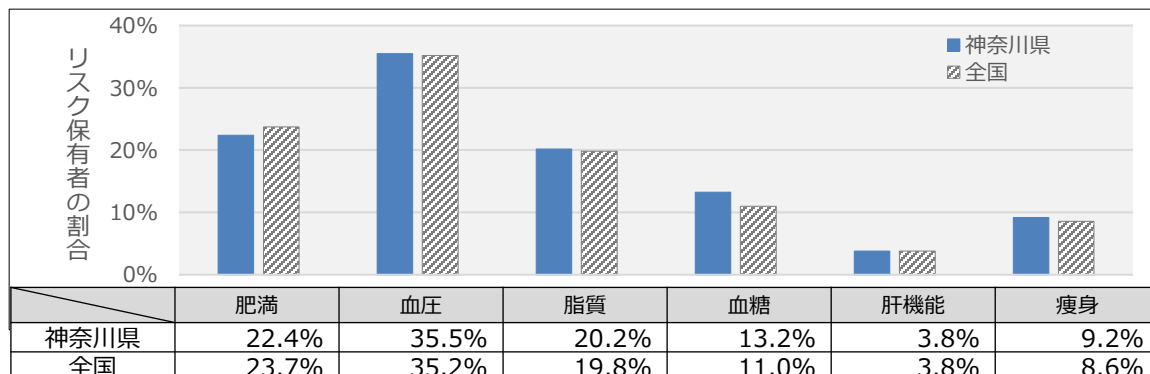
* KDB健康スコアリング（健診）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
* 詳細の明細については（資料－10）参照

令和4年度受診率は、全国平均が24.8%でした。市区町村別に見ると、最も高い藤沢市の44.0%に対し、最も低い横浜市南区が7.7%と開きがあり、地域格差が顕著となっていることから、受診率向上に向けて、地域別に課題を抽出・整理し、効果的な取組を推進していくことが大切であると考えられます。

2) 健康診査結果からみるリスク状況

令和4年度の健康診査結果をもとに、「肥満」「血圧」「脂質」「血糖」「肝機能」「痩身」の6項目についてリスク保有者の割合を集計したものが次のグラフになります。全国平均と比較すると、「肥満」の割合は若干低いものの、「血糖」については2ポイント以上高くなっています。

【健康診査結果6項目のリスク保有者率（令和4年度）】



* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-11）参照
 * 結果のリスク判定詳細条件については（参考-3）参照

市区町村別のリスク保有状況については、次ページに一覧表を示します。主な傾向としては、脂質リスク保有者割合は横浜市や川崎市の大都市で高くなっています。また、血糖のリスク保有者割合の高い市町村は県内各地に分散しています。なお、川崎市は血糖のリスク保有者率が低い反面、脂質が高い傾向があります。

次に、糖尿病性腎症を含む慢性腎臓病（CKD）のリスクについて見ていきます。CKDのリスク判定は、健康診査項目にある血清クレアチニンと尿蛋白（定性）の結果をもとに、右図に示した「CKDヒートマップ」に沿って、リスクをレベル0からレベル3の4段階に分けて判定を行いました。判定対象者数とリスクレベルごとの人数と構成割合は下表のとおりです。なお、市区町村別の該当者数については次々ページに掲載します。

〈CKDヒートマップ〉

eGFR	尿蛋白(定性)		
	-	±	+以上
≥90	0	1	2
60~89	0	1	2
45~59	1	2	3
30~44	2	3	3
15~29	3	3	3
<15	3	3	3

【CKDリスクレベルごとの対象者数（令和4年度）】

	対象者数	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
該当者数	283,199	128,397	90,209	41,308	23,285
(構成比)	100.0%	45.3%	31.9%	14.6%	8.2%

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 市区町村別の明細人数については（資料-12）参照

市区町村別のリスク保有状況については、次々ページに一覧表を示します。主な傾向としては、川崎市は相対的にレベル1以上の割合が高く、特にレベル3については麻生区以外のすべての区で県平均よりも高くなっています。同様に平塚市、藤沢市、小田原市もレベル2以上の割合が県平均よりも高くなっており、リスクの高い状態となっています。

【市区町村別の健康診査結果 6 項目リスク保有者率（令和 4 年度）】

市区町村名	肥満	血压	脂質	血糖	肝機能	痩身
横浜市鶴見区	23.4% ↗	39.9% ↑	20.5% ↗	13.2% ↘	4.0% ↗	8.9% ↘
横浜市神奈川区	23.3% ↗	34.9% ↘	22.0% ↑	16.2% ↑	4.1% ↗	10.0% ↗
横浜市西区	23.1% ↗	36.6% ↗	20.8% ↗	15.3% ↑	4.2% ↗	10.2% ↗
横浜市中区	21.7% ↘	34.1% ↘	19.2% ↘	15.9% ↑	4.6% ↗	11.8% ↑
横浜市南区	21.9% ↘	38.9% ↑	20.5% ↗	14.7% ↗	4.0% ↗	8.8% ↘
横浜市保土ヶ谷区	21.3% ↘	40.4% ↑	23.1% ↑	13.3% ↗	3.5% ↘	10.0% ↗
横浜市磯子区	22.6% ↗	35.5% ↗	19.5% ↘	13.0% ↘	3.4% ↘	10.1% ↗
横浜市金沢区	18.7% ↓	43.4% ↑	21.8% ↑	12.6% ↘	3.5% ↘	9.2% ↗
横浜市港北区	19.7% ↓	33.6% ↘	22.8% ↑	13.0% ↘	3.0% ↓	10.7% ↑
横浜市戸塚区	22.1% ↘	38.5% ↑	23.1% ↑	15.5% ↑	3.4% ↘	9.2% ↗
横浜市港南区	21.1% ↘	32.6% ↓	20.1% ↘	12.9% ↘	3.2% ↓	9.5% ↗
横浜市旭区	19.9% ↓	36.0% ↗	20.7% ↗	12.5% ↘	4.0% ↗	9.3% ↗
横浜市緑区	20.2% ↓	35.2% ↘	22.3% ↑	13.3% ↗	3.2% ↘	8.0% ↘
横浜市瀬谷区	19.4% ↓	41.6% ↑	23.1% ↑	11.0% ↓	3.6% ↘	10.9% ↑
横浜市栄区	19.2% ↓	36.4% ↗	24.0% ↑	13.4% ↗	3.2% ↘	9.3% ↗
横浜市泉区	20.2% ↓	33.6% ↘	21.0% ↗	15.5% ↑	3.6% ↘	9.5% ↗
横浜市青葉区	17.0% ↓	35.9% ↗	22.2% ↑	10.3% ↓	3.3% ↘	9.7% ↗
横浜市都筑区	19.5% ↓	36.7% ↗	24.4% ↑	14.5% ↗	3.0% ↘	9.8% ↗
川崎市川崎区	27.1% ↑	30.3% ↓	19.6% ↘	14.6% ↑	4.7% ↑	8.1% ↓
川崎市幸区	25.6% ↑	40.2% ↑	20.5% ↗	12.7% ↘	4.5% ↑	8.1% ↘
川崎市中原区	22.7% ↗	32.0% ↓	20.9% ↗	12.0% ↓	4.2% ↗	9.3% ↗
川崎市高津区	23.5% ↗	35.4% ↘	21.6% ↑	11.8% ↓	4.1% ↗	8.7% ↘
川崎市多摩区	21.4% ↘	37.1% ↑	22.2% ↑	11.7% ↓	3.6% ↘	9.9% ↗
川崎市宮前区	21.8% ↘	30.7% ↓	22.8% ↑	11.0% ↓	3.8% ↗	9.5% ↗
川崎市麻生区	19.0% ↓	42.2% ↑	24.0% ↑	11.4% ↓	3.5% ↘	11.5% ↑
相模原市緑区	24.0% ↑	38.0% ↑	20.6% ↗	11.1% ↓	3.3% ↘	7.5% ↓
相模原市中央区	22.7% ↗	31.0% ↓	20.0% ↘	12.6% ↘	4.0% ↗	8.1% ↓
相模原市南区	21.6% ↘	37.2% ↑	19.4% ↘	12.1% ↓	3.8% ↗	8.5% ↓
横須賀市	23.5% ↑	36.9% ↑	18.4% ↓	10.9% ↓	4.0% ↗	8.5% ↓
平塚市	23.6% ↑	33.2% ↓	18.2% ↓	15.1% ↑	4.1% ↗	8.9% ↘
鎌倉市	18.9% ↓	33.9% ↓	20.1% ↘	9.7% ↓	3.2% ↓	10.7% ↑
藤沢市	22.3% ↘	31.8% ↓	19.9% ↘	12.8% ↓	3.8% ↗	9.3% ↗
小田原市	22.8% ↗	30.0% ↓	19.2% ↓	14.1% ↑	3.6% ↘	9.4% ↗
茅ヶ崎市	22.0% ↘	39.0% ↑	17.0% ↓	15.3% ↑	4.0% ↗	9.9% ↑
逗子市	19.2% ↓	31.0% ↓	25.2% ↑	12.9% ↘	3.2% ↘	9.8% ↗
三浦市	22.2% ↘	37.1% ↗	17.9% ↓	15.8% ↑	3.5% ↘	9.9% ↗
秦野市	23.9% ↑	33.0% ↓	18.2% ↓	14.8% ↑	3.3% ↓	8.7% ↘
厚木市	23.3% ↗	38.3% ↑	19.0% ↓	15.5% ↑	3.8% ↗	8.5% ↓
大和市	24.3% ↑	36.0% ↗	20.3% ↗	15.4% ↑	3.9% ↗	8.1% ↓
伊勢原市	23.5% ↗	37.8% ↑	17.4% ↓	10.9% ↓	3.6% ↘	8.1% ↓
海老名市	22.5% ↗	39.5% ↑	22.8% ↑	12.0% ↓	3.8% ↘	8.7% ↘
座間市	23.4% ↗	33.3% ↓	17.8% ↓	16.1% ↑	3.9% ↗	9.5% ↗
南足柄市	21.9% ↘	32.0% ↓	17.6% ↓	18.5% ↑	3.8% ↗	8.9% ↘
綾瀬市	25.4% ↑	38.4% ↑	24.5% ↑	11.8% ↓	4.5% ↑	7.2% ↓
葉山町	20.0% ↓	37.2% ↗	27.4% ↑	13.8% ↗	3.4% ↘	9.3% ↗
寒川町	24.5% ↑	46.6% ↑	16.5% ↓	9.1% ↓	4.6% ↗	7.6% ↓
大磯町	23.8% ↗	26.8% ↓	16.9% ↓	15.4% ↑	3.6% ↘	8.4% ↘
二宮町	19.3% ↓	29.2% ↓	15.8% ↓	11.0% ↓	2.9% ↓	12.1% ↑
中井町	21.1% ↘	39.4% ↗	18.8% ↘	14.7% ↗	2.3% ↘	10.4% ↗
大井町	21.3% ↘	39.3% ↗	21.5% ↗	14.1% ↗	2.6% ↘	10.0% ↗
松田町	17.2% ↓	36.6% ↗	26.4% ↑	17.0% ↑	2.6% ↘	9.7% ↗
山北町	26.0% ↗	36.0% ↗	19.7% ↘	14.7% ↗	4.5% ↗	5.9% ↓
開成町	16.7% ↓	31.7% ↘	19.6% ↘	10.9% ↘	2.2% ↘	9.0% ↘
箱根町	32.6% ↑	34.9% ↘	20.7% ↗	15.8% ↗	4.6% ↗	7.4% ↘
真鶴町	21.3% ↘	39.8% ↗	21.3% ↗	12.1% ↘	4.4% ↗	9.9% ↗
湯河原町	21.1% ↘	41.6% ↑	16.7% ↓	18.7% ↑	3.4% ↘	10.5% ↗
愛川町	25.9% ↑	36.0% ↗	17.5% ↓	17.3% ↑	4.9% ↑	8.4% ↘
清川村	27.0% ↗	37.6% ↗	19.0% ↘	16.4% ↗	2.1% ↘	7.9% ↘

↑ 県平均割合よりも有意に高い ↗ 県平均割合よりも高いが有意ではない ↘ 県平均割合よりも低い有意ではない ↓ 県平均割合よりも有意に低い

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計

* 有意差の判定は z 検定（両側検定）にて有意水準5%で判断

* 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料 - 1 1）参照

【市区町村別のCKDリスク保有者率（令和4年度）】

市区町村名	判定対象者数	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
横浜市鶴見区	2,848	1,360 ↗	931 ↗	372 ↓	185 ↓
横浜市神奈川区	3,321	1,299 ↓	1,043 ↘	562 ↑	417 ↑
横浜市西区	1,516	628 ↓	494 ↗	249 ↗	145 ↗
横浜市中区	1,398	611 ↘	447 ↗	201 ↘	139 ↑
横浜市南区	2,165	981 ↘	701 ↗	312 ↘	171 ↘
横浜市保土ヶ谷区	2,679	1,233 ↗	880 ↗	377 ↘	189 ↓
横浜市磯子区	2,553	1,204 ↗	755 ↓	381 ↗	213 ↗
横浜市金沢区	3,348	1,617 ↑	1,074 ↗	424 ↓	233 ↓
横浜市港北区	3,526	1,662 ↗	1,146 ↗	486 ↘	232 ↓
横浜市戸塚区	5,160	2,440 ↑	1,597 ↘	743 ↘	380 ↓
横浜市港南区	4,498	2,004 ↘	1,430 ↘	674 ↗	390 ↗
横浜市旭区	4,156	2,047 ↑	1,357 ↗	501 ↓	251 ↓
横浜市緑区	2,067	871 ↓	704 ↗	309 ↗	183 ↗
横浜市瀬谷区	2,327	1,010 ↘	782 ↗	347 ↗	188 ↘
横浜市栄区	2,171	1,122 ↑	678 ↘	240 ↓	131 ↓
横浜市泉区	3,531	1,728 ↑	1,054 ↓	483 ↘	266 ↘
横浜市青葉区	3,846	1,844 ↑	1,274 ↗	481 ↓	247 ↓
横浜市都筑区	2,106	983 ↗	694 ↗	276 ↘	153 ↘
川崎市川崎区	5,818	2,184 ↓	1,955 ↑	1,044 ↑	635 ↑
川崎市幸区	4,521	1,752 ↓	1,588 ↑	724 ↑	457 ↑
川崎市中原区	5,097	2,053 ↓	1,662 ↗	877 ↑	505 ↑
川崎市高津区	5,891	2,197 ↓	1,953 ↗	1,087 ↑	654 ↑
川崎市多摩区	6,895	2,781 ↓	2,362 ↑	1,069 ↑	683 ↑
川崎市宮前区	7,852	2,968 ↓	2,650 ↑	1,359 ↑	875 ↑
川崎市麻生区	7,205	3,113 ↓	2,476 ↑	1,069 ↗	547 ↘
相模原市緑区	5,197	2,236 ↓	1,786 ↑	781 ↗	394 ↘
相模原市中央区	8,522	3,739 ↓	2,740 ↗	1,306 ↗	737 ↗
相模原市南区	10,359	4,528 ↓	3,493 ↑	1,489 ↘	849 ↘
横須賀市	15,312	7,293 ↑	4,875 ↘	2,052 ↓	1,092 ↓
平塚市	13,059	5,496 ↓	4,182 ↗	2,132 ↑	1,249 ↑
鎌倉市	9,351	4,945 ↑	2,568 ↓	1,171 ↓	667 ↓
藤沢市	26,642	9,978 ↓	9,169 ↑	4,569 ↑	2,926 ↑
小田原市	7,919	3,244 ↓	2,678 ↑	1,248 ↑	749 ↑
茅ヶ崎市	15,051	6,211 ↓	5,334 ↑	2,201 ↗	1,305 ↗
逗子市	2,599	1,540 ↑	706 ↓	228 ↓	125 ↓
三浦市	1,697	759 ↘	575 ↗	217 ↘	146 ↗
秦野市	8,150	3,610 ↘	2,721 ↑	1,165 ↘	654 ↘
厚木市	10,307	4,771 ↗	3,250 ↘	1,446 ↘	840 ↘
大和市	12,808	10,023 ↑	1,506 ↓	1,275 ↓	4 ↓
伊勢原市	4,989	2,405 ↑	1,500 ↓	684 ↘	400 ↘
海老名市	6,581	3,082 ↗	2,143 ↗	850 ↓	506 ↘
座間市	5,875	2,565 ↘	1,961 ↑	851 ↘	498 ↗
南足柄市	2,118	877 ↓	727 ↑	330 ↗	184 ↗
綾瀬市	4,887	2,212 ↘	1,646 ↑	631 ↓	398 ↘
葉山町	1,606	957 ↑	427 ↓	152 ↓	70 ↓
寒川町	2,232	1,109 ↑	718 ↗	274 ↓	131 ↓
大磯町	1,577	693 ↘	571 ↑	202 ↘	111 ↘
二宮町	2,114	1,024 ↑	646 ↘	305 ↘	139 ↓
中井町	442	208 ↗	135 ↘	67 ↗	32 ↘
大井町	652	309 ↗	227 ↗	79 ↘	37 ↓
松田町	424	166 ↘	182 ↑	62 ↗	14 ↓
山北町	442	210 ↗	142 ↗	59 ↘	31 ↘
開成町	312	178 ↑	92 ↘	29 ↓	13 ↓
箱根町	734	351 ↗	242 ↗	90 ↘	51 ↘
真鶴町	545	214 ↓	194 ↗	87 ↗	50 ↗
湯河原町	1,515	552 ↓	571 ↑	247 ↗	145 ↗
愛川町	2,497	1,141 ↗	738 ↓	359 ↘	259 ↑
清川村	189	79 ↘	77 ↑	23 ↘	10 ↘

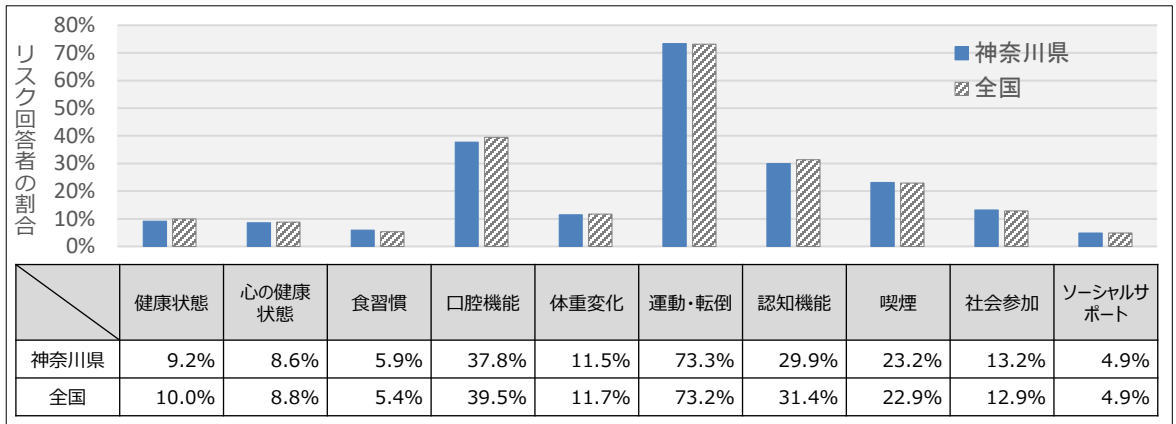
↑ 県平均割合よりも有意に高い
 ↗ 県平均割合よりも高いが有意ではない
 ↘ 県平均割合よりも低いが有意ではない
 ↓ 県平均割合よりも有意に低い

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 有意差の判定はz検定（両側検定）にて有意水準5%で判断
 * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-12）参照

3) 後期高齢者質問票からみるリスク状況

令和4年度の後期高齢者質問票（以下、「質問票」と記載）の回答結果をもとに、日常生活の中で感じている10類型の健康リスクに該当する回答者割合を集計したものが次のグラフになります。まず、全国平均との比較においては、「口腔機能」と「認知機能」の割合が若干少ない以外は、いずれも1ポイント未満の差に収まっており、非常によく似た傾向を示しています。次に、各類型別の割合については、歩行機能や転倒経験についての「運動・転倒」に対するものが最も高く、回答者の7割以上の人々が該当しています。次に割合が高いのが咀嚼や嚥下についての「口腔機能」に対するものです。

【質問票からのリスク保有者率（令和4年度）】



- * KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
- * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-13）参照
- * 結果のリスク判定詳細条件については（参考-4）参照

市区町村別のリスク保有状況については、次ページに一覧表を示します。主な傾向としては、川崎市はほとんどの類型においてリスク割合が高い点です。特に認知機能についてはすべての区がそれに該当しています。逆に相模原市は低い類型が多くなっています。なお、「口腔機能」は他の類型と比較して該当者割合値のばらつきが大きくなっています。

【市区町村別の質問票リスク保有者率（令和4年度）】 1/2

市区町村名	健康状態	心の健康状態	食習慣	口腔機能	体重変化
横浜市鶴見区	8.9% ↓	8.0% ↓	6.3% ↗	35.6% ↗	13.4% ↑
横浜市神奈川区	9.5% ↗	8.5% ↓	8.4% ↑	34.0% ↑	12.0% ↗
横浜市西区	8.8% ↓	6.6% ↓	8.3% ↑	33.1% ↑	13.6% ↑
横浜市中区	9.3% ↗	8.0% ↓	8.8% ↑	37.4% ↗	12.4% ↗
横浜市南区	7.8% ↓	6.8% ↓	8.6% ↑	37.7% ↗	12.3% ↗
横浜市保土ヶ谷区	7.0% ↓	6.5% ↓	5.5% ↓	33.4% ↑	11.9% ↗
横浜市磯子区	8.7% ↓	8.2% ↓	8.2% ↑	36.2% ↗	12.5% ↗
横浜市金沢区	7.6% ↓	6.4% ↓	5.0% ↓	33.0% ↓	10.8% ↓
横浜市港北区	7.2% ↓	6.6% ↓	6.6% ↗	33.8% ↓	11.3% ↓
横浜市戸塚区	8.0% ↓	7.5% ↓	5.1% ↓	34.8% ↑	12.3% ↗
横浜市港南区	7.1% ↓	7.9% ↓	5.9% ↗	34.1% ↓	10.4% ↓
横浜市旭区	8.0% ↓	7.6% ↓	5.3% ↓	34.1% ↑	11.0% ↓
横浜市緑区	7.5% ↓	7.4% ↓	4.7% ↓	37.0% ↓	10.9% ↓
横浜市瀬谷区	8.0% ↓	7.2% ↓	5.1% ↓	34.5% ↓	10.6% ↓
横浜市栄区	6.2% ↓	7.2% ↓	5.3% ↓	32.9% ↓	11.0% ↓
横浜市泉区	8.0% ↓	6.8% ↓	5.0% ↓	34.1% ↓	10.9% ↓
横浜市青葉区	7.5% ↓	6.8% ↓	5.0% ↓	31.9% ↓	10.1% ↓
横浜市都筑区	8.5% ↓	6.7% ↓	4.5% ↓	34.5% ↓	10.9% ↓
川崎市川崎区	10.6% ↑	9.5% ↑	8.7% ↑	44.1% ↑	14.1% ↑
川崎市幸区	9.8% ↗	8.9% ↗	7.9% ↑	42.0% ↑	12.6% ↑
川崎市中原区	8.8% ↓	8.7% ↗	8.2% ↑	40.9% ↑	12.7% ↑
川崎市高津区	9.2% ↗	8.7% ↗	7.2% ↑	41.8% ↑	12.6% ↑
川崎市多摩区	9.4% ↗	9.2% ↗	7.0% ↑	42.2% ↑	13.3% ↑
川崎市宮前区	8.0% ↓	7.3% ↓	6.3% ↗	38.5% ↗	12.7% ↑
川崎市麻生区	8.3% ↓	7.6% ↓	6.1% ↗	38.9% ↗	11.8% ↗
相模原市緑区	6.9% ↓	6.8% ↓	4.6% ↓	37.8% ↓	9.4% ↓
相模原市中央区	8.3% ↓	7.3% ↓	4.7% ↓	39.5% ↓	10.5% ↓
相模原市南区	8.2% ↓	8.2% ↓	4.9% ↓	37.9% ↓	10.4% ↓
横須賀市	7.7% ↓	7.3% ↓	5.5% ↓	36.3% ↓	10.5% ↓
平塚市	8.4% ↓	9.6% ↑	5.2% ↓	39.6% ↑	12.8% ↑
鎌倉市	8.8% ↓	9.1% ↗	5.7% ↓	31.6% ↓	10.7% ↓
藤沢市	12.4% ↑	10.6% ↑	6.3% ↑	36.5% ↓	11.4% ↓
小田原市	8.7% ↓	8.0% ↓	4.8% ↓	39.3% ↓	10.0% ↓
茅ヶ崎市	10.4% ↑	10.8% ↑	6.0% ↗	39.8% ↑	11.9% ↗
逗子市	9.2% ↗	7.8% ↓	5.0% ↓	35.3% ↓	11.1% ↓
三浦市	10.3% ↗	9.4% ↗	6.2% ↗	36.7% ↗	11.6% ↗
秦野市	9.6% ↗	8.3% ↓	4.4% ↓	41.5% ↓	11.0% ↓
厚木市	9.7% ↗	9.5% ↑	8.2% ↑	35.3% ↓	11.4% ↓
大和市	8.5% ↓	8.7% ↗	5.3% ↓	39.0% ↓	11.4% ↓
伊勢原市	10.2% ↑	8.6% ↓	3.8% ↓	41.1% ↓	11.2% ↓
海老名市	10.3% ↑	8.8% ↗	6.5% ↑	38.6% ↓	10.6% ↓
座間市	10.1% ↑	9.0% ↗	5.3% ↓	43.2% ↑	11.6% ↗
南足柄市	8.6% ↓	8.9% ↗	3.8% ↓	36.3% ↗	11.6% ↗
綾瀬市	11.7% ↑	11.1% ↑	5.3% ↓	37.9% ↗	10.0% ↓
葉山町	9.4% ↗	8.0% ↓	5.8% ↓	36.4% ↓	10.6% ↓
寒川町	8.1% ↓	6.9% ↓	4.0% ↓	37.7% ↓	10.2% ↓
大磯町	7.9% ↓	7.9% ↓	4.2% ↓	34.5% ↓	8.7% ↓
二宮町	8.4% ↓	8.7% ↗	5.0% ↓	37.0% ↗	12.5% ↗
中井町	10.4% ↗	10.7% ↗	5.0% ↓	41.4% ↓	10.7% ↓
大井町	8.9% ↓	9.4% ↗	4.5% ↓	36.4% ↗	12.0% ↗
松田町	5.8% ↓	8.7% ↗	0.0% ↓	43.5% ↓	10.1% ↓
山北町	8.8% ↓	7.2% ↓	2.9% ↓	41.1% ↗	12.0% ↗
開成町	8.9% ↓	8.0% ↓	4.2% ↓	31.9% ↓	8.3% ↓
箱根町	8.0% ↓	6.9% ↓	7.4% ↗	46.5% ↓	11.3% ↓
真鶴町	10.5% ↗	8.8% ↗	7.9% ↗	36.9% ↗	13.4% ↗
湯河原町	9.6% ↗	9.0% ↗	9.0% ↑	43.4% ↑	14.1% ↑
愛川町	10.6% ↑	10.1% ↑	5.6% ↓	44.2% ↑	11.6% ↗
清川村	10.4% ↗	5.5% ↓	6.5% ↗	46.2% ↓	11.4% ↓

↑ 県平均割合より有意に高い
 ↗ 県平均割合より高いが有意ではない
 ↓ 県平均割合より低い有意ではない
 ↘ 県平均割合より有意に低い

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 有意差の判定はz検定（両側検定）にて有意水準5%で判断
 * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-13）参照

【市区町村別の質問票リスク保有者率（令和4年度）】 2/2

市区町村名	運動・転倒		認知機能		喫煙		社会参加		ソーシャルサポート	
横浜市鶴見区	73.4%	↗	29.9%	↘	23.3%	↗	13.0%	↘	5.5%	↗
横浜市神奈川区	75.2%	↗	32.0%	↑	21.3%	↓	13.4%	↗	5.2%	↗
横浜市西区	73.0%	↘	28.7%	↘	20.7%	↘	12.5%	↘	5.3%	↗
横浜市中区	73.7%	↗	32.4%	↗	23.8%	↗	11.9%	↘	6.2%	↑
横浜市南区	73.1%	↘	30.1%	↗	22.8%	↘	13.0%	↘	6.8%	↑
横浜市保土ヶ谷区	71.3%	↘	28.3%	↘	23.9%	↗	10.6%	↓	4.9%	↘
横浜市磯子区	73.8%	↗	31.7%	↗	21.1%	↓	14.8%	↑	5.6%	↗
横浜市金沢区	71.0%	↘	28.0%	↓	20.4%	↓	11.6%	↓	4.1%	↓
横浜市港北区	72.0%	↘	28.6%	↘	20.6%	↓	9.9%	↓	4.4%	↓
横浜市戸塚区	70.7%	↓	28.9%	↘	22.0%	↘	12.3%	↘	6.0%	↑
横浜市港南区	72.8%	↘	27.9%	↓	20.8%	↓	10.7%	↓	5.5%	↗
横浜市旭区	72.4%	↘	28.9%	↘	24.2%	↗	12.3%	↘	4.9%	↘
横浜市緑区	72.6%	↘	29.1%	↘	21.8%	↘	11.5%	↓	5.1%	↗
横浜市瀬谷区	71.8%	↘	29.5%	↘	22.2%	↘	13.1%	↘	4.9%	↘
横浜市栄区	69.4%	↓	27.5%	↓	20.3%	↓	9.8%	↓	4.0%	↘
横浜市泉区	72.2%	↘	30.0%	↗	20.0%	↓	14.3%	↗	4.9%	↘
横浜市青葉区	69.6%	↓	26.7%	↓	22.9%	↘	9.7%	↓	4.5%	↘
横浜市都筑区	70.6%	↘	29.7%	↘	23.3%	↗	10.9%	↓	4.2%	↘
川崎市川崎区	76.7%	↑	38.0%	↑	27.4%	↑	17.5%	↑	5.6%	↑
川崎市幸区	74.0%	↗	35.1%	↑	25.2%	↑	14.0%	↗	5.1%	↗
川崎市中原区	75.7%	↑	34.7%	↑	24.3%	↗	13.5%	↗	4.6%	↘
川崎市高津区	76.8%	↑	35.5%	↑	24.9%	↑	15.8%	↑	5.3%	↗
川崎市多摩区	77.0%	↑	36.4%	↑	24.2%	↗	18.7%	↑	5.3%	↗
川崎市宮前区	74.3%	↗	34.1%	↑	24.9%	↑	14.4%	↑	5.2%	↗
川崎市麻生区	74.0%	↗	33.1%	↑	23.0%	↘	14.1%	↗	4.6%	↘
相模原市緑区	67.7%	↓	26.8%	↓	25.0%	↑	12.8%	↘	5.0%	↗
相模原市中央区	70.4%	↓	30.0%	↗	24.6%	↑	11.3%	↓	4.7%	↘
相模原市南区	72.4%	↘	28.6%	↓	22.7%	↘	11.1%	↓	4.9%	↘
横須賀市	72.5%	↘	27.2%	↓	22.7%	↘	12.7%	↘	5.5%	↑
平塚市	72.9%	↘	31.5%	↑	23.1%	↘	16.2%	↑	6.3%	↑
鎌倉市	71.1%	↓	25.8%	↓	26.0%	↑	9.8%	↓	3.7%	↓
藤沢市	75.9%	↑	27.3%	↓	26.0%	↑	13.6%	↗	4.6%	↓
小田原市	73.4%	↗	29.4%	↘	19.6%	↓	12.8%	↘	4.5%	↘
茅ヶ崎市	75.0%	↑	30.1%	↗	22.5%	↘	12.4%	↓	4.7%	↘
逗子市	73.4%	↗	26.5%	↓	22.8%	↘	9.4%	↓	4.5%	↘
三浦市	76.2%	↗	30.0%	↗	25.2%	↗	20.6%	↑	5.9%	↗
秦野市	74.1%	↗	30.1%	↗	20.4%	↓	14.8%	↑	5.0%	↗
厚木市	74.5%	↗	27.5%	↓	17.6%	↓	13.7%	↗	5.2%	↗
大和市	72.6%	↘	31.3%	↑	25.7%	↑	11.0%	↓	4.6%	↘
伊勢原市	71.9%	↘	30.1%	↗	20.9%	↓	12.9%	↘	4.2%	↓
海老名市	71.6%	↘	28.8%	↘	21.9%	↓	13.3%	↗	4.9%	↘
座間市	73.6%	↗	33.5%	↑	19.9%	↓	14.6%	↑	4.8%	↘
南足柄市	75.6%	↗	28.7%	↘	21.5%	↘	14.2%	↗	4.4%	↘
綾瀬市	72.1%	↘	28.2%	↓	26.7%	↑	15.3%	↑	4.9%	↘
葉山町	75.6%	↗	29.3%	↘	26.2%	↑	12.7%	↘	4.4%	↘
寒川町	68.5%	↓	30.0%	↗	26.7%	↑	12.1%	↘	4.5%	↘
大磯町	72.0%	↘	28.6%	↘	19.4%	↓	14.5%	↗	3.3%	↓
二宮町	73.4%	↗	27.5%	↓	15.8%	↓	13.7%	↗	4.1%	↘
中井町	73.0%	↘	30.2%	↗	19.8%	↘	15.5%	↗	3.6%	↘
大井町	69.3%	↘	29.2%	↘	19.8%	↘	10.8%	↘	3.4%	↘
松田町	82.6%	↗	26.1%	↘	15.5%	↘	21.7%	↗	5.8%	↗
山北町	70.7%	↘	27.8%	↘	23.2%	↗	13.8%	↗	5.6%	↗
開成町	62.0%	↓	23.6%	↓	20.8%	↘	11.2%	↘	2.2%	↓
箱根町	74.8%	↗	31.9%	↗	30.4%	↑	13.8%	↗	5.6%	↗
真鶴町	78.3%	↗	28.9%	↘	20.1%	↘	14.7%	↗	6.8%	↗
湯河原町	73.8%	↗	28.9%	↘	20.7%	↘	15.9%	↑	6.6%	↑
愛川町	75.0%	↗	31.1%	↗	23.9%	↗	18.6%	↑	4.5%	↘
清川村	75.1%	↗	31.5%	↗	23.9%	↗	10.4%	↘	2.7%	↘

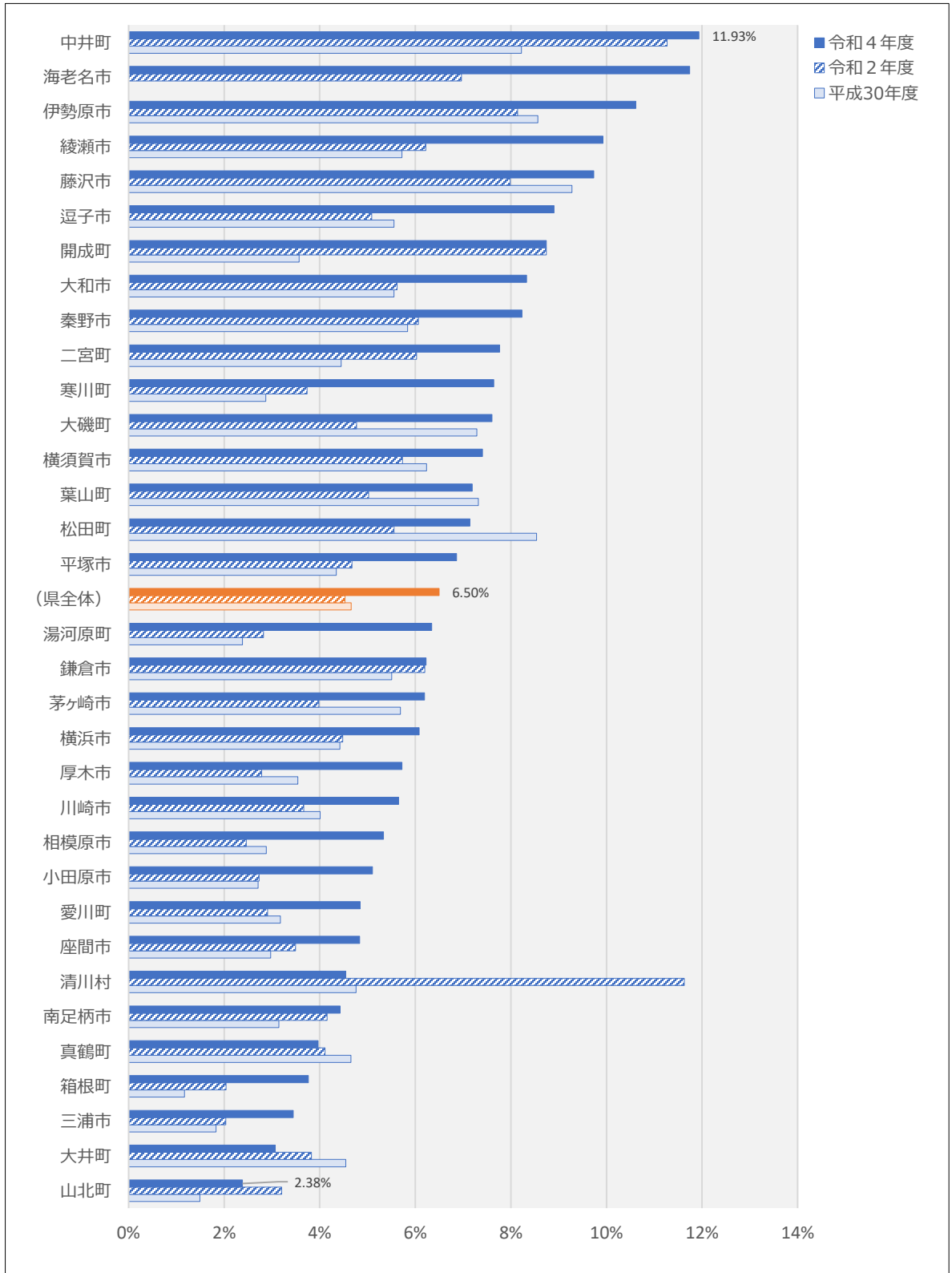
↑ 県平均割合よりも有意に高い
 ↗ 県平均割合よりも高いが有意ではない
 ↘ 県平均割合よりも低い有意ではない
 ↓ 県平均割合よりも有意に低い

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 有意差の判定はz検定（両側検定）にて有意水準5%で判断
 * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-13）参照

4) 歯科健康診査受診状況

当広域連合における歯科健康診査の受診対象者は、前年度に満75歳に達した被保険者としています。

【市区町村別の歯科健康診査受診率の推移】



* 当広域連合の持つ歯科健診実績データをもとに集計
 * 市区町村の掲載順は令和4年度受診率の高い順
 * 詳細の明細については(資料-14)参照

令和4年度の県全体での平均受診率は6.50%であり、令和2年度4.53%に比べ、1.7ポイント増加しました。市町村別においても多くの市町村で増加となりましたが、引き続き周知の徹底と受診勧奨の継続が必要です。

(4) 医療費に関する分析

1) 医療費基礎統計値

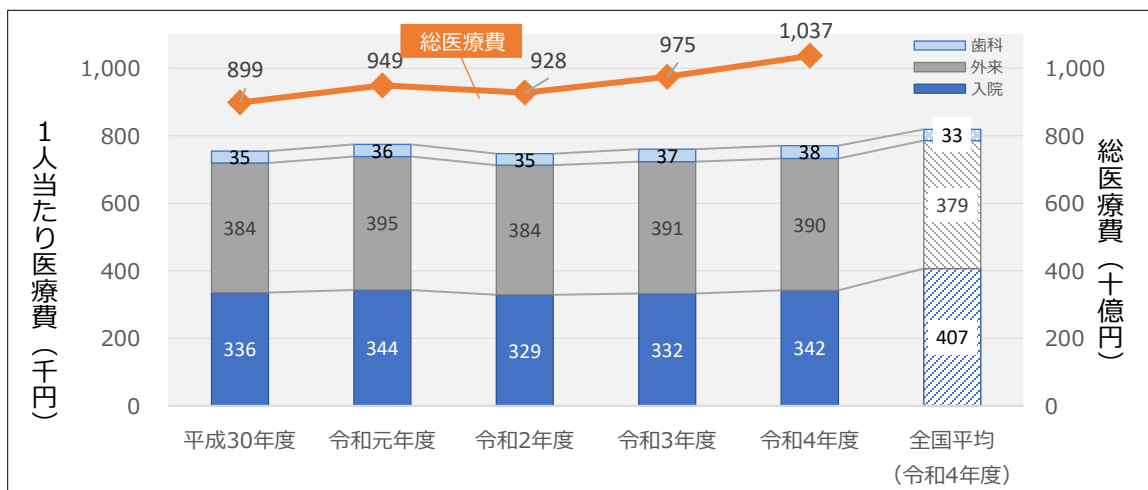
平成30年度から令和4年度までの5年間における診療報酬明細（レセプト）をもとにした総医療費に関する基礎数値は以下のとおりです。

【総医療費に関する基礎数値】

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全 国 令和4年度
被保険者数（人）		1,190,695	1,225,232	1,241,551	1,281,505	1,346,133	20,577,819
レセプト件数 （千件）	入院	689	701	645	655	682	13,425
	外来	17,654	18,244	17,338	18,182	19,127	283,984
	歯科	2,977	3,201	2,935	3,253	3,547	46,959
	（計）	21,319	22,147	20,918	22,090	23,356	344,368
医療費 （百万円）	入院	399,908	420,938	408,515	425,816	460,654	8,366,203
	外来	457,138	483,883	476,200	501,456	525,285	7,803,542
	歯科	41,467	44,235	43,124	47,265	50,947	683,094
	（計）	898,514	949,056	927,839	974,537	1,036,886	16,852,839
実日数 （千日）	入院	10,778	11,030	10,413	10,450	10,684	232,550
	外来	30,578	31,065	28,711	30,113	31,436	470,866
	歯科	5,594	5,872	5,367	5,766	6,125	82,475
	（計）	46,949	47,967	44,490	46,328	48,246	785,891
1人当たり医療費 （円/人）	入院	335,861	343,558	329,036	332,278	342,206	406,564
	外来	383,925	394,932	383,552	391,303	390,218	379,221
	歯科	34,826	36,103	34,734	36,883	37,847	33,196
	（計）	754,613	774,593	747,322	760,463	770,270	818,981
1件当たり日数 （日/件）	入院	15.6	15.7	16.2	16.0	15.7	17.3
	外来	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7
	歯科	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.8
	（計）	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.3
1日当たり医療費 （円/日）	入院	37,104	38,162	39,233	40,750	43,116	35,976
	外来	14,950	15,577	16,586	16,652	16,710	16,573
	歯科	7,413	7,534	8,035	8,198	8,317	8,282
	（計）	19,138	19,786	20,855	21,035	21,492	21,444
1人当たり件数 （件/人）	入院	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.7
	外来	14.8	14.9	14.0	14.2	14.2	13.8
	歯科	2.5	2.6	2.4	2.5	2.6	2.3
	（計）	17.9	18.1	16.8	17.2	17.4	16.7

* KDB健康スコアリング（医療）より集計

【総医療費と1人当たり医療費の推移】

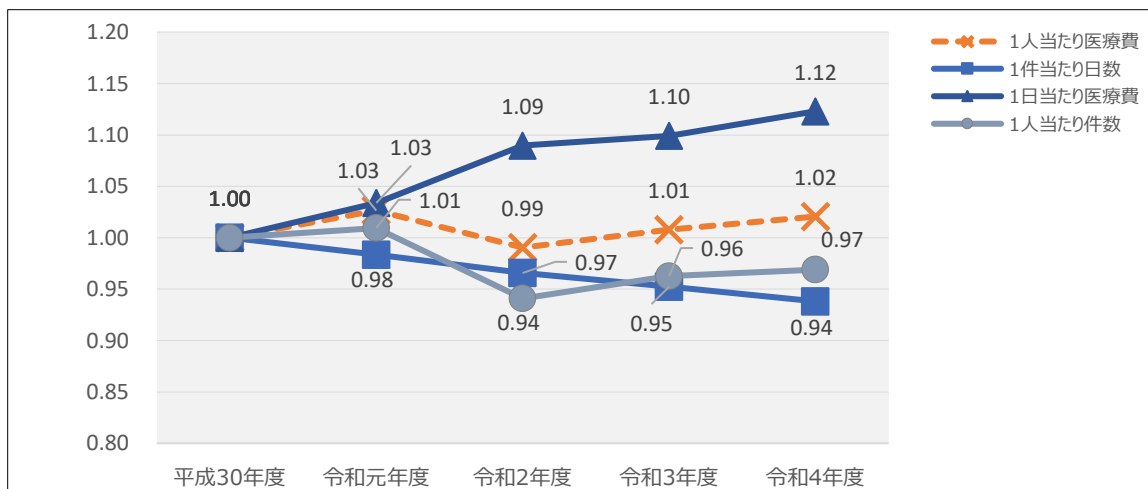


* KDB健康スコアリング（医療）より集計
 * 詳細の明細については（資料－15）参照

令和2年度の総医療費は、新型コロナウイルス感染症蔓延による受診控え等の影響により減少したと考えられますが、令和3年度より再び増加しました。令和3年度～令和4年度の伸び率は全国平均を上回っています。さらに、1日当たりの医療費は高いものの入院日数が少ないため、一人当たりの医療費は全国平均と比べ低くなっています。

75歳以上では、一人当たりの医療費のうち入院費が90歳～94歳まで増加することにより、医療費が高くなる傾向があります。

【医療費3要素の推移（平成30年度を1とした年度変化）】

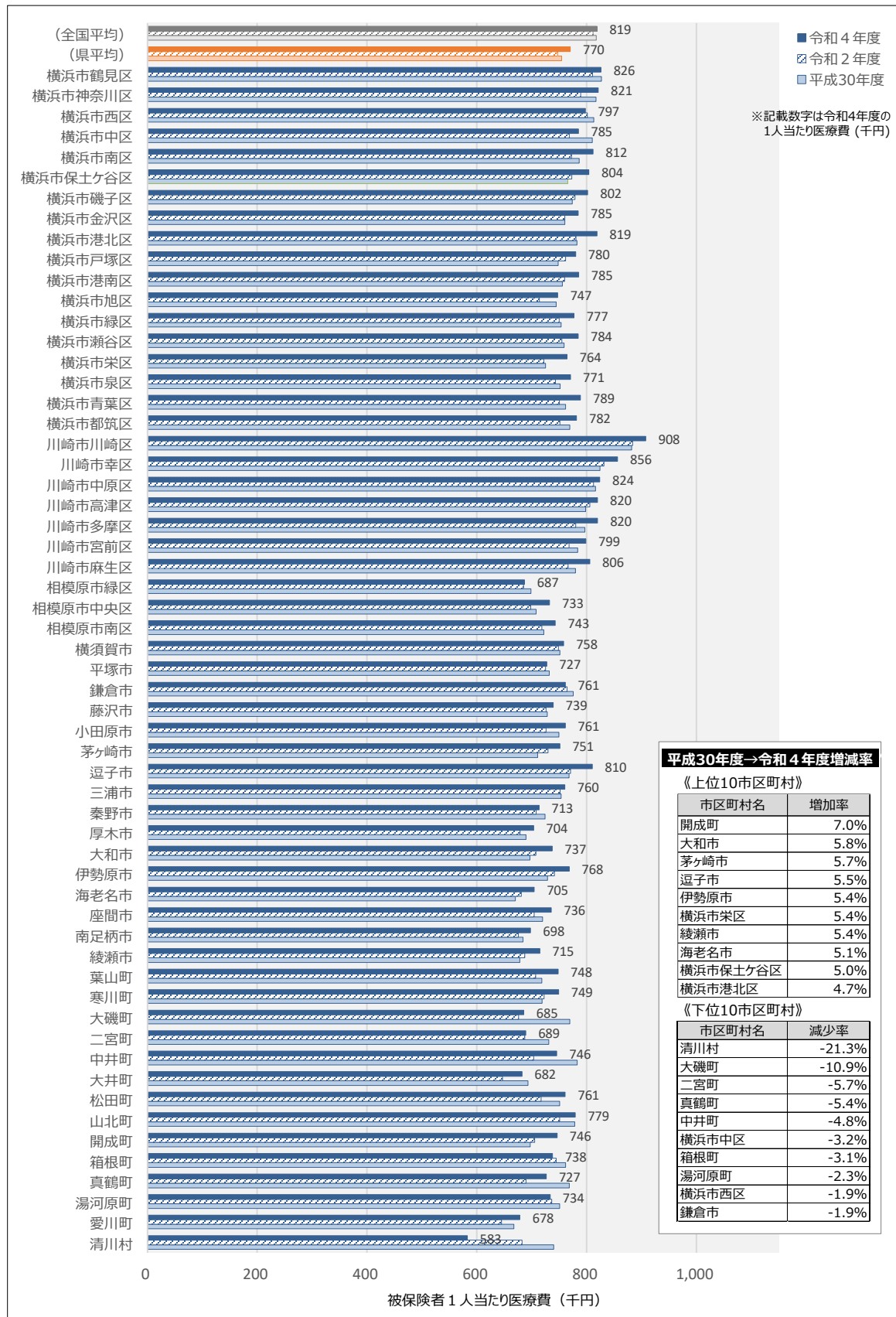


* KDB健康スコアリング（医療）より集計
 * 詳細の明細については（資料－15）参照

2) 市区町村別の被保険者1人当たり医療費

平成30年度、令和2年度、令和4年度の市区町村別被保険者1人当たり医療費は以下のとおりです。

【市区町村別の被保険者1人当たり医療費の推移】

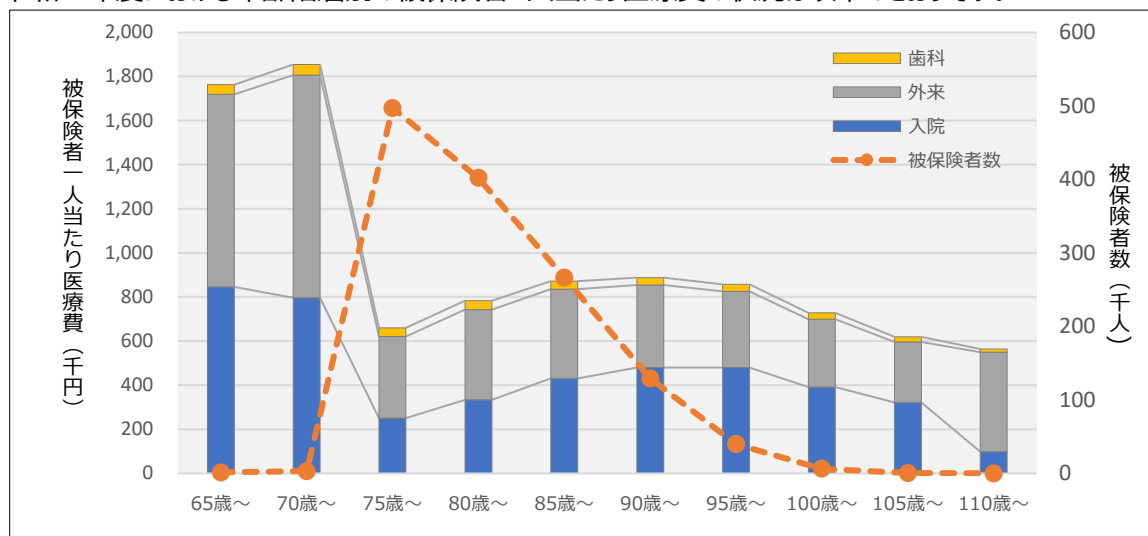


* KDB健康スコアリング(医療)より集計

* 詳細の明細については(資料-15)および(資料-16)参照

《参考》 令和4年度年齢階層別の1人当たり医療費

令和4年度における年齢階層別の被保険者1人当たり医療費の状況は以下のとおりです。



* KDB健康スコアリング（医療）より集計

75歳以上においては、主に入院医療費の増加に伴い1人当たり医療費も増加し、90～94歳でピークに達しますが、95歳以上では減少に転じています。このことより、比較的1人当たり医療費の高い85歳～94歳の年齢階層の被保険者数の割合が高い地域ほど、1人当たり医療費も高くなる傾向にあることがわかります。

3) 医療費の将来予測

「第3章(1)1)」で述べた年齢階層別被保険者数の推移予測結果をもとに、総医療費の令和17年度までの将来予測を行いました。予測を行う際の変動要素は以下の2つに限定しています。

①年齢階層別被保険者数の変化

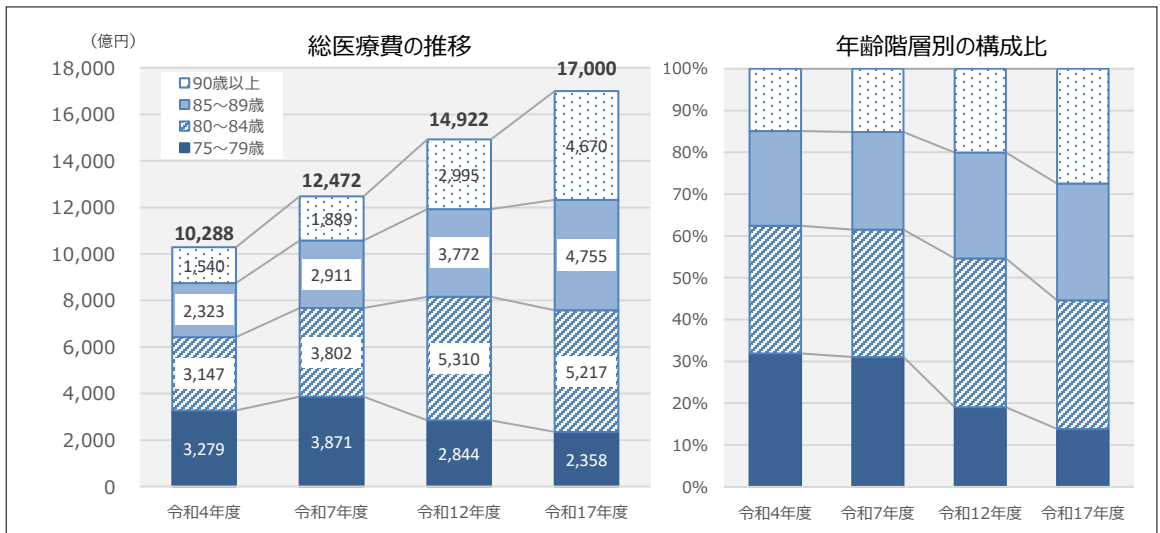
②年齢階層別1人当たりの医療費の変化

①については前述の年齢階層別被保険者数の推移予測結果をそのまま採用しています。②については医療技術の進歩や社会環境の変化等により、予測困難な面がありますが、以下の2つのケースを想定して実施しました。

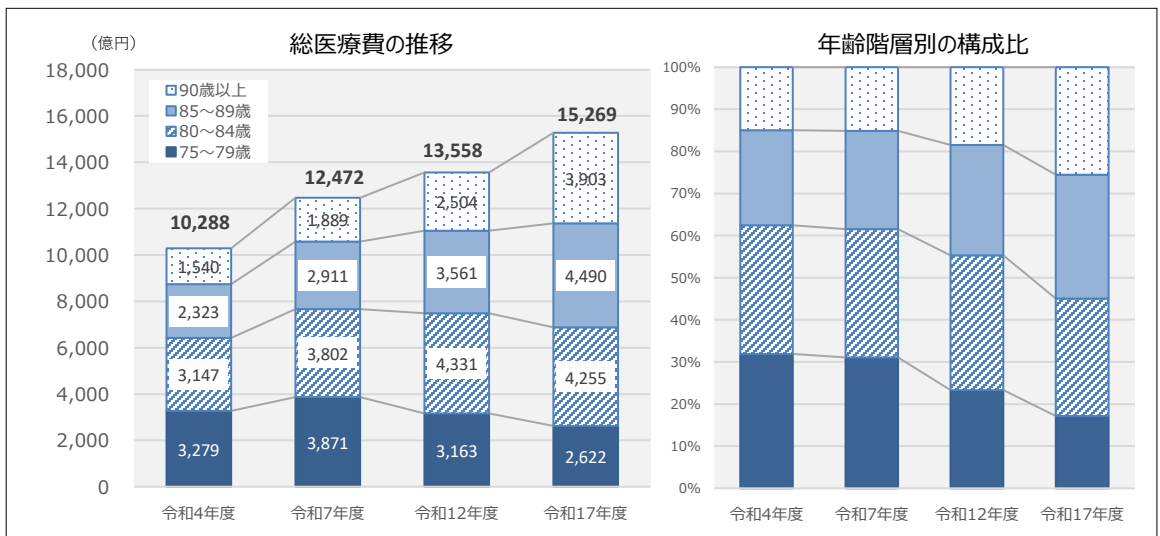
《ケース1》 令和3年度から令和4年度の伸び率がそのまま継続していくと想定した場合

《ケース2》 令和7年度までは令和3年度から令和4年度までの伸び率がそのまま継続するが、それ以降は平成30年度から令和4年度までの伸び率で推移すると想定した場合

《ケース1》



《ケース2》



令和7年度は令和4年度から約2,000億円増えて1.25兆円、令和12年度には1.36兆円~1.49兆円、さらに令和17年度には1.5~1.7兆円と大幅な増加となりました。

4) 高額医療費の状況

次に、1人当たり医療費増加の要因となる高額レセプト（30万円以上/件）、長期入院レセプト（入院期間：6ヵ月以上）、人工透析レセプトの状況は以下のとおりです。

高額レセプトの件数は、医科・歯科ともに、平成30年度から令和2年度にかけては件数が減少しているものの、令和4年度には、平成30年度よりも件数が増加しています。また、高額レセプト件数については、同じく医科・歯科ともに、総レセプト件数の増減がある中でも、年々増加しています。

総入院レセプトの件数も、医科・歯科ともに、平成30年度から令和2年度にかけては件数が減少しているものの、令和4年度には、平成30年度よりも件数が増加しています。しかし、医科・歯科ともに高額レセプトとは異なり、令和4年度は戻り幅が小さく、平成30年度の件数よりも減少しています。また、長期入院レセプト件数については、医科と歯科で傾向が異なります。医科の長期入院レセプト件数は、全体の傾向とは逆に、令和2年度に件数が増加するも、令和4年度には減少していますが、令和4年度の件数は、令和2年度よりも増加しています。さらに、歯科の長期入院レセプト件数は年々減少を続けており、令和4年度には0件となりました。

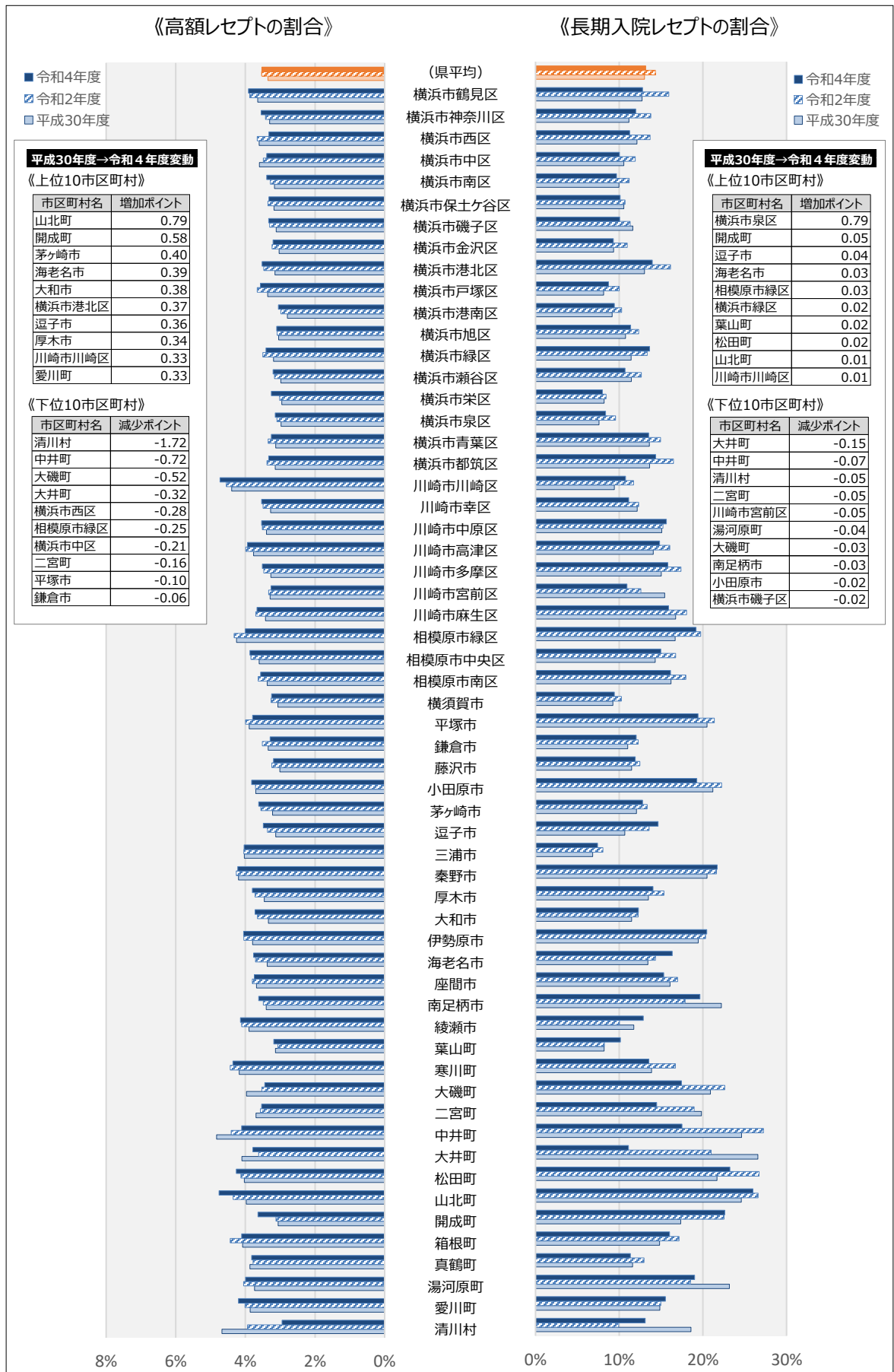
【高額・長期レセプトの発生状況推移】

		年度	平成30年度	令和2年度	令和4年度
被保険者数（人）			1,190,695	1,241,551	1,346,133
高額レセプト (30万円以上/件)	(医科)	総レセプト件数	18,342,757	17,982,839	19,809,458
		高額レセプト件数	615,541	635,672	699,379
		(割合)	3.36%	3.53%	3.53%
	(歯科)	総レセプト件数	2,976,711	2,935,079	3,546,633
		高額レセプト件数	662	670	750
		(割合)	0.02%	0.02%	0.02%
長期入院レセプト (入院期間:6ヵ月以上)	(医科)	総入院レセプト件数	688,706	644,594	681,963
		長期入院レセプト件数	89,703	92,303	89,803
		(割合)	13.02%	14.32%	13.17%
	(歯科)	総入院レセプト件数	2,511	1,881	2,002
		長期入院レセプト件数	8	1	0
		(割合)	0.32%	0.05%	0.00%

- * KDB健康スコアリング（医療）より集計
- * 市区町村別の詳細については（資料－17）を参照
- * 「総レセプト件数」には、「総入院レセプト件数」も含まれます。

さらに、医科レセプトにおけるこれらの発生状況を市区町村別に経年でまとめたものが次ページのグラフになります。

【市区町村別の高額・長期入院レセプト割合の推移（医科のみ）】



* KDB健康スコアリング（医療）より集計
 * 市区町村の掲載順は令和4年度における該当レセプト割合が両方とも相対的に高い順（それぞれの該当レセプト割合から求めた偏差値の合計順）
 * 詳細の明細については（資料-17）参照

糖尿病や糖尿病性腎症を中心とした人工透析導入者数の状況は以下のとおりです。

まず人工透析導入数は被保険者数の増加に伴い増加していますが、対象者の割合は5年間でほぼ横ばいの状況です。また、最も注目すべきであるところの、導入者数に占める新規導入者数の割合については、令和2年度に微増したものの、令和4年度においては平成30年度とほぼ同一レベルに戻っています。

【人工透析導入者数の推移】

	平成30年度	令和2年度	令和4年度
被保険者数（人）	1,124,660	1,173,080	1,264,236
人工透析導入者数（人） （被保険者数に占める割合）	9,805 (0.9%)	10,497 (0.9%)	11,341 (0.9%)
新規導入者数（人）[上記の内数] （新規導入者数に占める割合）	1,097 (11.2%)	1,233 (11.8%)	1,266 (11.2%)

*「新規人工透析者数等集計表（令和5年9月提供）」（令和5年度データ分析支援事業として神奈川県国保連合会にて独自作成）をもとに集計
 *各年度の被保険者数は、元データ作成仕様の相違により、KDBから集計したものと異なることに注意
 *詳細の明細については（資料－18）参照

人工透析導入者の発生状況を市区町村別に経年でまとめたものが次ページのグラフになります。被保険者に占める導入者割合の増減傾向については、被保険者数の少ない清川村での変動（大幅減少）を除くと、いずれの市町村も小幅な変動に収まってはいるものの、中でも増加率の高い上位3町はいずれも県西部に集中しています。さらに、導入者に占める新規導入者割合の増減傾向を見ると、市町村によりばらつきが見られます。

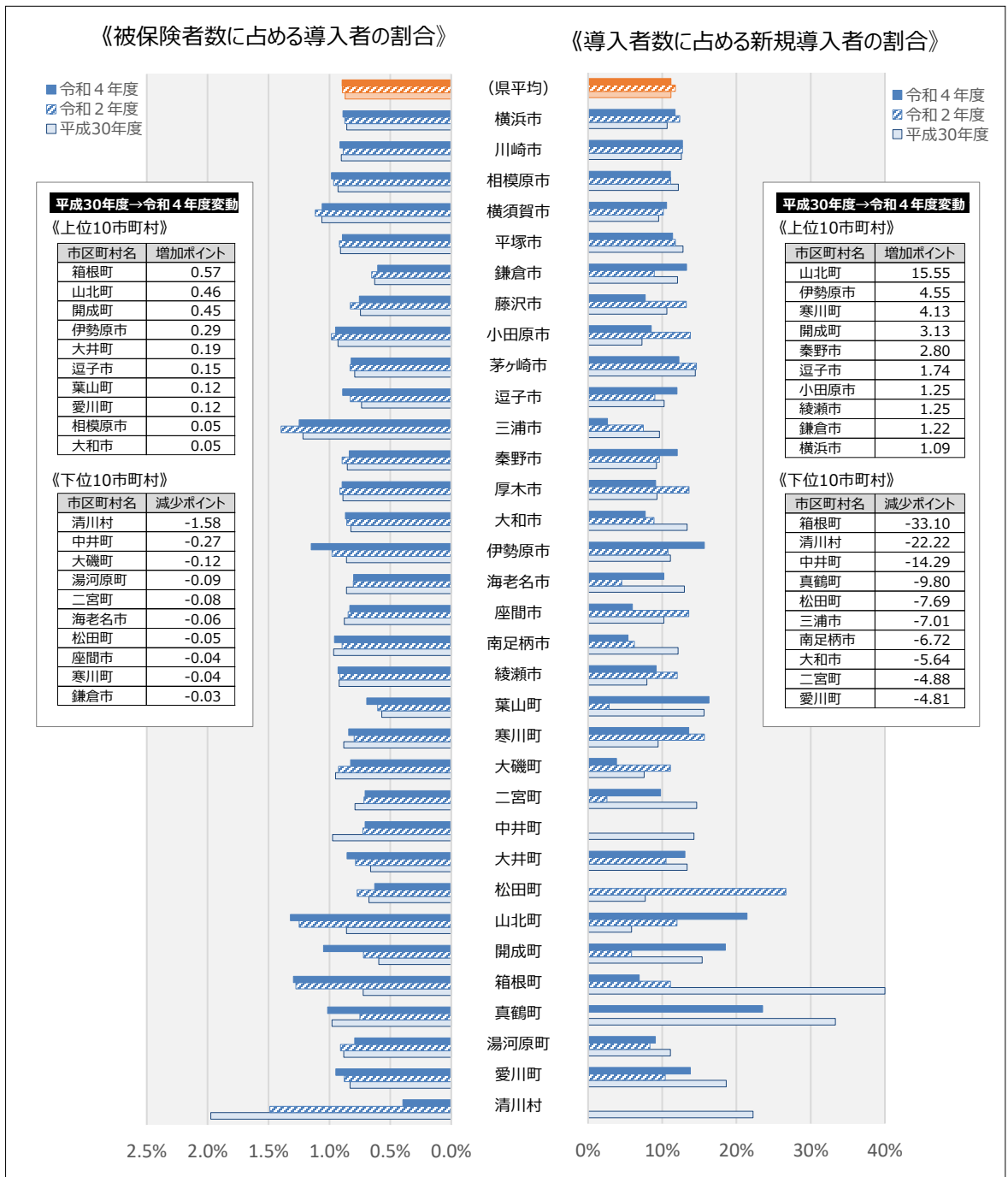
令和4年度のレセプトをもとにした人工透析患者の医療費の状況は以下のとおりです。まず人工透析患者数は11,746人であり、被保険者数全体の0.9%ではあるものの、人工透析患者の医療費が占める割合は総医療費の6.3%に達しています。また、1人当たり医療費は500万円（被保険者平均の7.17倍）を超えており、医療費増加の大きな要因となっていることがわかります。

【人工透析患者の医療費状況（令和4年度）】

	被保険者全体 (a)	人工透析患者 (b)	割合 (b/a)
対象者数（人）	1,346,133	11,746	0.9%
総医療費（円）	1,036,886,257,800	64,873,616,172	6.3%
1人当たり医療費（円）	770,270	5,523,039	717.0%

*KDB厚労省様式2-2人工透析患者一覧データをもとに、該当者の令和4年度レセプトデータを突合させて集計
 *被保険者数および人工透析患者数は、元データ作成仕様の相違により前述した人工透析導入者数と異なる
 *対象者数（人）は令和4年度に資格があった被保険者数

【市町村別の人工透析導入者割合の推移】



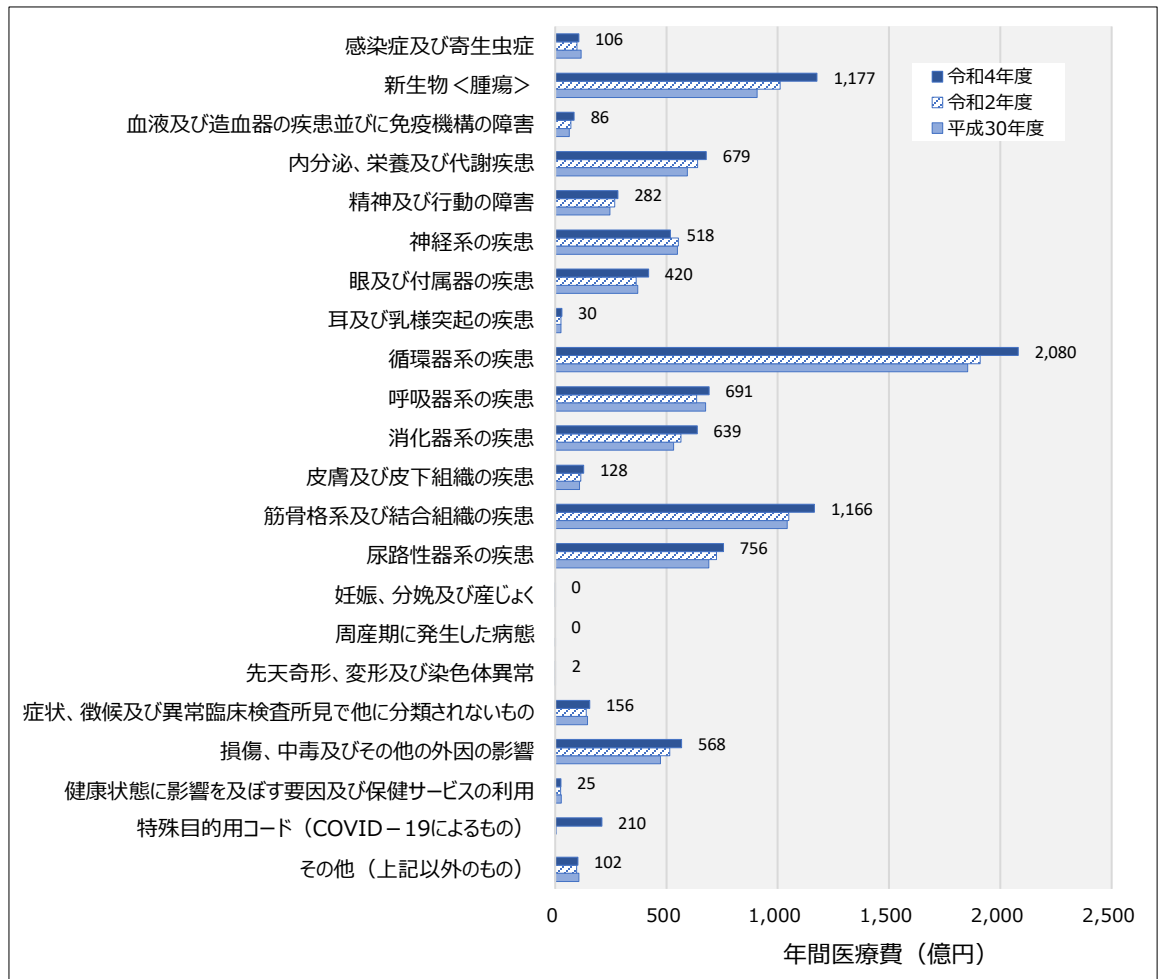
*「新規人工透析者数等集計表（令和5年9月提供）」（令和5年度データ分析支援事業として神奈川県国保連合会にて独自作成）をもとに集計（集計は政令市についても行政区単位ではなく市単位に集計されている）

* 詳細の明細については（資料-18）参照

5) 疾病別医療費の状況

平成30年度・令和2年度・令和4年度における疾病別医療費の状況は以下のとおりです。
 疾病の大分類別の医療費は、どの年度も同じ傾向を示しています。

【大分類による疾病別医療費の推移】



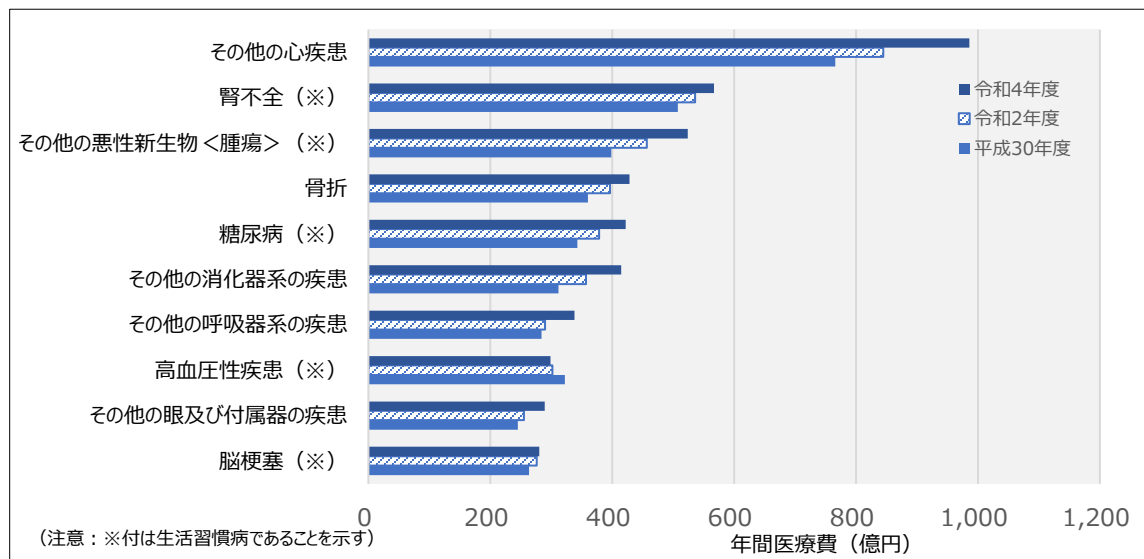
* KDB医療費分析(2)（大中細小分類）データより集計
 * 詳細の明細については（資料-19）参照

最も多く医療費を占めるのは「循環器系の疾患」であり、令和4年度は、総医療費1兆37億円に対して2,080億円と、医療費全体の約2割を占めています。

次いで、「新生物<腫瘍>」と「筋骨格系及び結合組織の疾患」が多く、それぞれ全体の1割以上を占めています。この3分類の医療費は、平成30年度との比較においていずれも10%以上の伸びを示しており、今後も確実に増えてくるものと予想されます。

中分類で最も医療費が高いのは「その他の心疾患」、続いて「腎不全」となります。また「その他の心疾患」は、他の10疾病分類の中で5年間の増加率も最も高くなっており、今後のさらなる増加も予想されます。なお、これら上位10疾病分類のうち半数となる5疾病分類は生活習慣病に分類される疾病分類となっています。

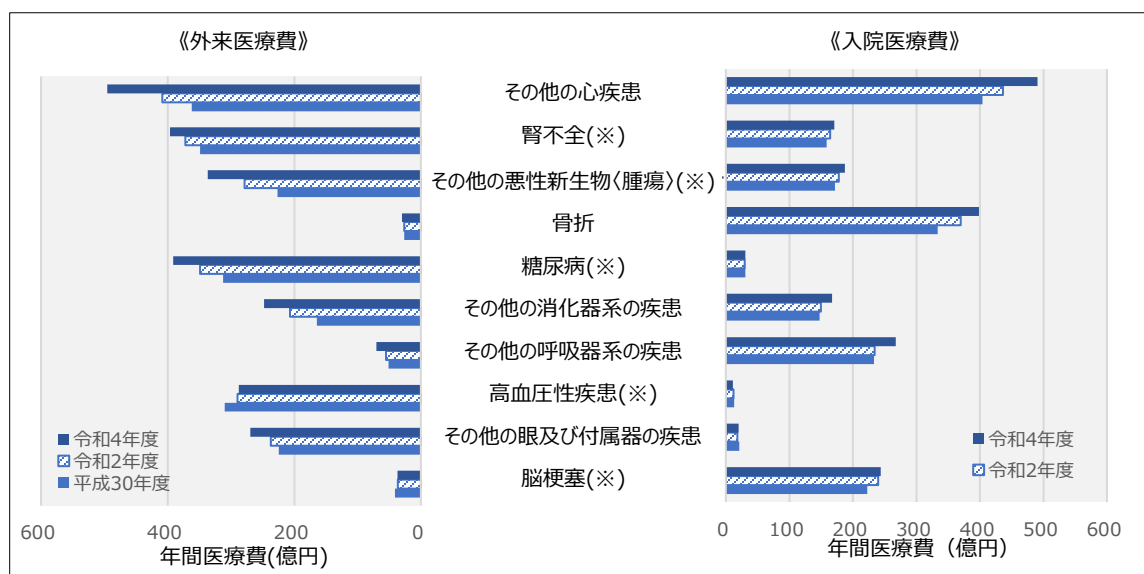
【中分類による疾病別医療費の上位10分類（総医療費）】



- * KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計
- * 掲載した中分類は令和4年度の総医療費上位10分類 (表示順も令和4年度の総医療費の高い順)
- * 詳細の明細については(資料-20)、市区町村別の上位5分類については(資料-21) 参照

中分類による疾病別医療費をさらに入院医療費と外来医療費に分けた場合、総医療費で一位だった「その他の心疾患」は入院・外来別でもいずれも一位となっています。一方、「糖尿病」・「高血圧性疾患」・「その他の眼及び付属器の疾患」は外来に多く、「骨折」・「脳梗塞」は入院に多くなっています。年齢階層別の1人当たり医療費においても高齢化に伴って入院医療費は増加傾向にあり、その要因の一つが長期の入院治療が必要となる高齢者の「骨折」や「脳梗塞」にあることが分かります。

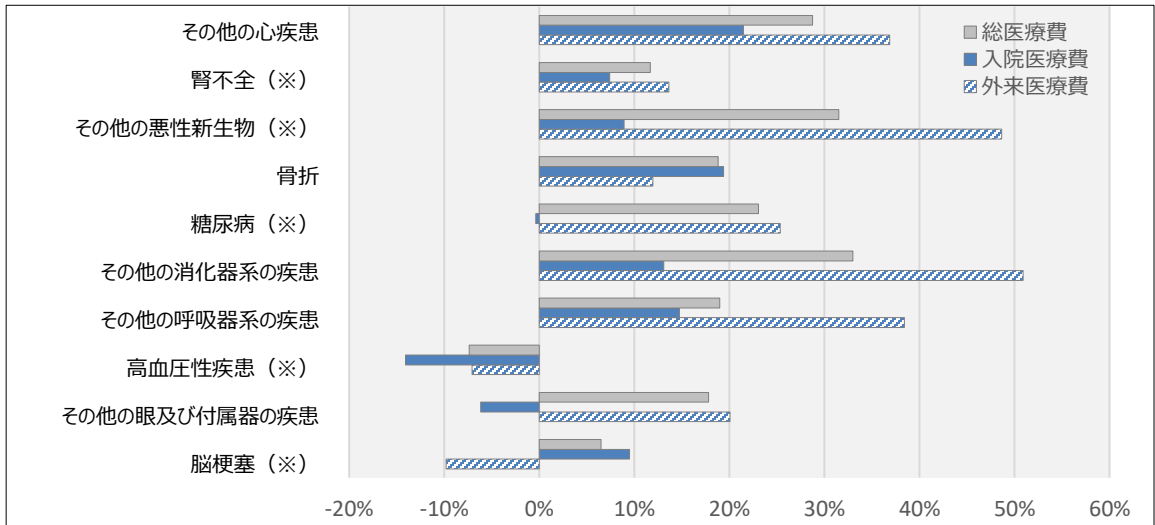
【上位10分類の入院/外来別医療費】



- * KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計
- * 掲載した中分類は令和4年度の総医療費上位10分類 (表示順も令和4年度の総医療費の高い順)

平成30年度から5年間で疾病別医療費の増加率を見ると、対象10疾病のうち上位7疾病については、入院・外来ともに増加しており、今後もこの傾向は継続が予想されます。

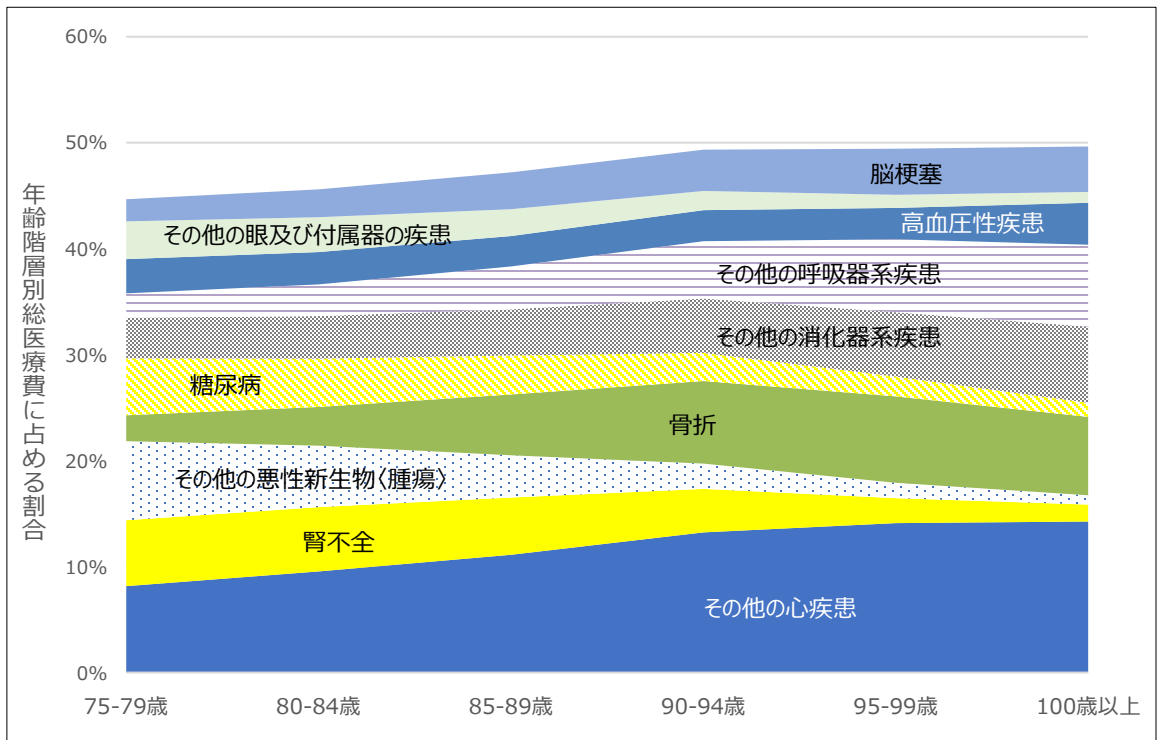
【平成30年度から5年間の疾病別医療費増加率】



* KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計
 * 掲載した中分類は令和4年度の総医療費上位10分類 (表示順も令和4年度の総医療費の多い順)

さらに、75歳以上の被保険者について、加齢に伴ってこれら上位10疾病ごとの医療費の割合がどのように変化していくのかを見たものが、次のグラフようになります。

【上位10分類の年齢階層別総医療費に占める割合 (令和4年度)】



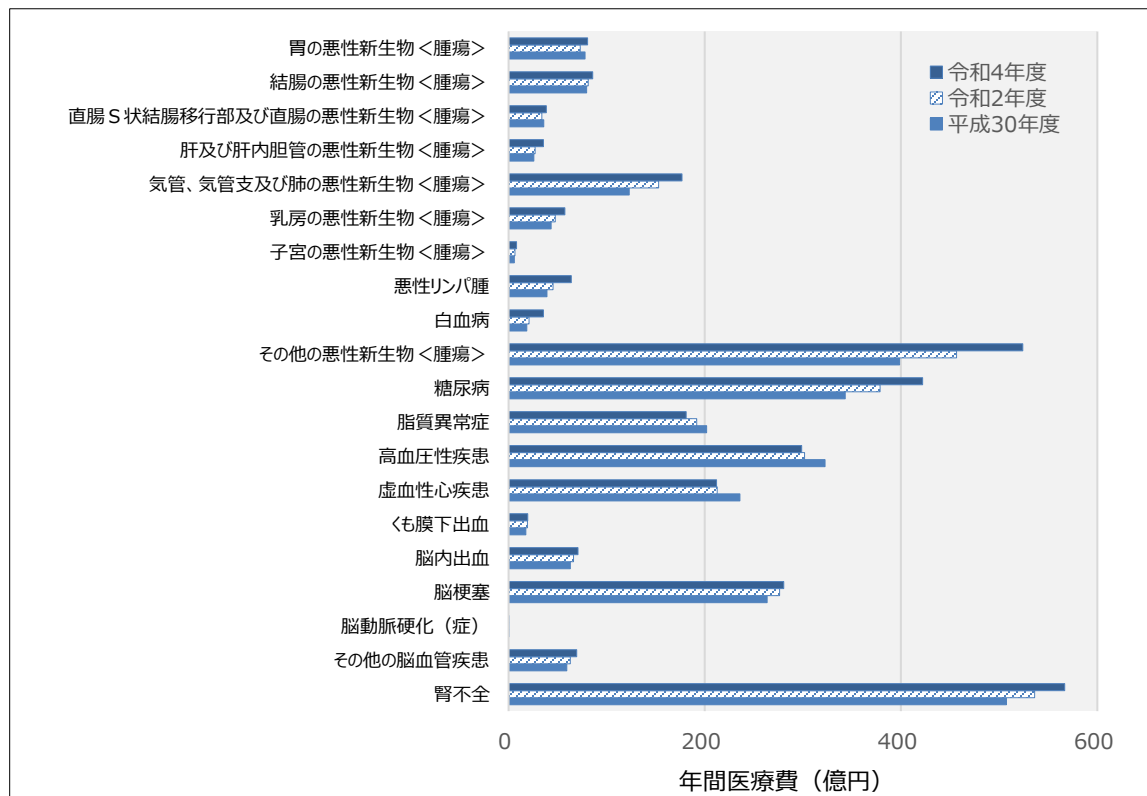
* KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計

すべての年齢階層において「その他の心疾患」の割合が最も高くなっています。「腎不全」、「その他の悪性新生物<腫瘍>」、「糖尿病」については、高齢になるほど低下していますが、「その他の心疾患」、「骨折」、「その他の呼吸器系疾患」については、高齢になるほど増加しています。

6) 生活習慣病の医療費

総医療費に占める生活習慣病医療費の占める割合は各年度ともに約33%前後で、大きな変動は見られません。また、各年度共通して「腎不全」、「その他の悪性新生物〈腫瘍〉」、「糖尿病」が上位を占めており、いずれも高い増加率を示しています。なお、「脂質異常症」、「高血圧性疾患」、「虚血性心疾患」は減少傾向にあります。

【生活習慣病の医療費推移】



* KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計

* 掲載した中分類はコード順

* 詳細の明細については(資料-22)参照

7) 健康診査受診と医療費の関係

平成30年度から令和4年度までの5年間に健康診査を受診したことがある集団（受診あり）と無い集団（受診なし）に分けて、令和4年度の一人当たりの医療費を比較しました。

【過去5年間の健康診査受診有無による令和4年度1人当たり医療費の比較】

	令和4年度の1人当たり医療費（円）			
	入院	外来	歯科	（合計）
受診あり	134,131	332,272	43,519	509,922
受診なし	412,293	409,802	36,298	858,392
（差額）	-278,162	-77,530	7,221	-348,470

* KDB健診データをもとに令和4年度のレセプトデータを突合して集計

「受診あり」集団の1人当たり医療費は509,922円、「受診なし」集団の1人当たり医療費は858,392円であり、「受診あり」集団のほうが348,470円と40%以上も低いという結果になりました。診療種別ごとにみると、「受診あり」集団は入院医療費と外来医療費は低い一方、歯科診療費については高くなっています。一般的に歯科の診療については医科以上に予防的意味合いが高いこともあり、「受診あり」集団の健康に対する意識は高く、健康診査の積極的受診行動や発症予防（または重症化予防）行動につながっており、その結果として医療費の抑制に結び付いているものと推察されます。

歯科健康診査は、前年度に満75歳に達した被保険者を対象に実施しており、令和4年度の歯科健康診査を受診したことがある集団（受診あり）と無い集団（受診なし）に分けて、令和4年度の1人当たり医療費で比較しました。

【令和4年度歯科健康診査受診有無による、同年度1人当たり医療費比較】

	令和4年度の1人当たり医療費（円）			
	入院	外来	歯科	（合計）
受診あり	124,209	321,176	49,258	494,643
受診なし	248,604	373,103	38,677	660,384
（差額）	-124,395	-51,927	10,581	-165,741

* 令和4年度受診対象者(令和4年度初めに75歳到達者)について、突合令和4年度のレセプトデータを突合して集計

「受診あり」集団の1人当たり医療費は494,643円、「受診なし」集団の1人当たり医療費は660,384円であり、「受診あり」集団のほうが165,741円と約25%低いという結果になりました。診療種別ごとにみると、上記の健康診査受診有無の分析結果と同様、「受診あり」集団は入院医療費と外来医療費は低い一方、歯科診療費については高くなっています。歯科健康診査を受診する人は、普段から歯や口腔の健康に対する意識が高く、定期的な歯のメンテナンスを含めて歯科の診療を積極的に受診していることが考えられます。その結果、他の疾病の発症予防（または重症化予防）につながっており、医療費の抑制に結び付いているものと推察されます。

8) 後発医薬品の普及状況

先発医薬品から後発医薬品への切り替えを被保険者に促し、薬剤費の削減を行うことで、医療費の適正化を図ることができます。後発医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの被保険者に対してアプローチできる利点があり、当広域連合でも積極的に取り組んでいる事業のひとつです。

令和4年度の医薬品の使用状況は下表のとおりです。

【医薬品の使用状況（令和4年度）】

	数量ベース（百万単位）		金額ベース（億円）		差額（億円）	
	先発	後発	先発	後発	最大	最小
医薬品使用量	543.6	1,954.7	313.8	339.4	153.6	134.1
後発医薬品普及率		78.2%		52.0%		

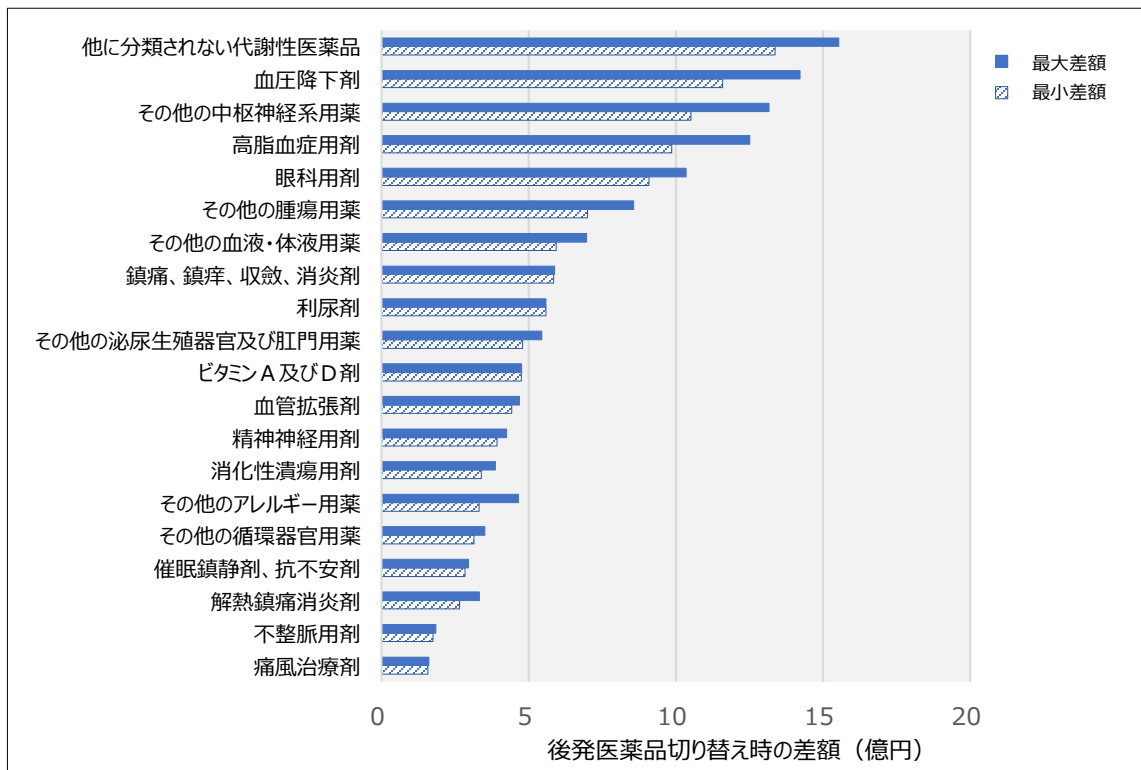
* 令和4年度のレセプトデータから抽出集計（金額は処方時点の単価×数量×回数で計算）

* 差額の最大/最小は、使用した先発薬に対する後発品のうち、最も単価が安い/高いものに変えた場合の差額を示す（対応する後発薬がない場合はゼロ）

* 市区町村別の使用状況については（資料-2.4）参照

次に、令和4年度の医薬品使用実績と各医薬品の切り替え状況に基づいて、薬効別での後発医薬品切り替え差額（期待効果額）を示したものが次のグラフになります。

【薬効分類でみた後発医薬品切り替え差額（上位20分類）】



* 令和4年度のレセプトデータから抽出集計

* 差額の最大/最小は、使用した先発薬に対する後発品のうち、最も単価が安い/高いものに変えた場合の差額を示す（対応する後発薬がない場合はゼロ）

* 薬効分類の掲載順序は後発医薬品切り替え時の最小差額が大きい順

* 切り替え差額には、入院、処置に使用した医薬品及びがん、精神疾患、短期処方等、後発医薬品差額通知対象として不適当な医薬品も含む

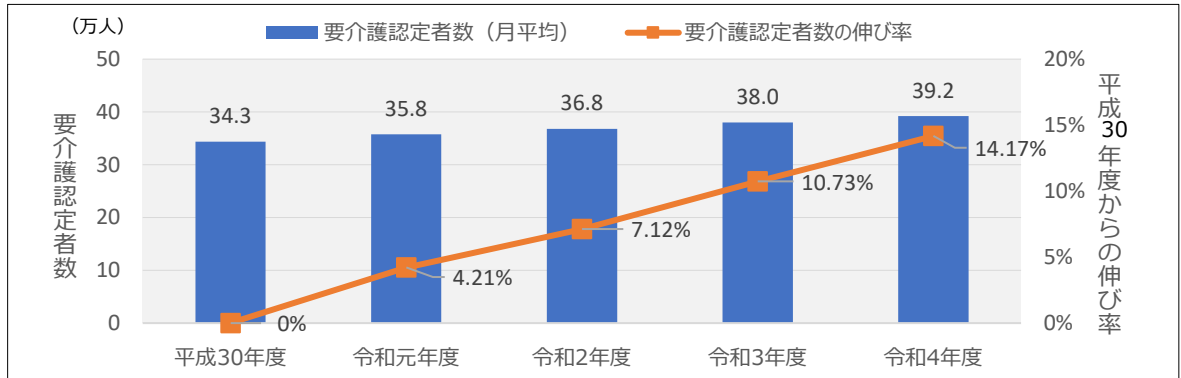
薬効別の後発医薬品切り替え差額は、関節痛治療薬等を含む「他に分類されない代謝性医薬品」、高血圧治療薬の「血压降下剤」、不眠症治療薬等を含む「その他の中枢神経系用薬」が上位を占めています。

(5) 介護に関する分析

1) 要介護認定者数の状況

平成30年度から令和4年度までの5年間における要介護認定状況については、本計画「第2章(1)2)」で述べた通り、要介護認定者数は平成30年度以降毎年1万人以上の増加が続いており、平成30年度からの5年間で約14%の増加となっています。

【75歳以上の要介護認定者数とその伸び率（対平成30年度）】（6ページより再掲）



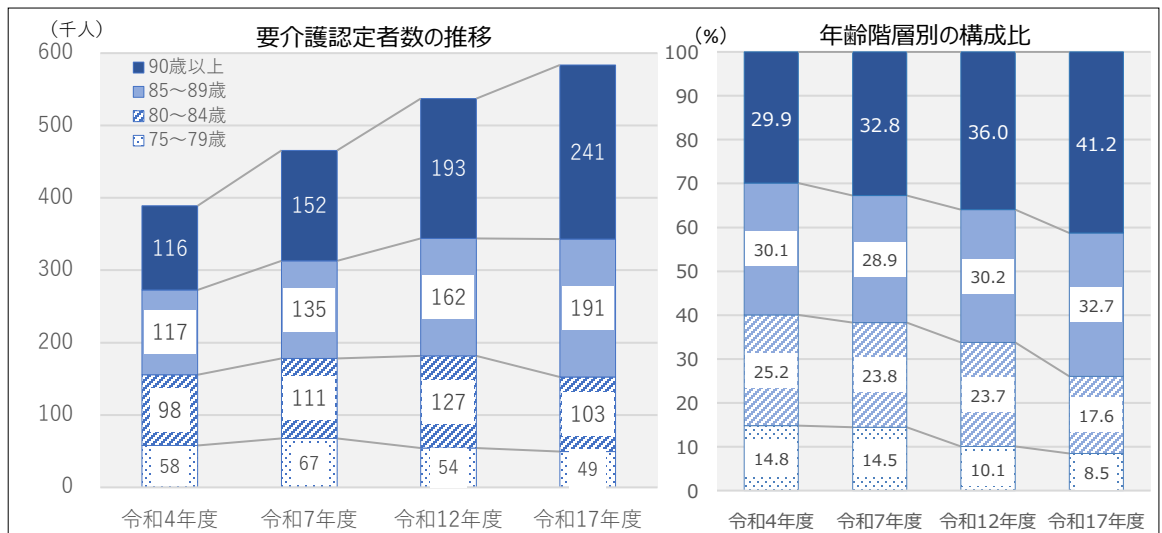
要介護認定者数は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」にも深く関わる指標の一つであり、今後の動向をしっかりと把握しておく必要があります。そこで「第3章(1)1)」で述べた年齢階層別被保険者数の推移予測結果をもとに、今後の推移を予測しました。

予測を行う際の変動要素は以下の2つに限定しています。

- ①年齢階層別被保険者数の変化
- ②年齢階層別要介護認定率の変化

①については前述の年齢階層別被保険者数の推移予測結果をそのまま採用しています。②については今後の健康寿命の延伸や介護保険制度を中心とした社会保障制度の動向等により、予測困難な側面がありますが、今回の予測にあたっては令和4年度の認定率が継続していくことを前提としました。

【75歳以上の要介護認定者数の推移予測結果】

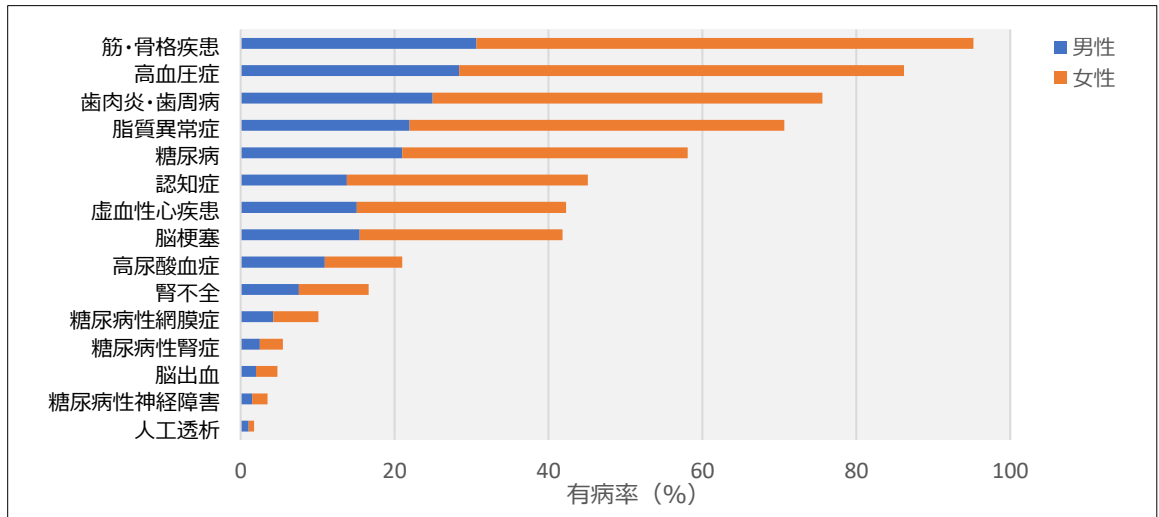


後期高齢者の増加に伴い要介護認定者も増加を続け、令和17年には約58万人と、令和4年から約20万人の増加が見込まれます。また、後期高齢者人口の増加は令和17年以降は減少し、要介護認定者数は増加していくと予測されます。

2) 要介護認定者の有病状況

令和4年度の75歳以上要介護認定者について、当年度のレセプトから主要疾病の治療中と判断される疾病について、有病率とその男女内訳を集計したのが次のグラフとなります。最も有病率の高い疾病は「筋・骨格疾患」（＝体系系フレイル）であり、要介護認定者のうち95.1%の方がこの該当者となっています。続いて「高血圧症」、「歯肉炎・歯周病」（＝オーラルフレイル）、「脂質異常症」の順で有病率が高く、これらの疾病有病率はいずれも7割を超えています。

【75歳以上要介護認定者数の主要疾病別有病率】



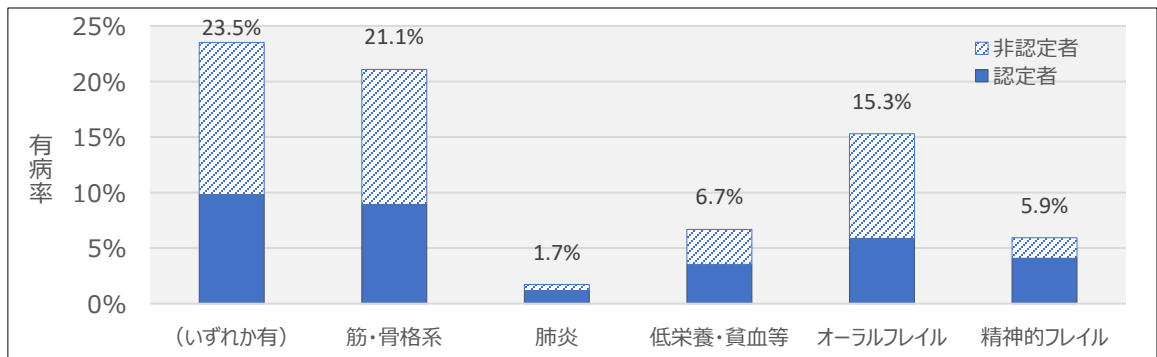
* KDB介護データを元にレセプトデータを突合して集計
* 男女別の詳細人数については（資料－25）参照

上記は要介護認定者の有病状況ですが、さらに要介護認定予備群となる要介護非認定者を含めた75歳以上被保険者全員のレセプトを対象に、フレイル系疾病の有病状況を分析しました。対象としたフレイル系疾病は右表のとおりです。

〈フレイル系疾病と代表的な傷病名〉

筋骨格系	関節症、骨折、骨粗鬆症
肺炎	感染症肺炎、誤嚥性肺炎
貧血・低栄養等	貧血、低栄養、尿失禁
オーラルフレイル	う蝕、歯肉炎、歯槽膿漏
精神的フレイル	うつ、認知症

【フレイル系疾病の75歳以上被保険者の有病率】



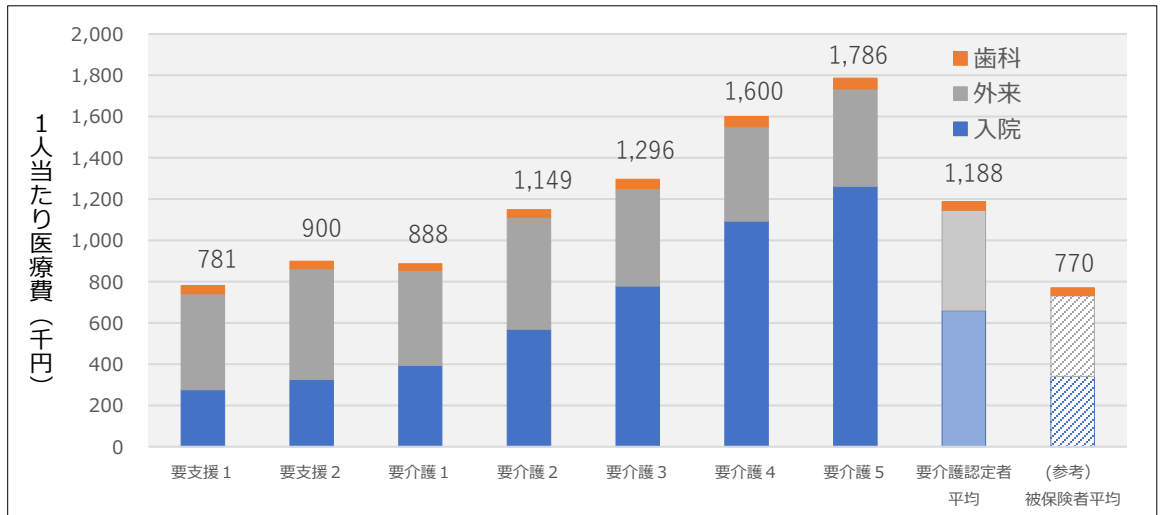
* KDB介護データを元にレセプトデータを突合して集計
* 対象とした傷病名の詳細は（参考－5）参照

「肺炎」と「精神的フレイル」については、有病者の半数以上が要介護認定者となっています。他のフレイル系疾病においてはすでに有病状態である（ただし、すでに治癒している場合もあり）が、まだ認定者となっていない方が半数以上存在していることを示しており、今後、介護予防の優先的対象者としていく必要があります。

3) 要介護認定者の医療費状況

同様の方法で、令和4年度の75歳以上要介護認定者の1人当たり医療費を要介護度ごとに示したものが次のグラフになります。要支援1と要介護1の場合を除くと、要介護度の進行と共に1人当たり医療費も上昇しています。また、外来医療費と歯科医療費は要介護度の違いによる差は少額ですが、入院医療費については要介護度の進行と共に大きく上昇しています。要介護認定者1人当たり医療費の平均額を被保険者全体の平均額と比較すると、医療費全体で1.5倍、特に入院については1.9倍と大きな差が発生しています。これらのことから、医療費適正化の面からも要介護度の進行をどう予防していくかが重要となります。

【75歳以上要介護認定者数の1人当たり医療費】

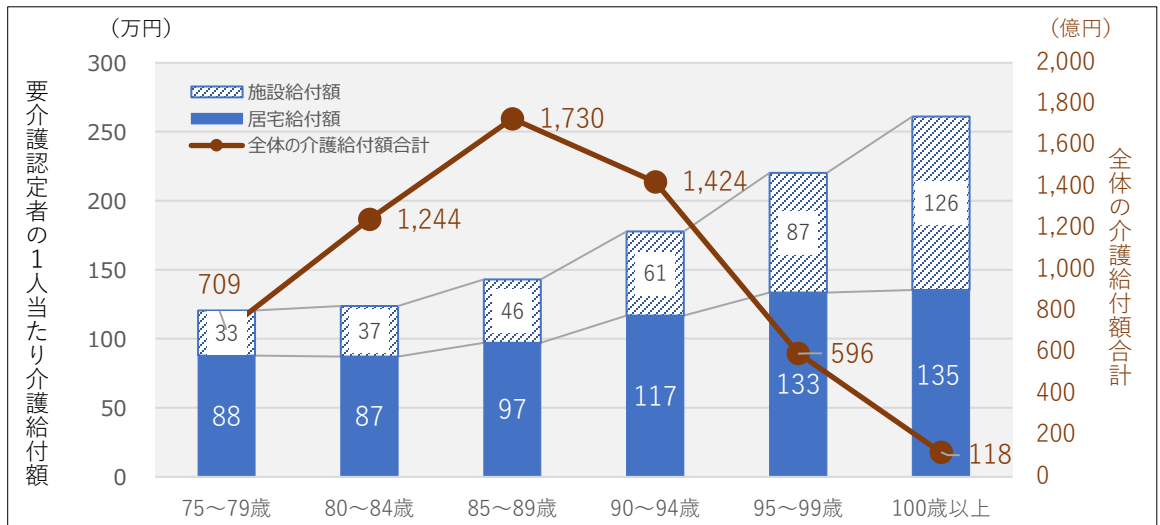


* KDB介護データを元にしセプトデータを突合して集計
* 年度途中で要介護区分の変更があった場合は、要介護度の高い内に集計

4) 要介護認定者の介護給付状況

令和4年度の75歳以上要介護認定者について、介護保険適用の1人当たり介護給付額を年齢階層別に示したものが次のグラフになります。介護給付費は、加齢と共に上昇が続いています。施設給付と居宅介護の割合の変化をみると、加齢と共に施設給付費の割合が増加し、100歳以上では居宅給付額とほぼ同じ割合となっています。

【年齢階層別の介護給付額】



* KDB健康スコアリング (介護) より集計
* 市区町村別の1人当たり介護給付額については (資料-26) 参照

第4章 課題と対策

(1) 計画全体に関わる目的と現状把握

《被保険者の状況》

- ・後期高齢者の人口は令和12年までは増加します。令和17年以降は減少傾向となりますが、85歳以上の割合が46.2%と増加します。
- ・平均自立期間は男女共に年々延伸傾向であり、女性は5年間で0.7歳、男性は0.6歳上昇しています。
- ・死因は男女ともに老衰が増加しています。

《各健康診査受診の状況》

- ・健康診査受診率は22.2%で全国より低く、市区町村間で7.7~44.0%の開きがあります。
- ・健康診査受診率は80~84歳が最も高くなっています。
- ・健康診査未受診者と比較して、健康診査受診者は一人当たりの医療費が低い結果となりました。
- ・健康診査受診結果は全国と比べて、血糖、血圧、脂質、瘦身のリスクが高い状況です。
- ・後期高齢者質問票では、全国と比べて運動・転倒がややリスク高い結果でした。
- ・歯科健康診査受診率は増加傾向です。

《医療費の状況》

- ・令和2年度の総医療費は、新型コロナウイルス感染症蔓延による受診控え等の影響があり減少したと考えますが、過去5年間全体でみると総医療費は増加し、伸び率は全国と比べて高い結果でした。
- ・一人当たりの医療費において、総額や入院は国と比べて低く、外来や歯科は高い結果となりました。
- ・一人当たり医療費が高いのは85歳~95歳です。団塊の世代が85歳となると医療費の大きな増加が想定されます。
- ・被保険者の増加に伴い、新規人工透析導入者数も増加しています。
- ・骨折やその他の心疾患は、年齢と共に増加していく傾向があります。
- ・後発医薬品を使用することで、医療費の抑制や自己負担額を軽減しています。
- ・後発医薬品使用率は78.2%で、目標値に達成していません。
- ・一体的実施事業で服薬に取り組む市町村が少ない現状です。

《要介護認定者の状況》

- ・介護認定者は5年間で毎年1万人増え、今後も増加が想定されます。
- ・介護認定者の有病率では、「筋・骨格系疾患」が最も高く、次いで「高血圧症」「歯肉炎・歯周病」「脂質異常症」の順となっています。
- ・要介護認定者の一人当たりの入院医療費は介護度進行とともに増加します。

(2) 事業推進に関わる課題と対策

(課題1) 健診受診率向上による健康状態の把握

- ・生活習慣病等の早期発見・重症化予防のため、多くの被保険者が健診を受けることで、健康状態を把握することが重要です。特に後期高齢者医療制度に加入した75歳～79歳の年代の健診受診の推奨が必要です。

【対策】

- ・被保険者に対し、健診への興味や関心を高める工夫や健診の必要性に関する啓発を実施します。
- ・市町村と連携し、地域の実情に応じた受診勧奨の手法を検討し、未受診者及び健康状態不明者へ受診を促します。

(課題2) 生活習慣病重症化予防とフレイル予防の推進

- ・後期高齢者医療制度加入から間もない被保険者の生活習慣病の重症化予防に取り組む必要があります。効果的な取組には、保健医療関係者との情報共有が重要です。
- ・フレイル対策により、肺炎や骨折予防に取り組むことが重要です。

【対策】

- ・健康課題や地域特性に合わせた生活習慣病重症化予防事業やフレイル対策を推進できるように市町村の取組の支援を実施します。
- ・糖尿病性腎症重症化予防を一体的実施事業として効果的に実施する市町村が増えるように、好事例の情報収集と横展開を進めます。

(課題3) 効果的な医療費適正化の取組の推進

- ・後発医薬品の普及啓発を行い、今後も使用割合を高めていく必要があります。
- ・適正服薬を推進するため、効果的な普及啓発や保健指導等が必要です。

【対策】

- ・一体的実施事業において、多くの市町村が服薬に取り組めるように、保健医療関係者の助言を得ながら、効果的な手法を検討し、積極的に情報提供します。

(課題4) 市町村の特性に応じたきめ細やかな支援の継続

- ・一体的実施事業の拡充に向けて、個別事業毎に広域連合と市町村等の役割を明確にする必要があります。

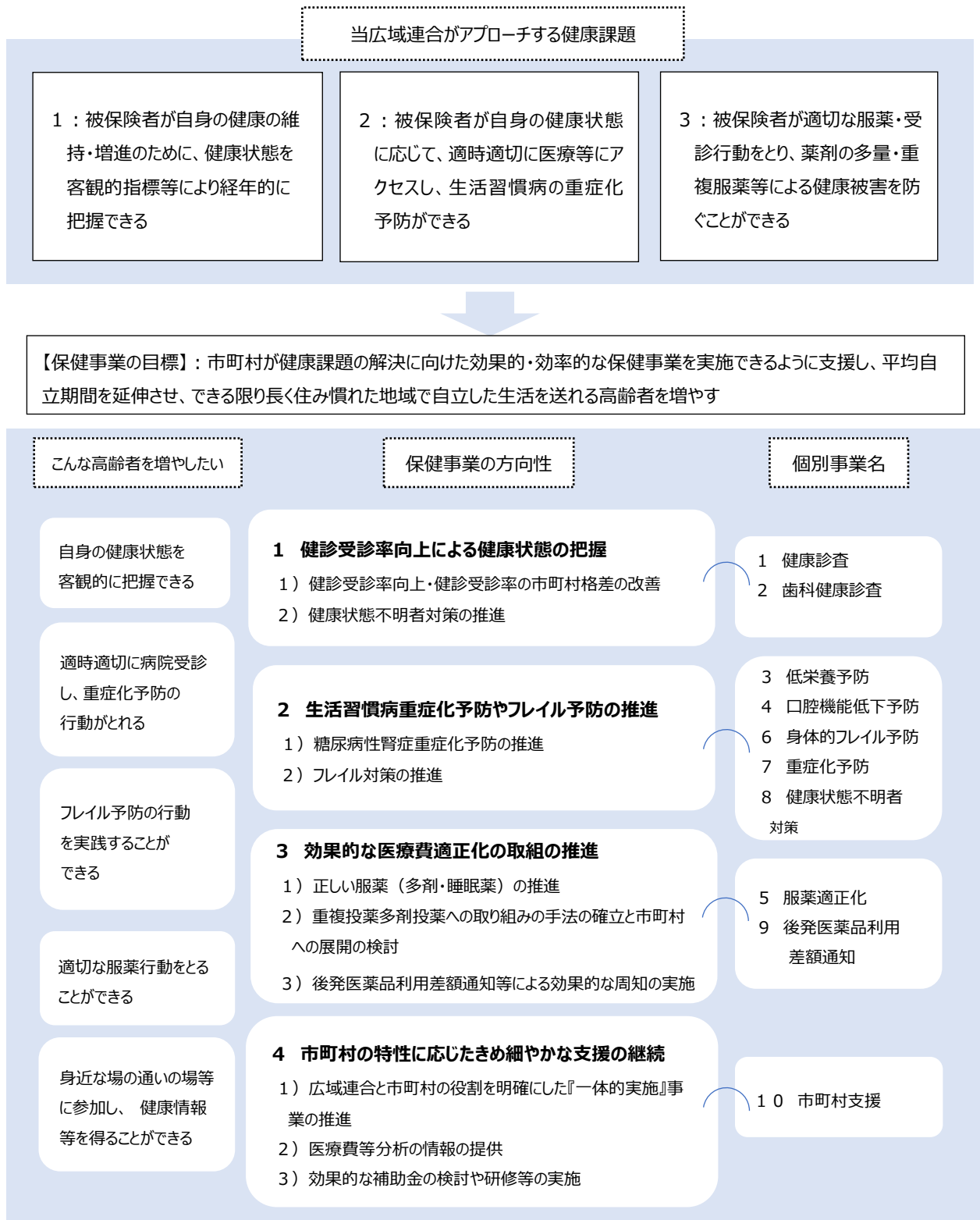
【対策】

- ・一体的実施事業を拡充していく上で、市町村のニーズを把握し、効果的な補助金の活用や医療費等分析情報の提供、研修の実施、市町村からの相談について適時対応し、より効果的な市町村の保健事業実施に向けて継続的に支援します。
- ・新たな共通評価指標を用いて、保健事業の進捗管理を行うためには、全市町村が健診結果や高齢者質問票等のデータをKDBシステムに確実に入力をする必要があります。そのため、市町村に向けた指導やスケジュール管理を行います。

第5章 保健事業計画

(1) 第3期データヘルス計画の体系図

【目的】：神奈川県に住む後期高齢者が生活習慣病の重症化やフレイルを予防し、できる限り長く住み慣れた地域で自立した生活を送ることができる



(2) 総合的な評価指標について

後期高齢者に対する保健事業を効果的・効率的に推進するため、全国の都道府県の広域連合が策定するデータヘルス計画では、標準的な評価指標が設定されています。

【総合的な評価指標（共通評価指標）】

重点的な取組	共通指標	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康診査・歯科健診の実施 ■ ハイリスク者の把握 (スクリーニング) 	健診受診率	
	歯科健診受診率	
	後期高齢者の質問票を活用したハイリスク把握に基づく保健事業を実施している市町村数・割合	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活習慣病の重症化予防 ■ 重症化予防 <ul style="list-style-type: none"> ・コントロール不良者 ・糖尿病治療中断者 ・基礎疾患保有＋フレイル ・腎機能不良未受療者 ■ 高齢による心身機能の低下防止 <ul style="list-style-type: none"> ・低栄養 ・口腔 ・身体的フレイル 	アウトプット	以下の保健事業（ハイリスクアプローチ）の実施市町村数・割合 <ul style="list-style-type: none"> ・低栄養 ・口腔 ・服薬（重複・多剤等） ・身体的フレイル ・重症化予防（糖尿病性腎症等） ・健康状態不明者
		アウトカム
	ハイリスク者割合（一体的実施支援ツールの抽出基準に該当する者の割合） <ul style="list-style-type: none"> ・低栄養 ・口腔 ・服薬（多剤） ・服薬（睡眠薬） ・身体的フレイル ・重症化予防（コントロール不良者） ・重症化予防（糖尿病等治療中断者） ・重症化予防（基礎疾患保有＋フレイル） ・重症化予防（腎機能不良未受診者） ・健康状態不明者 ※一体的実施・KDBシステム活用支援ツール（以下、「支援ツール」という）により実績値を把握	

(3) 第3期保健事業一覧

本計画は10事業を実施し、そのうちその他に分類される事業は当広域連合の独自事業として計画します。

保健事業の方向性	事業番号	分類	事業名	事業目的	評価指標		目標R11			
					アウトカム	アウトプット	アウトカム	アウトプット		
< 1 > 健診受診率向上による健康状態の把握	1	健康診査	健康診査	生活習慣病を早期発見し、適切に医療に繋げることで重症化を予防する。	-	健康診査受診率	-	前年度+0.5%		
	2		歯科健康診査	歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、心身機能の低下を防止する。	-	歯科健康診査受診率		9.5%		
< 2 > 生活習慣病重症化予防とフレイル予防の推進	3	一体的実施	低栄養予防	低栄養状態及びフレイル状態の被保険者に対し、個々の事情に合わせた保健指導を実施することで、栄養改善及び心身機能の低下予防を促すとともに、生活機能維持・改善を図る。	低栄養対象者割合		実施市町村数	26市町村		
	4		口腔機能低下予防	オーラルフレイル、口腔機能低下者を抽出して、保健指導等を行い、心身機能の低下を予防する。	口腔機能予防対象者割合			10市町村		
< 3 > 効果的な医療費適正化の取組の推進	5	適服薬化等	多剤	多剤投薬者や睡眠薬服用者を抽出して、服薬指導・服薬支援につなげることで、残薬を減らすとともに、転倒等の薬害有害事象を防止する。	多剤服薬対象者割合			5市町村		
			睡眠薬		睡眠薬多量処方者割合					
< 2 > 生活習慣病重症化予防とフレイル予防の推進	7	重症化予防	身体的フレイル予防		身体的フレイル対象者割合			10市町村		
			糖尿病性腎症	コントロール不良者	コントロール不良者対象者割合			27市町村		
				治療中断者	糖尿病治療中断者対象者割合					
				基礎疾患保有+フレイル	糖尿病+フレイル対象者割合					
			その他生活習慣病	コントロール不良者	糖尿病病やその他生活習慣病等を保有している被保険者に対し、高齢者の特性に応じた効果的な保健指導を行い、腎症・心不全やフレイルの悪化等の重症化を防ぐ。			コントロール不良者(血糖を除く)対象者割合		14市町村
				治療中断者	生活習慣病治療中断者(糖尿病を除く)対象者割合					
基礎疾患保有+フレイル	基礎疾患保有(糖尿病を除く)+フレイル対象者割合									
腎機能不良未受診者	腎機能不良未受診者割合									
< 1 > 健診受診率向上による健康状態の把握 < 2 > 生活習慣病重症化予防とフレイル予防の推進	8	健康状態不明者対策	健康状態未把握者に保健指導等を実施し、健診や医療受診、介護サービス等に結びつけることで、健康状態未把握者の減少につなげる。	健康状態不明者の割合		前年度より減少	21市町村			
< 3 > 効果的な医療費適正化の取組の推進	9	後発医薬品の利用促進	後発医薬品への切り替えを促進し、医療費の適正化を図る。	通知対象者のうち、後発医薬品に切り替えた者の割合	通知数	9%	42,000通			
				後発医薬品の使用割合		80.0%				
< 4 > 市町村の特性に応じた、きめ細やかな支援の継続	10	その他	市町村が行っている保健事業を補助金の交付により支援し、実効性のある保健事業の拡充を図る。	健康診査事業の補助金を活用し、かつ受診率が上がった市町村数(全市町村合計)	当広域連合からの補助金を活用して取り組んだ事業数	前年度より増加	前年度より増加			
				補助金の活用により増加したハイリスクアプローチ事業の数(全市町村合計)						

* アウトカムは県内の受診データが集まっていないため、中間評価で目標値を設定します。

* **太字**は共通評価指標です。

(4) 個別事業計画

1) 健康診査事業（継続）

【事業目的】

生活習慣病を早期発見し、適切に医療に繋げることで重症化を予防する。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：健康診査受診率

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度 + 0.5%	前年度 + 0.5%	前年度 + 0.5%	前年度 + 0.5%	前年度 + 0.5%

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none">・健康診査受診率向上に向けた課題の分析・抽出した課題に沿った効果的な受診勧奨の実施・全市町村による健康診査受診データのKDBシステムへの登録・医療機関、老人会、介護施設等の社会資源を活用した受診勧奨の実施・健康診査案内、受診券等、解りやすいツールの作成
広域連合	<ul style="list-style-type: none">・後期高齢者医療制度事業補助金、特別調整交付金、保険料を財源として補助金を交付・受診率向上対策に向けた受診勧奨ツール等の好事例収集と紹介・KDBシステムデータの集計

【実施に当たっての留意点】

健康診査の検査項目のデータや質問票の回答内容は、一体的実施に関する個別事業の対象者抽出や共通評価指標のアウトカム評価に欠かせないデータとなります。このため、KDBシステムへの登録を確実にすることが重要となります。

2) 歯科健康診査事業（継続）

【事業目的】

歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、心身機能の低下を防止する。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：歯科健康診査受診率

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		7.0%	7.5%	8.0%	8.5%	9.0%

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none">・一体的実施事業との連携・広報誌等による周知啓発活動
広域連合	<ul style="list-style-type: none">・様々な媒体を活用した広報・周知の実施・受診可能な歯科医療機関の増加に向けた関係機関との連携・未受診者を対象とした受診勧奨の実施

【実施に当たっての留意点】

歯科健康診査は、当広域連合が実施している事業です。現在は、神奈川県歯科医師会の協力歯科医療機関で行われており、協力歯科医療機関の増加は、被保険者の利便性向上の観点から受診率に影響すると考えられることから、当該事業において重要なポイントです。

3) 低栄養予防事業（新規）

【事業目的】

低栄養状態及びフレイル状態の被保険者に対し、個々の事情に合わせた保健指導を実施することで、栄養改善及び心身機能の低下予防を促すとともに、生活機能維持・改善を図る。

【評価指標と目標値】

○アウトプット評価：低栄養予防事業を実施した市町村数

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		25	25	25	26	26

○アウトカム評価：低栄養対象者割合の増加率の抑制

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none">・一体的実施事業における当該事業の推進・低栄養予防に向けた保健指導の実施・支援ツールを活用した対象者の抽出
広域連合	<ul style="list-style-type: none">・市町村における一体的実施事業の進捗管理・KDBシステムによるデータの集計、分析に基づく市町村への情報提供

【実施に当たっての留意点】

低栄養予防事業を行う市町村の増加を目指し、当広域連合からは市町村への支援を継続して行います。

4) 口腔機能低下予防事業（新規）

【事業目的】

オーラルフレイル、口腔機能低下者を抽出して、保健指導等を行い、心身機能の低下を予防する。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：口腔機能低下予防事業を実施した市町村数

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	8	8	9	9	10	10

○アウトカム評価：口腔機能低下対象者割合の増加率の抑制

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none">・一体的実施事業における当該事業の推進・口腔機能低下予防に向けた保健指導の実施・口腔機能保持の啓発活動・支援ツールを活用した対象者の抽出
広域連合	<ul style="list-style-type: none">・市町村における一体的実施事業の進捗管理・KDBシステムによるデータの集計、分析に基づく市町村への情報提供

【実施に当たっての留意点】

口腔機能低下予防事業を行う市町村の増加を目指し、当広域連合からは市町村への支援を継続して行います。

5) 服薬適正化事業（再編・新規）

【事業目的】

多剤投薬者や睡眠薬服用者を抽出して、服薬指導・服薬支援につなげることで、残薬を減らすとともに、転倒等の薬害有害事象を防止する。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：服薬適正化事業を実施した市町村数

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	2	2	2	3	4	5

○アウトカム評価：多剤服薬該当者割合

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	2.9%	2.9%

○アウトカム評価：睡眠薬多量処方者割合の増加率の抑制

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的実施事業における当該事業の推進 ・地域住民への適正服薬の啓発 ・支援ツールを活用した対象者の抽出
広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプト情報による受療行動に課題のある対象者の抽出及び関連のデータ分析 ・市町村、医師会、薬剤師会へのデータ提供 ・服薬適正化事業の好事例の収集と紹介 ・KDBシステムによるデータの集計、分析に基づく市町村への情報提供

【実施に当たっての留意点】

当該事業については、かかりつけ医等医師会や薬剤師会等との調整や、被保険者個々の状況を踏まえた継続的な介入の必要性を勘案すると、市町村が一体的実施事業として取り組むことで、効果的な事業となり得るものと考えます。これらのことから、実施する市町村を増やしていくことが重要な事業であり、広域連合として事業のノウハウや好事例の情報共有などを通じて継続的に市町村の支援に取り組む必要があります。

6) 身体的フレイル予防事業（新規）

【事業目的】

身体的フレイルのリスクのある者を抽出し、「通いの場」や適切なサービスにつなぎ、フレイルを予防し、健康の保持増進を図る。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：身体的フレイル予防事業を実施した市町村数

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	5	6	7	8	9	10

○アウトカム評価：身体的フレイル該当者の割合の増加率の抑制

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的実施事業の推進 ・フレイル予防事業の実施 ・「通いの場」におけるポピュレーションアプローチや、地域支援事業からの連携 ・「通いの場」で活躍するボランティア（フレイルサポーター等）との連携 ・支援ツールを活用した対象者の抽出
広域連合	・市町村が実施する保健事業への支援、助言等

【実施に当たっての留意点】

当該事業を推進するために市町村の既存事業の確認を行うと共に、当広域連合からは市町村への情報提供および助言を行います。

7) 重症化予防事業（再編・新規）

【事業目的】

糖尿病やその他生活習慣病等を保有している被保険者に対し、高齢者の特性に応じた効果的な保健指導を行い、腎症・心不全やフレイルの悪化等の重症化を防ぐ。

【評価指標と目標値：重症化予防（糖尿病性腎症）】

◎アウトプット評価：糖尿病性腎症重症化予防事業を実施した市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	22	23	24	25	26	27

○アウトカム評価：コントロール不良者の割合の増加率の抑制

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：治療中断者の割合の増加率の抑制

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：糖尿病とフレイルの併存者の割合の増加率の抑制

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【評価指標と目標値：重症化予防（その他生活習慣病）】

◎アウトプット評価：その他生活習慣病重症化予防事業を実施した市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	9	10	11	12	13	14

○アウトカム評価：コントロール不良者（血糖を除く）の割合の増加率の抑制

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：治療中断者（糖尿病を除く）の割合の増加率の抑制

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：基礎疾患（糖尿病を除く）とフレイルの併存者の割合の増加率の抑制

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：腎機能不良未受診者の割合の増加率の抑制

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的実施事業の推進 ・国民健康保険離脱後の糖尿病性腎症および生活習慣病重症化リスク保有者に関する指導の継続（国民健康保険と後期高齢者医療保険の被保険者に対する保健指導の一体化） ・支援ツールを活用した対象者の抽出
広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の疾病の重症化予防に関連するデータの収集と保健指導に活用できるデータ分析の実施と結果の提供 ・KDBシステムによるデータの集計、分析に基づく市町村への情報提供 ・県及び保健医療関係者へ分析データを提供する

【実施に当たっての留意点】

当該事業については、かかりつけ医等医師会との調整や、被保険者個々の状況を踏まえた継続的な介入の必要性を勘案すると、市町村が一体的実施事業として取り組むことで、効果的な事業となり得るものであると考えます。これらのことから、実施する市町村を増やしていくことが重要であります。

8) 健康状態不明者対策事業（新規）

【事業目的】

健康状態未把握者に保健指導等を実施し、健診や医療受診、介護サービス等に結びつけることで、健康状態未把握者の減少につなげる。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：健康状態不明者対策事業実施市町村数

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	16	17	18	19	20	21

○アウトカム評価：健康状態不明者割合

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none">・一体的実施事業の推進・後期高齢者の質問票等を活用しての健康状態等の把握・庁内および関係機関との情報共有・支援ツールを活用した対象者の抽出
広域連合	<ul style="list-style-type: none">・市町村が実施する健康状態不明者対策事業への支援、助言等・健康状態不明者対策事業の好事例の収集と紹介、調査、研究・KDBシステムによるデータの集計、分析に基づく市町村への情報提供

【実施に当たっての留意点】

当該事業については、支援ツールを活用することはもとより、被保険者個々の特性について、ポピュレーションアプローチによる情報収集や他部署や関連機関との連携による情報共有が重要である。また、事業の推進が健康診査の受診率や他の一体的実施事業との親和性が高いことについても留意して取り組む必要があります。

9) 後発医薬品の利用促進事業（継続）

【事業目的】

レセプトデータを活用し、患者が服用している先発医薬品を抽出し、その薬を後発医薬品に切り替えることにより患者の自己負担額がどれくらい軽減するかということをお知らせする通知を送付します。合わせて、後発医薬品に対する先入観や不安感を取り除くことができる内容としていくことで、後発医薬品への切り替えを促し、医療費の適正化を図ります。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：通知事業の実施数（通知数）

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000

○アウトカム評価：通知対象者のうち、後発医薬品に切り替えた者の比率

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%

○アウトカム評価：後発医薬品の使用割合（数量ベース）

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%

※国が示す新たな「後発医薬品の使用促進に関する数値目標」に基づき設定

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	・国民健康保険加入時から後発医薬品に対する理解向上のための広報活動
広域連合	・効果的な差額通知送付対象者抽出条件の検討 ・市町村ごとの後発医薬品の切替率のデータ分析による地域の特性の把握 ・県による医療費適正化施策との連携及び市町村への紹介

【実施に当たっての留意点】

国が示す第四期医療費適正化計画の目標は、今後示される新たな政府目標を踏まえ、設定することとなっている。当広域連合においても国が示す目標を注視しながら事業を実施していく必要があります。

10) 市町村支援事業（継続）

【事業目的】

市町村が行っている保健事業を補助金の交付により支援し、実効性のある保健事業の拡充を図る。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：当広域連合からの補助金を活用して取り組んだ事業数（全市町村合計）

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	62	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる

○アウトカム評価：健康診査事業に補助金を活用し、かつ受診率が上がった市町村数（全市町村合計）

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	7	8	9	10	11	12

○アウトカム評価：補助金の活用により増加したハイリスクアプローチ事業の数（全市町村合計）

計画値	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる

【構成市町村と当広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的実施で扱う事業を含む、補助金を活用した保健事業の検討 ・既存の保健事業についての課題の抽出および見直し ・庁内の関連部署間での補助金制度の情報共有
広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が実施する保健事業への支援・助言等 ・各補助金の補助対象について、市町村への教示および周知 ・補助金全体に対して、市町村からの要望の調査および把握

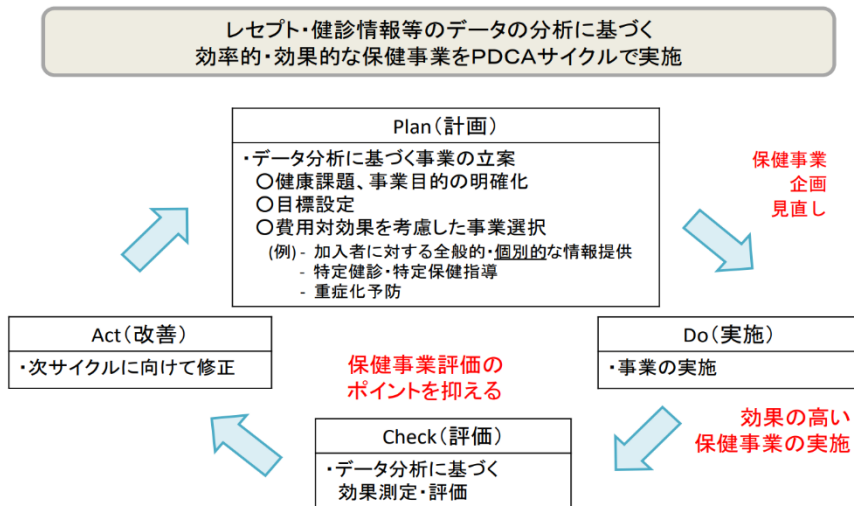
【実施に当たっての留意点】

市町村が積極的に補助金を活用して事業を展開出来るよう、市町村に対して各補助金の詳細説明および補助対象を明確に周知する。

第6章 その他

(1) 計画の評価・見直し

本計画の目的及び目標の達成状況については、設定した評価指標に基づき、毎年度評価及び進捗確認を行い、必要に応じて事業の実施内容、方法等の見直しを行います。また、計画期間の途中で事業実績に基づく中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。次期計画の策定を円滑に行うため、本計画の最終年度においては、その上半期に仮評価を行います。



* 出典：「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版」（厚労省）より

(2) 計画の公表・周知

本計画は、当広域連合のホームページに掲載し、被保険者への周知に努めます。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めます。

(3) 個人情報の取扱い

本計画の実施に当たり、当広域連合における個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法及び神奈川県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例(平成19年3月条例第16号)に基づき、適正に管理します。

(4) 地域包括ケアに関する取組

要介護認定率等の地域差、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携した事業への取り組みに努めます。

【資料】

(資料 - 1) 市区町村別の被保険者数の推移明細 (平成30年度～令和4年度)

(単位:人)

市町村名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度における 平成30年度からの増加率
横浜市鶴見区	28,196	28,829	29,113	29,855	31,304	11.0%
横浜市神奈川区	25,476	25,837	25,999	26,440	27,643	8.5%
横浜市西区	9,849	9,966	9,899	10,064	10,508	6.7%
横浜市中区	14,901	15,167	15,169	15,542	16,294	9.3%
横浜市南区	25,619	25,968	25,835	26,325	27,357	6.8%
横浜市保土ヶ谷区	27,354	27,853	27,965	28,275	29,363	7.3%
横浜市磯子区	22,999	23,450	23,647	24,192	25,262	9.8%
横浜市金沢区	28,667	29,502	29,944	30,838	32,458	13.2%
横浜市港北区	33,794	34,732	35,029	35,855	37,486	10.9%
横浜市戸塚区	35,221	36,443	36,917	38,103	40,038	13.7%
横浜市港南区	31,407	32,243	32,667	33,592	35,078	11.7%
横浜市旭区	37,626	38,358	38,595	39,271	40,749	8.3%
横浜市緑区	20,924	21,679	22,095	22,745	23,897	14.2%
横浜市瀬谷区	17,637	18,035	18,126	18,365	19,098	8.3%
横浜市栄区	19,500	20,200	20,623	21,321	22,371	14.7%
横浜市泉区	21,634	22,314	22,648	23,222	24,346	12.5%
横浜市青葉区	31,168	32,465	33,180	34,477	36,595	17.4%
横浜市都筑区	17,321	18,086	18,538	19,251	20,407	17.8%
川崎市川崎区	22,991	23,266	23,225	23,601	24,450	6.3%
川崎市幸区	17,271	17,612	17,629	18,051	18,821	9.0%
川崎市中区	18,910	19,229	19,318	19,774	20,516	8.5%
川崎市高津区	19,119	19,851	20,198	20,789	21,950	14.8%
川崎市多摩区	20,105	20,604	20,809	21,349	22,146	10.2%
川崎市宮前区	22,005	22,777	23,279	24,092	25,396	15.4%
川崎市麻生区	20,262	20,964	21,328	22,010	23,175	14.4%
相模原市緑区	20,523	21,504	22,114	23,106	24,764	20.7%
相模原市中央区	30,698	32,035	32,794	34,006	35,962	17.1%
相模原市南区	34,938	36,257	36,712	37,800	39,426	12.8%
横須賀市	64,859	66,443	66,662	68,168	71,057	9.6%
平塚市	34,254	35,400	35,886	37,065	38,999	13.9%
鎌倉市	30,175	30,670	30,784	31,326	32,255	6.9%
藤沢市	52,672	54,178	55,216	57,064	59,762	13.5%
小田原市	27,937	28,511	28,556	29,316	30,628	9.6%
茅ヶ崎市	32,123	33,119	33,627	34,777	36,611	14.0%
逗子市	10,512	10,680	10,658	10,830	11,165	6.2%
三浦市	8,488	8,670	8,606	8,742	9,149	7.8%
秦野市	21,426	22,426	23,041	24,117	25,646	19.7%
厚木市	25,252	26,459	27,163	28,416	30,355	20.2%
大和市	27,105	28,210	28,678	29,667	31,223	15.2%
伊勢原市	12,481	12,953	13,191	13,709	14,358	15.0%
海老名市	15,150	15,917	16,345	17,054	18,230	20.3%
座間市	15,503	16,168	16,438	17,039	18,003	16.1%
南足柄市	6,802	7,025	7,120	7,318	7,685	13.0%
綾瀬市	10,900	11,429	11,738	12,227	12,838	17.8%
葉山町	5,559	5,669	5,744	5,920	6,155	10.7%
寒川町	5,973	6,224	6,370	6,643	6,970	16.7%
大磯町	5,543	5,657	5,791	5,961	6,273	13.2%
二宮町	5,160	5,310	5,415	5,530	5,764	11.7%
中井町	1,424	1,487	1,509	1,600	1,694	19.0%
大井町	2,254	2,340	2,409	2,511	2,672	18.5%
松田町	1,897	1,903	1,912	1,967	2,047	7.9%
山北町	1,963	1,982	1,985	2,024	2,112	7.6%
開成町	2,169	2,263	2,342	2,429	2,556	17.8%
箱根町	2,065	2,071	2,100	2,137	2,221	7.6%
真鶴町	1,525	1,576	1,584	1,604	1,665	9.2%
湯河原町	5,055	5,159	5,217	5,290	5,503	8.9%
愛川町	5,127	5,309	5,425	5,669	6,079	18.6%
清川村	455	461	465	475	504	10.8%
(県全体)	1,117,923	1,150,895	1,165,372	1,198,906	1,257,039	12.4%

* 当広域連合にて管理している最新被保険者基本データ (令和5年5月現在) より集計

* 平成30～令和4年度の各年度末 (翌年3月31日) 時点での被保険者資格保有者のみを計上

(資料 - 2) 市区町村別の年齢階層別被保険者数明細 (令和4年度)

(単位:人)

市町村名	男性								女性								合計
	75歳未満	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	(小計)	75歳未満	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	(小計)	
横浜市鶴見区	61	5,740	3,778	2,086	772	159	19	12,615	44	6,657	5,323	3,895	2,060	597	113	18,689	31,304
横浜市神奈川区	65	4,654	3,308	1,896	794	171	20	10,908	60	5,604	4,767	3,548	2,028	612	116	16,735	27,643
横浜市西区	39	1,714	1,159	730	308	81	2	4,033	28	2,183	1,746	1,403	793	284	38	6,475	10,508
横浜市中区	35	2,899	1,797	1,073	495	89	8	6,396	23	3,428	2,597	2,119	1,262	403	66	9,898	16,294
横浜市南区	59	4,556	3,202	2,030	805	146	15	10,813	55	5,486	4,823	3,605	1,903	573	99	16,544	27,357
横浜市保土ヶ谷区	53	4,644	3,574	2,279	888	180	20	11,638	63	5,836	5,308	3,880	1,949	589	100	17,725	29,363
横浜市磯子区	55	4,234	3,078	1,855	734	142	18	10,116	45	5,302	4,369	3,174	1,698	493	65	15,146	25,262
横浜市金沢区	87	5,688	4,192	2,542	893	199	17	13,618	63	6,758	5,471	3,840	1,947	636	125	18,840	32,458
横浜市港北区	95	6,305	4,505	2,718	1,105	258	17	15,003	72	7,751	6,392	4,684	2,612	844	128	22,483	37,486
横浜市戸塚区	88	6,691	5,264	3,225	1,108	203	19	16,598	84	8,282	7,157	4,799	2,300	704	114	23,440	40,038
横浜市港南区	64	5,586	4,590	2,884	1,032	172	17	14,345	69	7,358	6,208	4,435	2,011	567	85	20,733	35,078
横浜市旭区	104	6,435	5,332	3,280	1,224	211	20	16,606	92	8,061	7,261	5,227	2,576	798	128	24,143	40,749
横浜市緑区	36	4,045	3,200	1,918	672	100	8	9,979	30	5,045	4,187	2,890	1,307	396	63	13,918	23,897
横浜市瀬谷区	50	2,989	2,547	1,561	532	113	7	7,799	42	3,829	3,463	2,318	1,238	349	60	11,299	19,098
横浜市栄区	38	3,636	3,206	1,986	617	105	9	9,597	39	4,854	4,000	2,300	1,135	394	52	12,774	22,371
横浜市泉区	49	4,150	3,274	1,997	659	120	9	10,258	50	4,993	4,299	2,936	1,359	372	79	14,088	24,346
横浜市青葉区	32	6,627	4,722	2,775	1,067	219	13	15,455	33	7,778	5,983	4,127	2,248	831	140	21,140	36,595
横浜市都筑区	37	3,435	2,713	1,525	544	120	10	8,384	30	4,235	3,640	2,421	1,251	394	52	12,023	20,407
川崎市川崎区	23	4,331	2,890	1,684	621	117	7	9,673	16	4,895	4,162	3,249	1,782	577	96	14,777	24,450
川崎市幸区	25	3,223	2,327	1,250	493	110	16	7,444	21	3,929	3,263	2,341	1,354	404	65	11,377	18,821
川崎市中原区	12	3,503	2,425	1,410	585	149	14	8,098	13	4,115	3,465	2,695	1,574	460	96	12,418	20,516
川崎市高津区	27	3,915	2,672	1,512	539	123	7	8,795	24	4,706	3,835	2,675	1,408	427	80	13,155	21,950
川崎市多摩区	18	3,718	2,731	1,664	708	126	11	8,976	17	4,451	3,867	2,848	1,451	462	74	13,170	22,146
川崎市宮前区	18	4,376	3,364	1,922	673	121	12	10,486	24	5,513	4,505	2,989	1,412	407	60	14,910	25,396
川崎市麻生区	14	3,911	2,969	1,846	756	159	16	9,671	13	4,765	3,853	2,800	1,529	462	82	13,504	23,175
相模原市緑区	33	5,051	3,695	1,620	535	110	4	11,048	33	5,685	4,034	2,303	1,205	381	75	13,716	24,764
相模原市中央区	53	6,511	5,155	2,626	767	130	15	15,257	52	8,171	6,435	3,666	1,791	505	85	20,705	35,962
相模原市南区	38	6,385	5,374	3,197	1,094	184	12	16,284	41	8,363	7,175	4,634	2,147	672	110	23,142	39,426
横須賀市	272	11,971	9,447	5,384	1,845	361	31	29,311	221	14,889	12,237	8,450	4,340	1,363	246	41,746	71,057
平塚市	90	7,093	5,220	2,802	919	231	19	16,374	93	8,202	6,747	4,388	2,294	770	131	22,625	38,999
鎌倉市	44	4,807	3,897	2,643	1,099	247	21	12,758	43	6,355	5,576	4,128	2,478	764	153	19,497	32,255
藤沢市	84	10,117	7,665	4,563	1,619	326	29	24,403	70	12,524	10,255	7,288	3,785	1,228	209	35,359	59,762
小田原市	56	5,368	3,728	2,213	837	165	17	12,384	47	6,298	5,350	3,772	1,976	699	102	18,244	30,628
茅ヶ崎市	50	6,131	4,827	2,857	1,004	217	12	15,098	35	7,715	6,372	4,331	2,236	693	131	21,513	36,611
逗子市	12	1,618	1,359	883	386	83	12	4,353	14	2,222	1,963	1,468	839	261	45	6,812	11,165
三浦市	72	1,562	1,111	659	250	44	4	3,702	41	1,854	1,575	1,113	637	192	35	5,447	9,149
秦野市	104	5,118	3,606	1,674	598	102	9	11,211	107	5,690	4,132	2,562	1,381	476	87	14,435	25,646
厚木市	57	6,051	4,333	2,080	653	114	11	13,299	54	6,869	5,203	2,971	1,440	441	78	17,056	30,355
大和市	26	5,361	4,365	2,330	673	161	10	12,926	14	6,978	5,718	3,422	1,580	491	94	18,297	31,223
伊勢原市	26	2,629	2,013	1,080	358	62	8	6,176	26	3,088	2,475	1,544	733	277	39	8,182	14,358
海老名市	34	3,392	2,620	1,404	375	74	2	7,901	34	4,015	3,222	1,848	894	274	42	10,329	18,230
座間市	18	3,217	2,510	1,340	363	60	9	7,517	22	3,995	3,353	1,933	875	276	32	10,486	18,003
南足柄市	4	1,326	1,059	572	198	38	7	3,204	4	1,618	1,358	877	456	145	23	4,481	7,685
綾瀬市	14	2,396	2,017	915	237	31	3	5,613	10	2,987	2,260	1,252	511	170	35	7,225	12,838
葉山町	6	980	773	491	205	36	4	2,495	3	1,294	1,067	732	368	159	37	3,660	6,155
寒川町	9	1,343	1,018	519	133	25	3	3,050	9	1,574	1,223	688	315	102	9	3,920	6,970
大磯町	4	1,116	922	450	159	33	2	2,686	9	1,331	1,011	712	369	128	27	3,587	6,273
二宮町	11	998	770	454	185	35	0	2,453	7	1,166	961	667	370	119	21	3,311	5,764
中井町	0	361	231	100	53	9	0	754	2	392	266	160	76	38	6	940	1,694
大井町	1	526	351	174	67	13	1	1,133	1	582	477	290	126	54	9	1,539	2,672
松田町	0	331	254	150	54	16	1	806	1	416	344	278	150	43	9	1,241	2,047
山北町	2	385	241	164	65	14	2	873	1	395	347	273	153	62	8	1,239	2,112
開成町	4	406	363	203	65	11	3	1,055	1	543	439	290	165	51	12	1,501	2,556
箱根町	10	396	281	135	46	6	2	876	2	483	384	271	128	66	11	1,345	2,221
真鶴町	4	274	209	109	36	13	0	645	1	365	282	216	108	40	8	1,020	1,665
湯河原町	8	884	677	384	132	32	1	2,118	3	1,184	1,017	699	348	121	13	3,385	5,503
蓼川町	3	1,241	880	413	135	23	1	2,696	2	1,364	1,064	565	282	91	15	3,383	6,079
清川村	0	112	59	32	14	5	0	222	0	105	79	61	24	12	1	282	504
(県全体)	2,333	216,462	163,849	94,268	33,783	6,704	586	517,985	2,053	264,526	218,345	149,050	76,767	24,199	4,114	739,054	1,257,039

* 当広域連合にて管理している最新被保険者基本データ (令和5年5月現在) より集計

* 平成30～令和4年度の各年度末 (翌年3月31日) 時点での被保険者資格保有者のみを計上

(資料-3) 市区町村別の要介護認定者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(単位:人)

市町村名	(12カ月の延べ人数)			(1カ月あたりの平均人数)			令和4年度における 平成30年度からの増加率
	平成30年度	令和2年度	令和4年度	平成30年度	令和2年度	令和4年度	
横浜市鶴見区	116,684	122,112	127,012	9,724	10,176	10,584	8.9%
横浜市神奈川区	104,263	108,480	112,657	8,689	9,040	9,388	8.1%
横浜市西区	41,577	42,292	42,839	3,465	3,524	3,570	3.0%
横浜市中区	70,835	74,431	75,637	5,903	6,203	6,303	6.8%
横浜市南区	107,952	111,252	116,198	8,996	9,271	9,683	7.6%
横浜市保土ヶ谷区	106,400	113,483	117,097	8,867	9,457	9,758	10.1%
横浜市磯子区	86,705	90,984	95,081	7,225	7,582	7,923	9.7%
横浜市金沢区	103,452	109,296	116,457	8,621	9,108	9,705	12.6%
横浜市港北区	131,170	138,547	145,844	10,931	11,546	12,154	11.2%
横浜市戸塚区	124,104	137,153	147,385	10,342	11,429	12,282	18.8%
横浜市港南区	108,972	119,583	129,517	9,081	9,965	10,793	18.9%
横浜市旭区	141,160	151,700	158,375	11,763	12,642	13,198	12.2%
横浜市緑区	73,265	78,958	85,923	6,105	6,580	7,160	17.3%
横浜市瀬谷区	69,838	75,986	79,996	5,820	6,332	6,666	14.5%
横浜市栄区	62,787	68,333	75,634	5,232	5,694	6,303	20.5%
横浜市泉区	77,875	85,501	92,154	6,490	7,125	7,680	18.3%
横浜市青葉区	115,833	123,816	134,541	9,653	10,318	11,212	16.2%
横浜市都筑区	66,345	73,122	79,436	5,529	6,094	6,620	19.7%
川崎市川崎区	108,071	113,209	115,899	9,006	9,434	9,658	7.2%
川崎市幸区	71,200	74,963	79,166	5,933	6,247	6,597	11.2%
川崎市中原区	74,791	78,949	82,662	6,233	6,579	6,889	10.5%
川崎市高津区	78,344	87,175	92,905	6,529	7,265	7,742	18.6%
川崎市多摩区	79,348	85,252	90,538	6,612	7,104	7,545	14.1%
川崎市宮前区	83,263	90,705	99,965	6,939	7,559	8,330	20.1%
川崎市麻生区	76,786	83,024	89,271	6,399	6,919	7,439	16.3%
相模原市	314,353	340,615	368,612	26,196	28,385	30,718	17.3%
横須賀市	233,282	244,854	256,663	19,440	20,405	21,389	10.0%
平塚市	115,412	123,346	131,952	9,618	10,279	10,996	14.3%
鎌倉市	116,088	121,708	127,391	9,674	10,142	10,616	9.7%
藤沢市	197,848	213,050	227,619	16,487	17,754	18,968	15.0%
小田原市	98,358	104,001	110,530	8,197	8,667	9,211	12.4%
茅ヶ崎市	103,839	115,151	125,110	8,653	9,596	10,426	20.5%
逗子市	42,129	44,173	46,943	3,511	3,681	3,912	11.4%
三浦市	31,987	34,007	36,374	2,666	2,834	3,031	13.7%
秦野市	66,921	71,503	77,054	5,577	5,959	6,421	15.1%
厚木市	78,604	85,353	94,633	6,550	7,113	7,886	20.4%
大和市	99,134	105,298	113,221	8,261	8,775	9,435	14.2%
伊勢原市	41,316	44,181	46,770	3,443	3,682	3,898	13.2%
海老名市	46,825	53,093	59,238	3,902	4,424	4,937	26.5%
座間市	51,192	56,420	62,535	4,266	4,702	5,211	22.2%
南足柄市	20,661	23,085	24,941	1,722	1,924	2,078	20.7%
綾瀬市	31,615	36,898	41,047	2,635	3,075	3,421	29.8%
葉山町	18,532	19,689	21,312	1,544	1,641	1,776	15.0%
寒川町	18,685	20,340	22,773	1,557	1,695	1,898	21.9%
大磯町	18,646	19,527	20,519	1,554	1,627	1,710	10.0%
二宮町	16,040	17,619	19,255	1,337	1,468	1,605	20.0%
中井町	4,871	4,801	5,219	406	400	435	7.1%
大井町	6,685	6,774	7,393	557	565	616	10.6%
松田町	6,132	6,169	6,580	511	514	548	7.3%
山北町	7,503	7,569	8,194	625	631	683	9.2%
開成町	6,605	7,673	8,267	550	639	689	25.2%
箱根町	7,198	7,366	7,995	600	614	666	11.1%
真鶴町	5,173	5,414	5,708	431	451	476	10.3%
湯河原町	16,750	17,591	18,330	1,396	1,466	1,528	9.4%
愛川町	16,142	17,350	19,209	1,345	1,446	1,601	19.0%
清川村	1,532	1,556	1,620	128	130	135	5.7%
(県全体)	4,004,394	4,292,368	4,578,184	333,700	357,697	381,515	14.2%

* KDB健康スコアリング(介護)より集計

(資料-4) 市区町村別の75歳以上人口の推移予測明細 (令和7年度・令和12年度・令和17年度)

市町村名	推定人口 (人)			増加率 (%)	
	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和7年度 ↓ 令和12年度	令和12年度 ↓ 令和17年度
横浜市鶴見区	35,841	37,626	37,389	5.0	-0.6
横浜市神奈川区	33,965	36,009	36,361	6.0	1.0
横浜市西区	10,992	11,043	10,984	0.5	-0.5
横浜市中区	20,552	20,966	20,922	2.0	-0.2
横浜市南区	29,394	29,268	28,083	-0.4	-4.0
横浜市保土ヶ谷区	34,612	35,413	35,078	2.3	-0.9
横浜市磯子区	28,683	29,490	28,793	2.8	-2.4
横浜市金沢区	36,573	38,435	37,322	5.1	-2.9
横浜市港北区	44,919	48,041	49,589	7.0	3.2
横浜市戸塚区	45,699	47,528	46,359	4.0	-2.5
横浜市港南区	37,959	38,301	36,757	0.9	-4.0
横浜市旭区	47,434	48,180	46,828	1.6	-2.8
横浜市緑区	31,303	33,671	34,689	7.6	3.0
横浜市瀬谷区	23,109	23,411	22,604	1.3	-3.4
横浜市栄区	25,041	24,726	22,861	-1.3	-7.5
横浜市泉区	30,483	31,835	31,447	4.4	-1.2
横浜市青葉区	46,493	51,356	54,873	10.5	6.8
横浜市都筑区	25,637	28,398	30,716	10.8	8.2
川崎市川崎区	29,754	30,399	29,552	2.2	-2.8
川崎市幸区	23,562	24,754	24,642	5.1	-0.5
川崎市中原区	22,963	24,030	24,803	4.6	3.2
川崎市高津区	28,277	30,767	31,738	8.8	3.2
川崎市多摩区	29,110	31,748	33,083	9.1	4.2
川崎市宮前区	34,685	38,045	39,883	9.7	4.8
川崎市麻生区	28,761	30,826	32,018	7.2	3.9
相模原市	120,634	128,397	127,438	6.4	-0.7
横須賀市	75,435	74,744	69,474	-0.9	-7.1
平塚市	45,736	48,443	47,675	5.9	-1.6
鎌倉市	34,512	33,886	32,161	-1.8	-5.1
藤沢市	69,013	72,496	72,461	5.0	-0.0
小田原市	34,309	35,303	34,309	2.9	-2.8
茅ヶ崎市	40,350	41,700	41,013	3.3	-1.6
逗子市	11,502	11,112	10,510	-3.4	-5.4
三浦市	9,946	10,140	9,292	2.0	-8.4
秦野市	29,876	32,195	31,041	7.8	-3.6
厚木市	35,204	37,754	36,638	7.2	-3.0
大和市	35,353	36,210	35,355	2.4	-2.4
伊勢原市	17,321	18,465	18,189	6.6	-1.5
海老名市	20,991	22,203	21,452	5.8	-3.4
座間市	20,048	20,758	20,171	3.5	-2.8
南足柄市	8,369	8,559	8,092	2.3	-5.5
綾瀬市	14,540	14,666	13,449	0.9	-8.3
葉山町	6,798	6,723	6,355	-1.1	-5.5
寒川町	8,006	8,553	8,186	6.8	-4.3
大磯町	6,589	6,692	6,322	1.6	-5.5
二宮町	6,030	5,937	5,624	-1.5	-5.3
中井町	2,082	2,242	2,161	7.7	-3.6
大井町	2,902	2,992	2,788	3.1	-6.8
松田町	2,111	2,146	2,004	1.7	-6.6
山北町	2,168	2,248	2,152	3.7	-4.3
開成町	3,111	3,321	3,332	6.8	0.3
箱根町	2,297	2,178	1,931	-5.2	-11.3
真鶴町	1,624	1,592	1,479	-2.0	-7.1
湯河原町	6,383	6,328	5,894	-0.9	-6.9
愛川町	7,067	7,693	7,411	8.9	-3.7
清川村	652	705	656	8.1	-7.0
(県全体)	1,466,760	1,530,647	1,512,389	4.4	-1.2

* 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』のデータをもとに作成

* 相模原市は行政区別の健康スコアリングデータ(介護) データがないため、市全体のみとなっている

(資料-5) 市区町村別の平均余命・平均自立期間明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(単位:年)

市区町村名	平成30年度				令和2年度				令和4年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間
横浜市鶴見区	80.7	78.7	86.7	82.6	80.2	78.4	87.1	83.2	82.0	80.0	87.9	83.7
横浜市神奈川区	81.9	80.0	87.3	83.3	81.3	79.5	87.4	83.5	82.6	80.6	88.8	84.6
横浜市西区	80.7	79.0	86.9	83.2	80.7	79.0	86.7	83.2	81.3	79.5	87.0	83.5
横浜市中区	78.4	76.5	86.9	82.9	78.3	76.4	86.9	82.9	79.9	77.6	87.0	83.0
横浜市南区	79.7	77.9	86.7	82.7	81.0	79.0	86.7	83.0	81.1	79.1	87.1	83.5
横浜市保土ヶ谷区	80.9	79.0	86.7	82.9	82.3	80.2	87.3	83.4	81.9	79.8	88.1	84.1
横浜市磯子区	81.5	79.8	87.3	83.7	81.3	79.7	87.2	83.7	82.7	80.9	88.1	84.4
横浜市金沢区	82.1	80.4	87.5	84.0	82.8	81.2	87.5	84.3	83.1	81.4	88.4	84.8
横浜市港北区	82.6	80.6	88.2	84.3	83.2	81.4	88.6	84.6	83.2	81.2	88.6	84.7
横浜市戸塚区	82.4	80.6	87.1	83.5	82.1	80.4	88.0	84.2	83.3	81.6	89.0	85.2
横浜市港南区	82.0	80.0	87.7	83.7	83.1	81.1	89.1	84.8	82.5	80.6	88.8	84.8
横浜市旭区	81.6	79.8	87.7	83.6	82.6	80.7	87.2	83.3	82.0	80.1	88.5	84.6
横浜市緑区	83.1	81.1	86.9	82.9	82.9	81.1	86.7	83.3	83.2	81.4	88.1	84.4
横浜市瀬谷区	81.1	79.3	86.4	82.8	81.0	79.3	86.9	83.1	81.3	79.4	87.5	83.6
横浜市栄区	82.3	80.8	88.0	84.5	82.5	81.0	88.0	84.5	83.1	81.7	88.2	84.8
横浜市泉区	82.5	80.7	87.0	83.4	82.1	80.1	87.4	83.7	82.8	81.0	88.5	84.4
横浜市青葉区	83.9	82.0	88.3	84.6	84.9	83.0	88.4	84.8	84.1	82.4	89.5	85.8
横浜市都筑区	82.7	80.8	87.6	84.0	82.2	80.5	88.5	84.4	84.4	82.4	88.8	84.8
川崎市川崎区	79.3	77.5	86.2	82.6	79.3	77.4	86.8	83.1	79.0	77.2	87.4	83.5
川崎市幸区	80.4	78.7	87.5	83.5	81.2	79.5	87.6	84.2	80.7	79.1	88.2	84.8
川崎市中原区	82.6	81.1	88.1	84.9	81.8	80.2	87.3	84.1	82.2	80.5	87.9	84.5
川崎市高津区	82.0	80.3	87.2	83.7	81.8	80.2	87.8	84.3	82.4	80.5	89.8	85.6
川崎市多摩区	82.4	80.7	88.0	84.6	82.9	81.2	87.7	84.2	81.7	80.2	88.7	85.2
川崎市宮前区	82.2	80.5	87.5	83.9	83.4	81.4	87.9	84.1	83.0	81.0	88.9	85.0
川崎市麻生区	83.3	81.6	88.0	84.6	82.9	81.2	88.9	85.3	84.1	82.2	89.2	85.5
■ 相模原市	81.8	79.8	87.5	83.4	81.3	79.4	87.4	83.6	81.7	79.9	87.5	84.0
横須賀市	81.2	79.6	87.6	84.2	81.2	79.7	86.9	83.7	81.5	79.9	87.1	84.0
平塚市	81.5	79.9	86.4	83.3	81.3	79.7	86.6	83.3	81.5	80.0	87.8	84.4
鎌倉市	82.8	81.0	88.4	84.7	83.6	81.8	89.0	85.2	83.9	82.2	89.0	85.4
藤沢市	82.2	81.0	88.4	85.4	83.1	81.8	88.4	85.5	83.1	81.8	88.4	85.6
小田原市	80.1	78.8	87.5	84.5	81.2	79.9	87.1	84.3	80.7	79.5	86.4	83.8
茅ヶ崎市	82.5	81.2	87.7	84.9	82.7	81.4	87.9	85.1	82.7	81.3	89.3	86.1
逗子市	82.4	80.6	88.1	84.1	82.8	81.0	88.1	84.3	84.3	82.3	88.6	84.8
● 三浦市	81.5	79.9	87.7	84.2	81.9	80.3	87.4	84.0	80.0	78.5	87.0	83.6
秦野市	81.2	79.5	87.7	83.9	82.0	80.2	87.2	83.6	82.3	80.6	87.9	84.1
厚木市	81.5	79.9	85.8	82.6	81.5	79.9	86.8	83.5	81.8	80.2	86.8	83.5
大和市	81.2	79.5	87.2	83.6	81.7	80.0	87.3	83.8	82.4	80.6	88.3	84.4
伊勢原市	81.6	80.0	87.4	83.9	81.8	80.3	87.9	84.4	82.1	80.5	88.0	84.5
海老名市	82.0	80.7	87.1	84.4	81.5	80.3	87.3	84.6	82.5	81.1	89.0	85.7
座間市	80.0	78.4	87.2	83.5	81.6	79.8	87.1	83.7	82.0	80.3	87.6	84.1
● 南足柄市	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	82.0	80.5	87.7	84.6
綾瀬市	80.1	78.7	86.4	83.0	81.0	79.6	86.3	83.1	81.6	80.0	87.0	83.7
● 葉山町	81.5	79.9	87.7	84.2	81.9	80.3	87.4	84.0	82.7	81.3	86.4	83.6
寒川町	81.0	79.5	86.4	83.4	81.7	80.2	86.5	83.5	81.7	80.2	87.0	84.0
● 大磯町	81.6	80.0	87.2	83.7	81.7	80.1	87.0	83.6	82.4	81.0	87.5	84.5
● 二宮町	81.6	80.0	87.2	83.7	81.7	80.1	87.0	83.6	82.7	81.2	88.3	85.2
● 中井町	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	83.4	81.6	86.9	83.5
● 大井町	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	82.3	80.7	87.4	84.4
● 松田町	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	80.2	78.7	89.0	85.6
● 山北町	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	81.2	79.6	83.5	80.7
● 開成町	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	81.4	79.8	89.3	85.4
● 箱根町	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	78.2	77.1	87.3	84.4
● 真鶴町	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	79.7	78.6	87.7	84.7
● 湯河原町	80.2	78.9	86.7	83.8	80.9	79.5	87.2	84.2	81.0	79.7	85.9	83.4
● 菱川町	81.2	79.6	86.6	83.3	81.4	79.8	86.9	83.7	79.8	78.4	86.9	83.2
● 清川村	81.2	79.6	86.6	83.3	81.4	79.8	86.9	83.7	77.6	75.9	86.1	82.9
(県平均)	81.6	79.9	87.3	83.8	81.9	80.2	87.5	84.0	82.2	80.5	88.1	84.5
(全国平均)	81.0	79.5	87.1	83.8	81.3	79.8	87.3	84.0	81.7	80.1	87.8	84.4

* KDB健康スコアリング(介護)より集計

* ■印の相模原市は行政区単位の数値が無いため市全体で記載

* ●印の市町村は令和2年度以前の保険者単独の数値が無いため二次医療圏の数値で記載

(資料-6) 市区町村別の要介護期間明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

市区町村名	要介護期間(年)						平成30年度→令和4年度 増減年数(年)	
	平成30年度		令和2年度		令和4年度		男性	女性
	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
横浜市鶴見区	2.0	4.1	1.8	3.9	2.0	4.2	0.0	0.1
横浜市神奈川区	1.9	4.0	1.8	3.9	2.0	4.2	0.1	0.2
横浜市西区	1.7	3.7	1.7	3.5	1.8	3.5	0.1	-0.2
横浜市中区	1.9	4.0	1.9	4.0	2.3	4.0	0.4	0.0
横浜市南区	1.8	4.0	2.0	3.7	2.0	3.6	0.2	-0.4
横浜市保土ヶ谷区	1.9	3.8	2.1	3.9	2.1	4.0	0.2	0.2
横浜市磯子区	1.7	3.6	1.6	3.5	1.8	3.7	0.1	0.1
横浜市金沢区	1.7	3.5	1.6	3.2	1.7	3.6	0.0	0.1
横浜市港北区	2.0	3.9	1.8	4.0	2.0	3.9	0.0	-0.0
横浜市戸塚区	1.8	3.6	1.7	3.8	1.7	3.8	-0.1	0.2
横浜市港南区	2.0	4.0	2.0	4.3	1.9	4.0	-0.1	0.0
横浜市旭区	1.8	4.1	1.9	3.9	1.9	3.9	0.1	-0.2
横浜市緑区	2.0	4.0	1.8	3.4	1.8	3.7	-0.2	-0.3
横浜市瀬谷区	1.8	3.6	1.7	3.8	1.9	3.9	0.1	0.3
横浜市栄区	1.5	3.5	1.5	3.5	1.4	3.4	-0.1	-0.1
横浜市泉区	1.8	3.6	2.0	3.7	1.8	4.1	0.0	0.5
横浜市青葉区	1.9	3.7	1.9	3.6	1.7	3.7	-0.2	0.0
横浜市都筑区	1.9	3.6	1.7	4.1	2.0	4.0	0.1	0.4
川崎市川崎区	1.8	3.6	1.9	3.7	1.8	3.9	0.0	0.3
川崎市幸区	1.7	4.0	1.7	3.4	1.6	3.4	-0.1	-0.6
川崎市中原区	1.5	3.2	1.6	3.2	1.7	3.4	0.2	0.2
川崎市高津区	1.7	3.5	1.6	3.5	1.9	4.2	0.2	0.7
川崎市多摩区	1.7	3.4	1.7	3.5	1.5	3.5	-0.2	0.1
川崎市宮前区	1.7	3.6	2.0	3.8	2.0	3.9	0.3	0.3
川崎市麻生区	1.7	3.4	1.7	3.6	1.9	3.7	0.2	0.3
■ 相模原市	2.0	4.1	1.9	3.8	1.8	3.5	-0.2	-0.6
横須賀市	1.6	3.4	1.5	3.2	1.6	3.1	-0.0	-0.3
平塚市	1.6	3.1	1.6	3.3	1.5	3.4	-0.1	0.3
鎌倉市	1.8	3.7	1.8	3.8	1.7	3.6	-0.1	-0.1
藤沢市	1.2	3.0	1.3	2.9	1.3	2.8	0.1	-0.2
小田原市	1.3	3.0	1.3	2.8	1.2	2.6	-0.1	-0.4
茅ヶ崎市	1.3	2.8	1.3	2.8	1.4	3.2	0.1	0.4
逗子市	1.8	4.0	1.8	3.8	2.0	3.8	0.2	-0.2
● 三浦市	0.7	3.5	1.6	3.4	1.5	3.3	0.8	-0.2
秦野市	1.7	3.8	1.8	3.6	1.7	3.8	0.0	0.0
厚木市	1.6	3.2	1.6	3.3	1.6	3.3	0.0	0.1
大和市	1.7	3.6	1.7	3.5	1.8	3.9	0.1	0.3
伊勢原市	1.6	3.5	1.5	3.5	1.6	3.5	0.0	0.0
海老名市	1.3	2.7	1.2	2.7	1.4	3.3	0.1	0.6
座間市	1.6	3.7	1.8	3.4	1.7	3.5	0.1	-0.2
● 南足柄市	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
綾瀬市	1.4	3.4	1.4	3.2	1.6	3.3	0.2	-0.1
● 葉山町	0.7	3.5	1.6	3.4	1.5	3.3	0.8	-0.2
寒川町	1.5	3.0	1.5	3.0	1.5	3.0	0.0	0.0
● 大磯町	1.7	3.5	1.6	3.4	1.6	3.4	-0.1	-0.1
● 二宮町	1.7	3.5	1.6	3.4	1.6	3.4	-0.1	-0.1
● 中井町	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
● 大井町	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
● 松田町	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
● 山北町	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
● 開成町	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
● 箱根町	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
● 真鶴町	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
● 湯河原町	1.4	2.9	1.4	3.0	1.3	3.0	-0.1	0.1
● 愛川町	1.6	3.3	1.6	3.2	1.6	3.3	0.0	0.0
● 清川村	1.6	3.3	1.6	3.2	1.6	3.3	0.0	0.0
(県平均)	1.7	3.5	1.7	3.5	1.7	3.6	0.0	0.1
(全国平均)	1.5	3.3	1.5	3.3	1.6	3.4	0.1	0.1

* KDB健康スコアリング(介護)より集計

* ■印の相模原市は行政区単位の数値が無いため市全体で記載

* ●印の市町村は令和2年度以前の保険者単独の数値が無いため二次医療圏の数値で記載

(資料-7) 75歳以上死亡者における主要死因別人数明細 (平成30年度・令和2年度)

(人数単位:人)

死因分類コード (中位分類)	死因分類名	平成30年度				令和2年度			
		男性	女性	(計)	順位	男性	女性	(計)	順位
01100	腸管感染症	56	55	111	35	40	66	106	35
01200	結核	58	56	114	34	59	49	108	33
01300	敗血症	208	248	456	20	207	228	435	21
01400	ウイルス性肝炎	44	57	101	36	31	48	79	38
01500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	2	0	2	47	0	0	0	
01600	その他の感染症及び寄生虫症	121	138	259	28	126	157	283	28
02100	悪性新生物<腫瘍>	8,416	6,160	14,576	1	8,987	6,378	15,365	1
02200	その他の新生物<腫瘍>	335	284	619	15	329	302	631	16
03100	貧血	36	61	97	37	51	57	108	33
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	34	43	77	39	39	41	80	37
04100	糖尿病	246	267	513	18	247	281	528	19
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	150	188	338	24	144	191	335	24
05100	血管性及び詳細不明の認知症	427	698	1,125	8	462	712	1,174	9
05200	その他の精神及び行動の障害	19	33	52	41	34	28	62	40
06100	髄膜炎	6	10	16	43	10	4	14	44
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	42	38	80	38	41	34	75	39
06300	パーキンソン病	327	277	604	16	389	307	696	14
06400	アルツハイマー病	354	625	979	12	376	716	1,092	11
06500	その他の神経系の疾患	349	287	636	14	321	344	665	15
07000	眼及び付属器の疾患	0	1	1	49	0	1	1	49
08000	耳及び乳様突起の疾患	0	0	0		0	1	1	49
09100	高血圧性疾患	92	174	266	27	114	206	320	25
09200	心疾患 (高血圧性を除く)	4,195	5,107	9,302	2	4,412	5,043	9,455	3
09300	脳血管疾患	2,011	2,509	4,520	5	2,055	2,359	4,414	4
09400	大動脈瘤及び解離	410	409	819	13	353	414	767	12
09500	その他の循環器系の疾患	108	204	312	25	120	189	309	26
10100	インフルエンザ	73	66	139	31	18	13	31	42
10200	肺炎	2,565	1,972	4,537	4	2,189	1,477	3,666	6
10300	急性気管支炎	4	11	15	44	3	7	10	46
10400	慢性閉塞性肺疾患	795	218	1,013	11	602	163	765	13
10500	喘息	25	42	67	40	13	22	35	41
10600	その他の呼吸器系の疾患	2,223	1,609	3,832	6	2,522	1,634	4,156	5
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	65	62	127	32	47	40	87	36
11200	ヘルニア及び腸閉塞	180	178	358	23	182	192	374	22
11300	肝疾患	316	246	562	17	303	246	549	18
11400	その他の消化器系の疾患	488	614	1,102	9	540	599	1,139	10
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	44	82	126	33	52	86	138	32
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	147	243	390	21	161	302	463	20
14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	71	120	191	30	80	116	196	30
14200	腎不全	530	553	1,083	10	633	577	1,210	8
14300	その他の腎尿路生殖系系の疾患	193	301	494	19	232	356	588	17
15000	妊娠、分娩及び産後	0	0	0		0	0	0	
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	0	0	0		0	0	0	
16200	出産外傷	0	0	0		0	0	0	
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	0	0	0		0	0	0	
16400	周産期に特異的な感染症	0	0	0		0	0	0	
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0	0	0		0	0	0	
16600	その他の周産期に発生した病態	0	0	0		0	0	0	
17100	神経系の先天奇形	0	0	0		0	1	1	49
17200	循環器系の先天奇形	10	13	23	42	5	21	26	43
17300	消化器系の先天奇形	0	2	2	47	0	2	2	48
17400	その他の先天奇形及び変形	2	8	10	45	3	8	11	45
17500	染色体異常,他に分類されないもの	1	0	1	49	0	0	0	
18100	老衰	2,010	5,555	7,565	3	2,752	6,792	9,544	2
18200	乳幼児突然死症候群	0	0	0		0	0	0	
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	127	153	280	26	140	164	304	27
20100	不慮の事故	1,050	993	2,043	7	996	943	1,939	7
20200	自殺	116	88	204	29	105	77	182	31
20300	他殺	2	6	8	46	2	2	4	47
20400	その他の外因	192	187	379	22	202	168	370	23
22100	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0	0		0	0	0	
22200	その他の特殊目的用コード	0	0	0		115	97	212	29

*「平成30年度神奈川県衛生統計年報」および「令和2年度神奈川県衛生統計年報」より集計

(資料-8) 死亡レセプトから見た75歳以上死亡者における主要死因別明細 (令和4年度)

(人数単位:人)

死因分類コード (中位分類)	死亡時の主病名に対応した死因簡単分類名	人数			順位		
		男性	女性	(計)	男性	女性	全体
02100	悪性新生物<腫瘍>	5699.3	4025.0	9724.3	1	2	1
09200	心疾患(高血圧性を除く)	3898.1	4550.6	8448.7	2	1	2
10600	その他の呼吸器系の疾患	3209.1	2075.3	5284.4	3	3	3
09300	脳血管疾患	1452.5	1860.5	3313.0	4	5	4
09100	高血圧性疾患	749.0	1861.5	2610.5	9	4	5
18100	老 衰	800.4	1749.5	2549.8	7	6	6
06400	アルツハイマー病	660.2	1434.6	2094.8	10	7	7
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	772.9	1032.5	1805.3	8	8	8
10200	肺 炎	1070.8	651.5	1722.3	5	13	9
18300	乳幼児突然死症候群	834.5	872.9	1707.4	6	9	10
11400	その他の消化器系の疾患	609.4	859.8	1469.2	12	10	11
20400	他 殺	614.0	596.7	1210.7	11	14	12
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	451.0	667.2	1118.2	15	12	13
05100	血管性及び詳細不明の認知症	413.1	683.2	1096.3	18	11	14
14200	腎不全	602.1	475.1	1077.2	13	17	15
22200	その他の特殊目的用コード	533.3	478.6	1011.9	14	15	16
06500	その他の神経系の疾患	428.3	477.1	905.4	17	16	17
04100	糖尿病	443.9	443.9	887.7	16	18	18
01300	敗血症	355.8	344.0	699.8	19	20	19
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	254.4	369.7	624.2	23	19	20
06300	パーキンソン病	273.6	288.3	561.9	22	22	21
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	275.8	278.4	554.3	21	23	22
05200	その他の精神及び行動の障害	221.7	316.4	538.1	24	21	23
10400	慢性閉塞性肺疾患	341.5	121.4	462.9	20	30	24
09400	大動脈瘤及び解離	169.2	192.5	361.7	27	24	25
01600	その他の感染症及び寄生虫症	180.0	178.3	358.3	25	26	26
02200	その他の新生物<腫瘍>	175.4	163.3	338.7	26	28	27
11300	肝疾患	166.5	165.5	332.0	28	27	28
09500	その他の循環器系の疾患	133.9	180.2	314.1	29	25	29
03100	貧血	90.4	126.7	217.1	32	29	30
11200	ヘルニア及び腸閉塞	105.8	109.1	215.0	30	31	31
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	90.7	81.0	171.7	31	34	32
07000	眼及び付属器の疾患	63.2	94.3	157.5	33	32	33
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	55.2	84.5	139.7	36	33	34
10500	喘息	47.2	76.9	124.1	37	35	35
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	60.7	57.0	117.7	34	36	36
	(不明)	57.7	45.6	103.3	35	37	37
01100	腸管感染症	32.0	32.2	64.1	40	39	38
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	33.8	27.1	60.9	38	40	39
01400	ウイルス性肝炎	24.1	33.9	58.0	41	38	40
01200	結 核	33.2	21.7	54.9	39	42	41
10300	急性気管支炎	14.0	22.2	36.2	42	41	42
08000	耳及び乳様突起の疾患	10.1	14.8	25.0	43	43	43
17400	その他の先天奇形及び変形	3.8	4.9	8.7	44	45	44
06100	髄膜炎	2.3	5.4	7.7	46	44	45
10100	インフルエンザ	2.9	3.6	6.4	45	47	46
17200	循環器系の先天奇形	1.3	3.7	5.1	49	46	47
20200	自 殺	2.0	1.0	3.0	47	49	48
01500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	1.8	0.2	2.1	48	50	49
17300	消化器系の先天奇形	0.1	1.5	1.6	50	48	50
22100	重症急性呼吸器症候群[SARS]		0.1	0.1		51	51
	総 計	26522	28241	54763			

* 令和4年度のレセプトより死亡レセプト(転帰区分が「死亡」のもの)を抽出し、そのレセプトの主病名から対応する死因簡単分類(中位)に変換して集計
* 主病名が複数存在した場合は主病名の数に応じて人数を按分して計上(主病名が存在しない場合も同様に記載病名の数に応じて人数を按分して計上)しているため、人数欄において小数点以下の記載あり

(資料－ 9) 市区町村別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(人数単位：人)

市区町村名	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
横浜市鶴見区	-	-	-	-	-	-	31,967	2,848	8.9%
横浜市神奈川区	-	-	-	-	-	-	28,430	3,321	11.7%
横浜市西区	-	-	-	-	-	-	10,909	1,516	13.9%
横浜市中区	-	-	-	-	-	-	16,934	1,398	8.3%
横浜市南区	-	-	-	-	-	-	28,276	2,165	7.7%
横浜市保土ヶ谷区	-	-	-	-	-	-	30,136	2,679	8.9%
横浜市磯子区	-	-	-	-	-	-	25,986	2,553	9.8%
横浜市金沢区	-	-	-	-	-	-	33,068	3,348	10.1%
横浜市港北区	-	-	-	-	-	-	38,294	3,526	9.2%
横浜市戸塚区	-	-	-	-	-	-	40,907	5,161	12.6%
横浜市港南区	-	-	-	-	-	-	35,843	4,498	12.5%
横浜市旭区	-	-	-	-	-	-	41,643	4,157	10.0%
横浜市緑区	-	-	-	-	-	-	24,445	2,067	8.5%
横浜市瀬谷区	-	-	-	-	-	-	19,618	2,327	11.9%
横浜市栄区	-	-	-	-	-	-	22,822	2,171	9.5%
横浜市泉区	-	-	-	-	-	-	24,844	3,531	14.2%
横浜市青葉区	-	-	-	-	-	-	37,213	3,846	10.3%
横浜市都筑区	-	-	-	-	-	-	21,014	2,106	10.0%
川崎市川崎区	23,129	6,371	27.5%	23,474	5,612	23.9%	24,919	5,818	23.3%
川崎市幸区	17,415	4,529	26.0%	17,857	4,221	23.6%	19,239	4,521	23.5%
川崎市中原区	19,060	5,119	26.9%	19,529	4,623	23.7%	20,954	5,097	24.3%
川崎市高津区	19,330	5,485	28.4%	20,453	5,111	25.0%	22,485	5,891	26.2%
川崎市多摩区	20,194	7,066	35.0%	20,972	6,540	31.2%	22,473	6,895	30.7%
川崎市宮前区	22,147	7,332	33.1%	23,526	7,076	30.1%	25,864	7,852	30.4%
川崎市麻生区	20,395	7,032	34.5%	21,503	6,249	29.1%	23,481	7,205	30.7%
相模原市緑区	19,938	4,515	22.6%	21,515	4,017	18.7%	24,425	5,197	21.3%
相模原市中央区	29,854	7,686	25.7%	31,902	7,146	22.4%	35,431	8,522	24.1%
相模原市南区	34,004	10,249	30.1%	35,748	9,439	26.4%	38,850	10,359	26.7%
横須賀市	-	-	-	-	-	-	71,829	15,312	21.3%
平塚市	34,470	11,913	34.6%	36,209	11,977	33.1%	39,463	13,059	33.1%
鎌倉市	-	-	-	-	-	-	32,833	9,351	28.5%
藤沢市	-	-	-	55,721	24,276	43.6%	60,525	26,642	44.0%
小田原市	28,071	7,490	26.7%	28,798	7,727	26.8%	30,991	7,919	25.6%
茅ヶ崎市	-	-	-	33,944	14,332	42.2%	37,144	15,054	40.5%
逗子市	10,565	2,672	25.3%	10,795	2,118	19.6%	11,389	2,599	22.8%
三浦市	8,586	1,573	18.3%	8,732	1,582	18.1%	9,372	1,697	18.1%
秦野市	-	-	-	23,216	7,871	33.9%	25,916	8,150	31.4%
厚木市	-	-	-	27,398	783	2.9%	30,698	10,309	33.6%
大和市	27,347	11,243	41.1%	29,020	11,793	40.6%	31,771	12,904	40.6%
伊勢原市	12,599	4,217	33.5%	13,364	4,763	35.6%	14,614	4,989	34.1%
海老名市	15,248	5,604	36.8%	16,541	5,739	34.7%	18,526	6,581	35.5%
座間市	15,588	5,288	33.9%	16,653	5,343	32.1%	18,334	5,875	32.0%
南足柄市	6,845	1,687	24.6%	7,181	1,874	26.1%	7,810	2,118	27.1%
綾瀬市	-	-	-	11,867	3,679	31.0%	13,073	4,887	37.4%
葉山町	5,586	1,460	26.1%	5,826	1,175	20.2%	6,278	1,606	25.6%
寒川町	6,019	2,018	33.5%	6,455	2,169	33.6%	7,093	2,232	31.5%
大磯町	5,567	791	14.2%	5,854	1,354	23.1%	6,386	1,577	24.7%
二宮町	5,106	2,092	41.0%	5,366	2,131	39.7%	5,754	2,114	36.7%
中井町	-	-	-	-	-	-	1,714	442	25.8%
大井町	-	-	-	-	-	-	2,707	652	24.1%
松田町	-	-	-	1,941	314	16.2%	2,078	424	20.4%
山北町	-	-	-	-	-	-	2,153	442	20.5%
開成町	-	-	-	2,271	273	12.0%	2,439	312	12.8%
箱根町	-	-	-	2,053	7	0.3%	2,207	734	33.3%
真鶴町	-	-	-	-	-	-	1,716	545	31.8%
湯河原町	-	-	-	5,261	1,176	22.4%	5,592	1,515	27.1%
愛川町	-	-	-	5,472	2,339	42.7%	6,155	2,497	40.6%
清川村	-	-	-	-	-	-	515	189	36.7%
(県全体)	407,063	123,432	30.3%	596,417	174,829	29.3%	1,277,545	283,302	22.2%
(全国)	16,540,843	3,793,031	22.9%	17,759,752	4,084,905	23.0%	18,934,749	4,693,781	24.8%

* KDB健康スコアリング(健診)と個別に提供のあったデータより集計

* 平成30年度および令和2年度の対象者数、受診者数、受診率が「-」の市区町村については、KDBへのデータ登録が無かったことを示す(受診者自体がいなかったためではないことに注意)

(資料-10) 年齢階層別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(人数単位：人)

年齢階層	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
100歳以上	1,402	186	13.3%	2,390	267	11.2%	6,395	301	4.7%
95歳～99歳	8,574	1,263	14.7%	14,419	2,078	14.4%	34,980	2,951	8.4%
90歳～94歳	31,091	6,306	20.3%	49,649	9,622	19.4%	116,608	15,950	13.7%
85歳～89歳	70,363	19,479	27.7%	111,727	30,815	27.6%	248,578	50,187	20.2%
80歳～84歳	118,892	40,320	33.9%	180,513	58,589	32.5%	385,064	98,531	25.6%
75歳～79歳	175,406	55,643	31.7%	239,833	73,149	30.5%	481,855	114,943	23.9%
70歳～74歳	830	152	18.3%	1,325	221	16.7%	2,809	321	11.4%
65歳～69歳	505	83	16.4%	589	88	14.9%	1,256	118	9.4%
(県全体)	407,063	407,063	30.3%	596,417	596,417	29.3%	1,277,545	283,302	22.2%

* KDB健康スコアリング(健診)と個別に提供のあったデータより集計

(資料-11) 市区町村別の健康診査結果6項目リスク保有者数明細 (令和4年度)

(単位:人)

市区町村名	肥満リスク		血圧リスク		脂質リスク		血糖リスク		肝機能リスク		痩身リスク	
	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数
横浜市鶴見区	2,846	665	2,848	1,137	2,848	583	2,848	375	2,848	114	2,846	253
横浜市神奈川区	3,314	772	3,319	1,159	3,321	732	3,321	537	3,321	137	3,314	330
横浜市西区	1,513	349	1,515	555	1,516	316	1,516	232	1,516	63	1,513	154
横浜市中区	1,397	303	1,397	477	1,398	269	1,398	222	1,398	65	1,397	165
横浜市南区	2,162	474	2,164	842	2,165	444	2,165	318	2,165	86	2,162	191
横浜市保土ヶ谷区	2,677	569	2,679	1,082	2,679	619	2,679	357	2,679	93	2,677	269
横浜市磯子区	2,548	575	2,553	907	2,553	497	2,553	331	2,553	88	2,548	257
横浜市金沢区	3,347	625	3,347	1,453	3,348	731	3,348	423	3,348	118	3,347	308
横浜市港北区	3,523	695	3,525	1,185	3,526	803	3,526	457	3,526	105	3,523	377
横浜市戸塚区	5,156	1,141	5,160	1,985	5,161	1,192	5,161	798	5,161	178	5,156	474
横浜市港南区	4,496	949	4,497	1,466	4,497	903	4,498	581	4,498	144	4,496	425
横浜市旭区	4,151	824	4,157	1,498	4,157	859	4,157	521	4,157	167	4,151	388
横浜市緑区	2,067	417	2,066	728	2,067	461	2,067	274	2,067	66	2,067	166
横浜市瀬谷区	2,326	452	2,327	969	2,327	537	2,327	256	2,327	84	2,326	253
横浜市栄区	2,171	417	2,170	789	2,171	520	2,171	290	2,171	70	2,171	202
横浜市泉区	3,527	712	3,531	1,187	3,530	742	3,531	549	3,530	128	3,527	335
横浜市青葉区	3,843	654	3,845	1,380	3,846	855	3,846	397	3,845	126	3,843	372
横浜市都筑区	2,106	410	2,105	772	2,106	514	2,106	306	2,106	63	2,106	207
川崎市川崎区	5,817	1,574	5,818	1,764	5,818	1,140	5,818	851	5,818	271	5,817	473
川崎市幸区	4,520	1,155	4,521	1,816	4,521	926	4,521	573	4,521	204	4,520	391
川崎市中原区	5,096	1,156	5,097	1,633	5,097	1,063	5,097	611	5,097	213	5,096	475
川崎市高津区	5,890	1,385	5,888	2,084	5,891	1,275	5,891	698	5,891	240	5,890	513
川崎市多摩区	6,893	1,476	6,895	2,560	6,895	1,531	6,894	806	6,895	250	6,893	680
川崎市宮前区	7,848	1,712	7,851	2,414	7,852	1,790	7,852	867	7,852	301	7,848	743
川崎市麻生区	7,204	1,370	7,204	3,038	7,205	1,727	7,205	818	7,205	251	7,204	830
相模原市緑区	5,195	1,245	5,197	1,973	5,197	1,069	5,197	576	5,197	171	5,195	391
相模原市中央区	8,522	1,932	8,522	2,644	8,522	1,708	8,522	1,078	8,522	338	8,522	689
相模原市南区	10,359	2,238	10,358	3,855	10,359	2,012	10,359	1,258	10,359	396	10,359	880
横須賀市	15,308	3,602	15,312	5,653	15,312	2,825	15,312	1,664	15,312	613	15,308	1,303
平塚市	13,051	3,078	13,059	4,339	13,059	2,372	13,059	1,974	13,059	535	13,051	1,164
鎌倉市	9,349	1,768	9,351	3,171	9,351	1,877	9,351	910	9,351	296	9,349	1,002
藤沢市	26,637	5,950	26,642	8,475	26,642	5,310	26,641	3,397	26,642	1,015	26,637	2,485
小田原市	7,919	1,802	7,919	2,378	7,919	1,517	7,919	1,115	7,919	287	7,919	744
茅ヶ崎市	15,054	3,312	15,048	5,865	15,042	2,563	15,047	2,306	15,047	602	15,054	1,491
逗子市	2,599	498	2,599	806	2,599	656	2,599	336	2,599	83	2,599	255
三浦市	1,697	377	1,697	629	1,697	303	1,697	268	1,697	59	1,697	168
秦野市	8,141	1,945	8,148	2,686	8,149	1,480	8,149	1,206	8,150	271	8,141	709
厚木市	10,306	2,399	10,307	3,948	10,303	1,955	10,305	1,594	10,304	396	10,306	878
大和市	12,899	3,130	12,903	4,647	12,541	2,547	12,902	1,986	12,902	498	12,899	1,049
伊勢原市	4,967	1,166	4,989	1,887	4,989	869	4,987	546	4,987	179	4,967	400
海老名市	6,579	1,478	6,573	2,598	6,579	1,503	6,579	790	6,579	248	6,579	571
座間市	5,872	1,375	5,875	1,958	5,875	1,045	5,875	946	5,875	229	5,872	556
南足柄市	2,118	463	2,118	678	2,115	373	2,117	391	2,117	81	2,118	188
綾瀬市	4,882	1,240	4,887	1,875	4,887	1,196	4,887	578	4,887	218	4,882	353
葉山町	1,606	321	1,606	598	1,606	440	1,606	221	1,606	54	1,606	150
寒川町	2,231	547	2,232	1,040	2,232	368	2,232	203	2,232	102	2,231	169
大磯町	1,575	375	1,577	422	1,577	266	1,577	243	1,577	57	1,575	133
二宮町	2,114	407	2,114	617	2,114	335	2,114	232	2,114	61	2,114	255
中井町	441	93	442	174	442	83	442	65	442	10	441	46
大井町	652	139	652	256	652	140	652	92	652	17	652	65
松田町	424	73	424	155	424	112	424	72	424	11	424	41
山北町	442	115	442	159	442	87	442	65	442	20	442	26
開成町	312	52	312	99	312	61	312	34	312	7	312	28
箱根町	734	239	734	256	733	152	733	116	734	34	734	54
真鶴町	545	116	545	217	547	74	544	66	544	24	545	54
湯河原町	1,515	320	1,515	630	1,515	253	1,515	283	1,515	51	1,515	159
愛川町	2,497	646	2,497	899	2,497	437	2,497	431	2,497	123	2,497	210
清川村	189	51	189	71	189	36	189	31	189	4	189	15
(県全体)	283,169	63,323	283,264	100,538	282,714	57,053	283,279	37,521	283,280	10,715	283,169	25,912
(全国)	4,693,781	1,113,736	4,693,781	1,650,971	4,693,781	930,435	4,693,781	514,121	4,693,781	177,206	4,693,781	402,764

* KDB健康スコアリング(健診)、KDB健診データ(令和4年度)と個別に提供のあった健診データをもとに集計

(資料-12) 市区町村別のCKDリスクレベル別人数明細 (令和4年度)

(単位:人)

市区町村名	判定可能者数	リスクレベル			
		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
横浜市鶴見区	2,848	1,360	931	372	185
横浜市神奈川区	3,321	1,299	1,043	562	417
横浜市西区	1,516	628	494	249	145
横浜市中区	1,398	611	447	201	139
横浜市南区	2,165	981	701	312	171
横浜市保土ヶ谷区	2,679	1,233	880	377	189
横浜市磯子区	2,553	1,204	755	381	213
横浜市金沢区	3,348	1,617	1,074	424	233
横浜市港北区	3,526	1,662	1,146	486	232
横浜市戸塚区	5,160	2,440	1,597	743	380
横浜市港南区	4,498	2,004	1,430	674	390
横浜市旭区	4,156	2,047	1,357	501	251
横浜市緑区	2,067	871	704	309	183
横浜市瀬谷区	2,327	1,010	782	347	188
横浜市栄区	2,171	1,122	678	240	131
横浜市泉区	3,531	1,728	1,054	483	266
横浜市青葉区	3,846	1,844	1,274	481	247
横浜市都筑区	2,106	983	694	276	153
川崎市川崎区	5,818	2,184	1,955	1,044	635
川崎市幸区	4,521	1,752	1,588	724	457
川崎市中原区	5,097	2,053	1,662	877	505
川崎市高津区	5,891	2,197	1,953	1,087	654
川崎市多摩区	6,895	2,781	2,362	1,069	683
川崎市宮前区	7,852	2,968	2,650	1,359	875
川崎市麻生区	7,205	3,113	2,476	1,069	547
相模原市緑区	5,197	2,236	1,786	781	394
相模原市中央区	8,522	3,739	2,740	1,306	737
相模原市南区	10,359	4,528	3,493	1,489	849
横須賀市	15,312	7,293	4,875	2,052	1,092
平塚市	13,059	5,496	4,182	2,132	1,249
鎌倉市	9,351	4,945	2,568	1,171	667
藤沢市	26,642	9,978	9,169	4,569	2,926
小田原市	7,919	3,244	2,678	1,248	749
茅ヶ崎市	15,051	6,211	5,334	2,201	1,305
逗子市	2,599	1,540	706	228	125
三浦市	1,697	759	575	217	146
秦野市	8,150	3,610	2,721	1,165	654
厚木市	10,307	4,771	3,250	1,446	840
大和市	12,808	10,023	1,506	1,275	4
伊勢原市	4,989	2,405	1,500	684	400
海老名市	6,581	3,082	2,143	850	506
座間市	5,875	2,565	1,961	851	498
南足柄市	2,118	877	727	330	184
綾瀬市	4,887	2,212	1,646	631	398
葉山町	1,606	957	427	152	70
寒川町	2,232	1,109	718	274	131
大磯町	1,577	693	571	202	111
二宮町	2,114	1,024	646	305	139
中井町	442	208	135	67	32
大井町	652	309	227	79	37
松田町	424	166	182	62	14
山北町	442	210	142	59	31
開成町	312	178	92	29	13
箱根町	734	351	242	90	51
真鶴町	545	214	194	87	50
湯河原町	1,515	552	571	247	145
愛川町	2,497	1,141	738	359	259
清川村	189	79	77	23	10
(県全体)	283,199	128,397	90,209	41,308	23,285

* KDB健康スコアリング(健診)、KDB健診データ(令和4年度)と個別に提供のあった健診データをもとに集計

(資料-13) 市区町村別の質問票リスク保有者数明細 (令和4年度) [1/2]

(単位:人)

市区町村名	健康状態		心の健康状態		食習慣		口腔機能		体重変化	
	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数
横浜市鶴見区	2,803	249	2,830	225	2,844	180	2,834	1,009	2,831	379
横浜市神奈川区	3,292	313	3,308	280	3,317	279	3,313	1,126	3,301	397
横浜市西区	1,497	132	1,510	99	1,507	125	1,506	499	1,503	205
横浜市中区	1,380	129	1,393	112	1,392	122	1,392	520	1,390	173
横浜南区	2,148	167	2,160	147	2,162	187	2,159	814	2,157	266
横浜市保土ヶ谷区	2,650	186	2,668	174	2,673	147	2,672	893	2,665	318
横浜市磯子区	2,530	219	2,540	208	2,546	210	2,544	921	2,541	317
横浜市金沢区	3,317	253	3,325	213	3,342	166	3,341	1,104	3,332	361
横浜市港北区	3,495	252	3,509	230	3,521	232	3,514	1,188	3,507	397
横浜市戸塚区	5,111	410	5,137	383	5,149	262	5,144	1,789	5,136	633
横浜市港南区	4,436	316	4,479	354	4,493	267	4,487	1,529	4,475	466
横浜市旭区	4,126	332	4,135	316	4,152	220	4,151	1,415	4,138	457
横浜市緑区	2,050	154	2,061	152	2,066	97	2,066	765	2,059	224
横浜市瀬谷区	2,295	184	2,319	168	2,320	119	2,319	800	2,315	246
横浜市栄区	2,152	134	2,158	155	2,169	114	2,162	711	2,157	237
横浜市泉区	3,481	280	3,507	240	3,519	176	3,521	1,201	3,516	384
横浜市青葉区	3,808	285	3,831	260	3,842	193	3,836	1,222	3,837	389
横浜市都筑区	2,081	176	2,098	140	2,102	95	2,100	724	2,094	228
川崎市川崎区	5,864	621	5,865	556	5,864	508	5,862	2,587	5,862	829
川崎市幸区	4,526	442	4,527	403	4,520	356	4,529	1,903	4,523	568
川崎市中原区	5,089	448	5,086	442	5,087	415	5,085	2,081	5,082	644
川崎市高津区	5,910	543	5,910	513	5,907	426	5,907	2,468	5,901	742
川崎市多摩区	6,752	638	6,753	618	6,754	474	6,750	2,849	6,746	899
川崎市宮前区	7,849	630	7,848	570	7,846	491	7,844	3,023	7,843	996
川崎市麻生区	6,279	519	6,279	480	6,280	383	6,283	2,443	6,264	739
相模原市緑区	5,205	361	5,206	355	5,204	239	5,201	1,966	5,201	491
相模原市中央区	8,517	707	8,516	623	8,512	400	8,513	3,362	8,500	895
相模原市南区	10,409	854	10,409	853	10,403	512	10,396	3,945	10,392	1,082
横須賀市	15,308	1,180	15,309	1,121	15,308	841	15,309	5,551	15,308	1,609
平塚市	13,034	1,095	13,030	1,251	13,021	674	12,967	5,132	12,989	1,657
鎌倉市	9,335	817	9,329	847	9,336	532	9,331	2,952	9,334	1,003
藤沢市	26,634	3,310	26,634	2,833	26,634	1,673	26,634	9,712	26,634	3,048
小田原市	7,913	692	7,914	631	7,913	377	7,909	3,109	7,907	789
茅ヶ崎市	15,043	1,569	15,039	1,619	15,044	902	15,041	5,986	15,027	1,795
逗子市	2,591	238	2,591	201	2,597	129	2,587	912	2,587	286
三浦市	1,419	146	1,419	134	1,419	88	1,418	520	1,418	165
秦野市	7,291	700	7,289	602	7,291	322	7,284	3,024	7,281	802
厚木市	9,966	966	9,966	944	9,966	820	9,966	3,516	9,965	1,135
大和市	12,886	1,093	12,887	1,127	12,888	685	12,879	5,026	12,860	1,469
伊勢原市	4,696	478	4,697	402	4,697	178	4,696	1,928	4,696	528
海老名市	6,575	680	6,575	579	6,575	428	6,575	2,540	6,570	697
座間市	5,657	571	5,658	512	5,655	298	5,652	2,440	5,654	658
南足柄市	1,939	166	1,939	172	1,937	74	1,933	702	1,934	224
綾瀬市	4,854	566	4,826	535	4,864	259	4,860	1,844	4,868	486
葉山町	1,590	149	1,592	127	1,595	92	1,595	580	1,590	169
寒川町	2,232	181	2,232	154	2,232	90	2,231	841	2,231	227
大磯町	1,566	124	1,568	124	1,576	66	1,566	540	1,556	136
二宮町	2,114	177	2,114	184	2,113	106	2,113	781	2,112	264
中井町	338	35	338	36	338	17	338	140	337	36
大井町	650	58	651	61	651	29	651	237	651	78
松田町	69	4	69	6	69	0	69	30	69	7
山北町	443	39	443	32	443	13	443	182	442	53
開成町	313	28	313	25	313	13	313	100	313	26
箱根町	734	59	734	51	734	54	734	341	733	83
真鶴町	544	57	544	48	544	43	544	201	543	73
湯河原町	1,514	145	1,514	136	1,515	136	1,514	657	1,515	214
愛川町	2,486	264	2,472	249	2,466	137	2,039	901	2,477	288
清川村	182	19	182	10	184	12	182	84	184	21
(県全体)	278,968	25,540	279,235	24,022	279,411	16,483	278,804	105,366	279,053	31,988
(全国)	4,546,725	456,400	4,544,152	398,898	4,549,664	244,257	4,543,395	1,796,173	4,541,072	532,006

* KDB健康スコアリング(健診)、KDB健診データ(令和4年度)と個別に提供のあった健診データをもとに集計

(次ページにつづく)

(資料-13) 市区町村別の質問票リスク保有者数明細 (令和4年度) [2/2]

(単位:人)

市区町村名	運動・転倒		認知機能		喫煙		社会参加		ソーシャルサポート	
	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数
横浜市鶴見区	2,825	2,073	2,830	847	2,843	663	2,831	368	2,837	155
横浜市神奈川区	3,303	2,485	3,305	1,059	3,317	705	3,311	444	3,309	173
横浜市西区	1,505	1,098	1,507	432	1,510	313	1,507	189	1,507	80
横浜市中区	1,386	1,022	1,389	450	1,394	332	1,389	165	1,389	86
横浜南区	2,155	1,576	2,149	646	2,159	493	2,162	280	2,160	147
横浜市保土ヶ谷区	2,662	1,899	2,667	755	2,669	637	2,667	282	2,671	130
横浜市磯子区	2,531	1,867	2,544	807	2,547	538	2,540	375	2,544	142
横浜市金沢区	3,326	2,362	3,333	932	3,340	683	3,334	386	3,333	138
横浜市港北区	3,512	2,528	3,516	1,004	3,518	725	3,518	348	3,515	154
横浜市戸塚区	5,120	3,618	5,136	1,485	5,149	1,133	5,128	633	5,144	311
横浜市港南区	4,471	3,255	4,478	1,249	4,492	934	4,482	480	4,485	248
横浜市旭区	4,131	2,990	4,141	1,197	4,155	1,005	4,140	509	4,150	203
横浜市緑区	2,056	1,493	2,060	600	2,065	451	2,061	237	2,061	105
横浜市瀬谷区	2,308	1,658	2,315	684	2,323	515	2,313	302	2,316	113
横浜市栄区	2,164	1,502	2,156	593	2,165	439	2,165	212	2,167	87
横浜市泉区	3,501	2,527	3,516	1,054	3,523	703	3,511	501	3,513	173
横浜市青葉区	3,833	2,666	3,827	1,022	3,839	880	3,839	371	3,837	172
横浜市都筑区	2,092	1,477	2,089	620	2,102	489	2,094	228	2,101	89
川崎市川崎区	5,859	4,492	5,863	2,228	5,863	1,606	5,865	1,027	5,866	327
川崎市幸区	4,516	3,341	4,520	1,588	4,529	1,143	4,524	634	4,526	231
川崎市中原区	5,079	3,847	5,081	1,763	5,088	1,236	5,085	687	5,090	233
川崎市高津区	5,898	4,528	5,902	2,096	5,912	1,473	5,904	932	5,910	311
川崎市多摩区	6,743	5,194	6,750	2,454	6,752	1,632	6,750	1,262	6,754	360
川崎市宮前区	7,826	5,814	7,838	2,676	7,847	1,956	7,842	1,130	7,846	408
川崎市麻生区	6,272	4,642	6,275	2,075	6,283	1,445	6,281	884	6,282	287
相模原市緑区	5,203	3,525	5,203	1,393	5,205	1,300	5,204	665	5,203	261
相模原市中央区	8,500	5,986	8,506	2,549	8,513	2,091	8,507	964	8,517	404
相模原市南区	10,391	7,523	10,399	2,972	10,408	2,358	10,405	1,158	10,404	511
横須賀市	15,308	11,094	15,308	4,159	15,309	3,474	15,309	1,950	15,308	836
平塚市	12,962	9,451	12,948	4,084	13,014	3,000	13,017	2,115	13,036	817
鎌倉市	9,328	6,636	9,331	2,406	9,347	2,428	9,337	919	9,342	346
藤沢市	26,634	20,221	26,634	7,283	26,634	6,918	26,634	3,618	26,634	1,237
小田原市	7,907	5,803	7,909	2,329	7,907	1,553	7,913	1,014	7,915	357
茅ヶ崎市	15,036	11,271	15,033	4,526	15,046	3,389	15,038	1,865	15,040	714
逗子市	2,560	1,878	2,576	682	2,596	592	2,593	243	2,597	117
三浦市	1,417	1,080	1,419	425	1,419	358	1,419	292	1,419	84
秦野市	7,281	5,393	7,289	2,193	7,294	1,486	7,292	1,082	7,293	362
厚木市	9,967	7,424	9,967	2,745	10,152	1,791	9,967	1,370	9,964	520
大和市	12,850	9,327	12,856	4,023	12,873	3,304	12,880	1,413	12,890	593
伊勢原市	4,694	3,377	4,696	1,412	4,697	981	4,695	608	4,693	197
海老名市	6,570	4,706	6,574	1,895	6,576	1,437	6,575	875	6,573	323
座間市	5,654	4,161	5,655	1,892	5,658	1,128	5,656	825	5,656	272
南足柄市	1,933	1,462	1,936	556	1,937	416	1,934	274	1,938	85
綾瀬市	4,841	3,489	4,853	1,367	4,872	1,299	4,860	746	4,880	240
葉山町	1,585	1,198	1,588	465	1,597	418	1,594	203	1,598	70
寒川町	2,228	1,527	2,231	670	2,230	595	2,231	269	2,231	101
大磯町	1,558	1,121	1,557	445	1,572	305	1,555	225	1,570	52
二宮町	2,114	1,552	2,112	581	2,114	333	2,113	289	2,114	87
中井町	337	246	338	102	338	67	336	52	338	12
大井町	651	451	650	190	650	129	650	70	651	22
松田町	69	57	69	18	71	11	69	15	69	4
山北町	440	311	442	123	440	102	443	61	443	25
開成町	313	194	313	74	313	65	313	35	313	7
箱根町	734	549	734	234	734	223	734	101	734	41
真鶴町	544	426	544	157	543	109	544	80	544	37
湯河原町	1,514	1,117	1,514	438	1,515	314	1,514	241	1,515	100
愛川町	2,440	1,830	2,470	769	2,484	593	2,486	463	2,495	112
清川村	181	136	181	57	184	44	183	19	184	5
(県全体)	278,818	204,476	279,022	83,530	279,626	64,740	279,243	36,985	279,414	13,814
(全国)	4,531,898	3,316,930	4,535,606	1,425,866	4,540,055	1,039,546	4,545,127	587,800	4,548,833	222,240

* KDB健康スコアリング(健診)、KDB健診データ(令和4年度)と個別に提供のあった健診データをもとに集計

(資料-14) 市区町村別の歯科健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(人数単位:人)

市区町村名	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
横浜市	38,396	1,697	4.42%	34,971	1,568	4.48%	38,622	2,349	6.08%
川崎市	12,078	484	4.01%	11,077	406	3.67%	12,336	697	5.65%
相模原市	8,218	237	2.88%	7,716	190	2.46%	8,152	435	5.34%
横須賀市	5,741	358	6.24%	5,200	298	5.73%	5,579	413	7.40%
平塚市	3,196	139	4.35%	2,824	132	4.67%	3,205	220	6.86%
鎌倉市	2,307	127	5.50%	2,082	129	6.20%	2,346	146	6.22%
藤沢市	4,549	422	9.28%	4,157	332	7.99%	4,778	465	9.73%
小田原市	2,323	63	2.71%	2,161	59	2.73%	2,429	124	5.10%
茅ヶ崎市	2,760	157	5.69%	2,510	100	3.98%	2,922	181	6.19%
逗子市	702	39	5.56%	747	38	5.09%	775	69	8.90%
三浦市	873	16	1.83%	639	13	2.03%	755	26	3.44%
秦野市	2,106	123	5.84%	1,963	119	6.06%	2,259	186	8.23%
厚木市	2,597	92	3.54%	2,440	68	2.79%	2,692	154	5.72%
大和市	2,737	152	5.55%	2,332	131	5.62%	2,545	212	8.33%
伊勢原市	1,226	105	8.56%	1,044	85	8.14%	1,206	128	10.61%
海老名市	0	1	-	1,378	96	6.97%	1,516	178	11.74%
座間市	1,547	46	2.97%	1,402	49	3.50%	1,469	71	4.83%
南足柄市	604	19	3.15%	578	24	4.15%	610	27	4.43%
綾瀬市	1,171	67	5.72%	1,077	67	6.22%	1,108	110	9.93%
葉山町	478	35	7.32%	418	21	5.02%	473	34	7.19%
寒川町	592	17	2.87%	562	21	3.74%	628	48	7.64%
大磯町	535	39	7.29%	419	20	4.77%	513	39	7.60%
二宮町	427	19	4.45%	415	25	6.02%	412	32	7.77%
中井町	146	12	8.22%	142	16	11.27%	176	21	11.93%
大井町	220	10	4.55%	209	8	3.83%	228	7	3.07%
松田町	164	14	8.54%	126	7	5.56%	154	11	7.14%
山北町	134	2	1.49%	156	5	3.21%	168	4	2.38%
開成町	196	7	3.57%	183	16	8.74%	183	16	8.74%
箱根町	171	2	1.17%	147	3	2.04%	186	7	3.76%
真鶴町	129	6	4.65%	146	6	4.11%	126	5	3.97%
湯河原町	462	11	2.38%	390	11	2.82%	394	25	6.35%
愛川町	535	17	3.18%	447	13	2.91%	557	27	4.85%
清川村	42	2	4.76%	43	5	11.63%	44	2	4.55%
(県全体)	97,362	4,537	4.66%	90,101	4,081	4.53%	99,546	6,469	6.50%

* 当広域連合の持つ歯科健診実績データをもとに集計

* 75歳到達時の受診対象者だけを対象 (モデル事業なので対象とした80歳到達時の対象者は除外)

(資料-15) 市区町村別の1人当たり医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

【年齢調整なし】

(金額単位:円)

市区町村名	平成30年度	令和2年度	令和4年度	ランク (降順)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
横浜市鶴見区	826,844	810,574	826,019	3	-0.1%
横浜市神奈川区	816,838	789,081	821,274	5	0.5%
横浜市西区	813,063	801,091	797,486	15	-1.9%
横浜市中区	810,441	768,249	784,852	18	-3.2%
横浜市南区	786,335	772,592	811,780	9	3.2%
横浜市保土ヶ谷区	765,648	773,020	804,168	12	5.0%
横浜市磯子区	773,821	778,611	801,712	13	3.6%
横浜市金沢区	760,098	760,397	784,573	19	3.2%
横浜市港北区	782,433	780,592	818,861	8	4.7%
横浜市戸塚区	748,226	761,744	780,055	22	4.3%
横浜市港南区	755,843	759,597	785,435	17	3.9%
横浜市旭区	744,528	713,783	747,197	36	0.4%
横浜市緑区	753,599	749,812	777,045	24	3.1%
横浜市瀬谷区	758,801	754,928	784,383	20	3.4%
横浜市栄区	725,035	721,985	764,320	27	5.4%
横浜市泉区	751,829	743,160	770,529	25	2.5%
横浜市青葉区	761,577	750,491	788,826	16	3.6%
横浜市都筑区	769,484	751,085	781,530	21	1.6%
川崎市川崎区	882,124	883,877	907,759	1	2.9%
川崎市幸区	824,088	831,523	856,344	2	3.9%
川崎市中原区	816,213	812,526	823,987	4	1.0%
川崎市高津区	798,108	805,843	819,771	7	2.7%
川崎市多摩区	796,563	780,307	819,941	6	2.9%
川崎市宮前区	783,861	767,793	798,550	14	1.9%
川崎市麻生区	779,734	766,066	805,709	11	3.3%
相模原市緑区	698,592	684,841	686,853	54	-1.7%
相模原市中央区	708,007	697,880	732,523	45	3.5%
相模原市南区	721,813	718,452	742,722	39	2.9%
横須賀市	751,382	748,751	758,074	32	0.9%
平塚市	731,811	725,034	727,252	46	-0.6%
鎌倉市	775,785	764,141	761,076	29	-1.9%
藤沢市	728,156	726,217	739,250	40	1.5%
小田原市	749,258	725,981	761,131	28	1.6%
茅ヶ崎市	710,750	729,666	751,043	33	5.7%
逗子市	768,054	770,491	810,346	10	5.5%
三浦市	753,392	751,584	760,274	31	0.9%
秦野市	724,135	708,051	713,252	49	-1.5%
厚木市	689,541	678,716	703,576	51	2.0%
大和市	696,914	707,330	737,329	42	5.8%
伊勢原市	728,715	741,154	768,252	26	5.4%
海老名市	670,199	680,906	704,555	50	5.1%
座間市	719,908	704,525	735,576	43	2.2%
南足柄市	684,128	675,558	697,801	52	2.0%
綾瀬市	678,088	687,214	714,602	48	5.4%
葉山町	718,194	707,280	748,086	35	4.2%
寒川町	718,981	722,611	748,880	34	4.2%
大磯町	769,155	675,930	685,434	55	-10.9%
二宮町	730,902	687,353	689,026	53	-5.7%
中井町	783,002	703,396	745,612	38	-4.8%
大井町	693,226	646,622	682,130	56	-1.6%
松田町	750,714	717,128	760,890	30	1.4%
山北町	778,172	750,591	779,138	23	0.1%
開成町	697,299	705,201	746,175	37	7.0%
箱根町	761,674	744,399	737,829	41	-3.1%
真鶴町	768,445	689,371	726,593	47	-5.4%
湯河原町	750,900	736,399	733,503	44	-2.3%
愛川町	667,551	645,005	678,346	57	1.6%
清川村	740,132	682,334	582,808	58	-21.3%
(県平均)	754,613	747,322	770,270		2.1%
(全国平均)	817,405	811,435	818,981		0.2%

* KDB健康スコアリング(医療)より集計

(資料-16) 市区町村別の1人当たり医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

【年齢調整あり】

(金額単位：円)

市区町村名	平成30年度	令和2年度	令和4年度	ランク (降順)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
横浜市鶴見区	847,059	823,684	843,294	3	-0.4%
横浜市神奈川区	831,397	798,004	830,334	8	-0.1%
横浜市西区	818,631	805,153	802,860	16	-1.9%
横浜市中区	820,857	777,803	797,953	18	-2.8%
横浜市南区	799,251	782,526	824,008	10	3.1%
横浜市保土ヶ谷区	775,333	781,421	811,573	12	4.7%
横浜市磯子区	786,931	784,995	808,821	14	2.8%
横浜市金沢区	778,483	773,536	794,330	19	2.0%
横浜市港北区	796,133	792,628	831,660	6	4.5%
横浜市戸塚区	764,571	773,438	790,464	21	3.4%
横浜市港南区	768,327	767,386	793,617	20	3.3%
横浜市旭区	758,496	724,992	754,508	42	-0.5%
横浜市緑区	773,285	761,166	790,332	24	2.2%
横浜市瀬谷区	773,105	761,961	790,440	23	2.2%
横浜市栄区	746,035	737,134	785,586	28	5.3%
横浜市泉区	768,137	746,348	777,538	29	1.2%
横浜市青葉区	783,431	764,945	804,728	15	2.7%
横浜市都筑区	782,503	758,858	789,694	25	0.9%
川崎市川崎区	903,192	906,629	924,429	1	2.4%
川崎市幸区	843,161	846,037	875,854	2	3.9%
川崎市中原区	831,725	819,306	837,985	4	0.8%
川崎市高津区	826,482	824,637	835,543	5	1.1%
川崎市多摩区	816,266	789,995	831,288	7	1.8%
川崎市宮前区	808,421	788,378	810,775	13	0.3%
川崎市麻生区	801,657	775,287	816,741	11	1.9%
相模原市緑区	729,418	701,468	711,315	52	-2.5%
相模原市中央区	728,331	715,010	756,505	41	3.9%
相模原市南区	742,884	735,434	758,553	39	2.1%
横須賀市	760,501	754,480	767,345	34	0.9%
平塚市	753,681	740,522	744,765	46	-1.2%
鎌倉市	790,385	773,117	768,556	33	-2.8%
藤沢市	750,227	744,252	751,855	43	0.2%
小田原市	764,234	737,685	775,138	30	1.4%
茅ヶ崎市	728,299	742,369	765,644	35	5.1%
逗子市	776,450	779,722	829,807	9	6.9%
三浦市	752,189	747,924	763,044	37	1.4%
秦野市	748,230	722,207	734,109	48	-1.9%
厚木市	709,724	696,401	727,022	50	2.4%
大和市	731,232	732,657	765,540	36	4.7%
伊勢原市	750,029	759,594	790,450	22	5.4%
海老名市	697,043	698,691	725,850	51	4.1%
座間市	763,514	736,540	772,478	31	1.2%
南足柄市	704,347	681,876	706,237	54	0.3%
綾瀬市	714,690	708,341	733,638	49	2.7%
葉山町	732,324	727,359	762,387	38	4.1%
寒川町	747,920	745,545	771,728	32	3.2%
大磯町	787,717	691,751	703,108	56	-10.7%
二宮町	741,903	703,649	710,994	53	-4.2%
中井町	810,858	707,515	798,530	17	-1.5%
大井町	741,018	651,254	704,571	55	-4.9%
松田町	774,853	723,569	785,736	27	1.4%
山北町	811,049	785,074	786,514	26	-3.0%
開成町	711,713	725,385	741,564	47	4.2%
箱根町	786,379	760,151	757,022	40	-3.7%
真鶴町	772,800	691,734	749,308	44	-3.0%
湯河原町	766,391	767,865	748,053	45	-2.4%
愛川町	729,467	655,171	692,315	57	-5.1%
清川村	753,017	679,279	590,426	58	-21.6%
(県平均)	773,612	760,875	784,956		1.5%
(全国平均)	817,405	811,435	818,981		0.2%

* KDB健康スコアリング(医療)をもとに直接法により年齢調整を実施

(資料-17) 市区町村別の高額・長期入院レセプト件数明細 (平成30年度・令和4年度) ※令和2年度分は掲載割愛

(件数単位: 件)

市区町村名	平成30年度						令和4年度					
	高額レセプト			長期入院レセプト			高額レセプト			長期入院レセプト		
	レセプト件数	該当レセプト件数	(割合)	入院レセプト件数	該当レセプト件数	(割合)	レセプト件数	該当レセプト件数	(割合)	入院レセプト件数	該当レセプト件数	(割合)
横浜市鶴見区	472,042	17,225	3.6%	19,784	2,520	12.7%	487,408	19,058	3.9%	19,064	2,436	12.8%
横浜市神奈川区	449,332	14,845	3.3%	16,695	1,864	11.2%	460,279	16,327	3.5%	16,047	1,920	12.0%
横浜市西区	168,535	6,076	3.6%	6,709	814	12.1%	173,121	5,758	3.3%	5,760	648	11.3%
横浜市中区	247,353	8,900	3.6%	9,732	1,026	10.5%	262,930	8,902	3.4%	8,631	866	10.0%
横浜市南区	455,072	14,397	3.2%	15,728	1,570	10.0%	466,869	15,817	3.4%	15,103	1,463	9.7%
横浜市保土ヶ谷区	466,717	14,824	3.2%	16,340	1,722	10.5%	491,314	16,321	3.3%	15,633	1,581	10.1%
横浜市磯子区	404,560	12,605	3.1%	14,087	1,640	11.6%	426,451	14,204	3.3%	13,652	1,372	10.0%
横浜市金沢区	493,742	14,967	3.0%	16,678	1,556	9.3%	541,867	17,375	3.2%	16,579	1,540	9.3%
横浜市港北区	587,453	18,497	3.1%	20,590	2,683	13.0%	624,099	21,959	3.5%	20,999	2,928	13.9%
横浜市戸塚区	554,493	18,645	3.4%	21,253	1,732	8.1%	612,806	21,877	3.6%	21,894	1,911	8.7%
横浜市港南区	567,594	15,868	2.8%	18,020	1,649	9.2%	612,799	18,712	3.1%	18,058	1,700	9.4%
横浜市旭区	641,031	19,502	3.0%	21,686	2,333	10.8%	668,756	20,761	3.1%	20,248	2,302	11.4%
横浜市緑区	347,803	11,108	3.2%	12,450	1,422	11.4%	387,710	13,229	3.4%	12,636	1,723	13.6%
横浜市瀬谷区	319,824	9,541	3.0%	10,408	1,193	11.5%	331,112	10,605	3.2%	10,116	1,081	10.7%
横浜市栄区	316,938	9,361	3.0%	10,779	885	8.2%	358,000	11,653	3.3%	11,288	902	8.0%
横浜市泉区	378,838	11,263	3.0%	12,828	972	7.6%	409,335	12,869	3.1%	12,710	1,064	8.4%
横浜市青葉区	521,256	16,329	3.1%	18,959	2,581	13.6%	595,651	19,397	3.3%	19,393	2,621	13.5%
横浜市都筑区	295,768	9,288	3.1%	9,843	1,343	13.6%	333,884	11,124	3.3%	10,652	1,529	14.4%
川崎市川崎区	360,358	15,840	4.4%	19,420	1,832	9.4%	365,620	17,295	4.7%	18,199	1,960	10.8%
川崎市幸区	305,452	10,010	3.3%	10,988	1,336	12.2%	315,075	11,141	3.5%	11,097	1,235	11.1%
川崎市中原区	327,022	11,108	3.4%	12,544	1,892	15.1%	340,606	12,029	3.5%	11,752	1,839	15.6%
川崎市高津区	306,349	11,530	3.8%	13,197	1,857	14.1%	334,922	13,207	3.9%	13,184	1,956	14.8%
川崎市多摩区	349,534	11,425	3.3%	12,466	1,874	15.0%	372,436	13,086	3.5%	12,395	1,960	15.8%
川崎市宮前区	371,594	12,234	3.3%	13,282	2,050	15.4%	422,630	13,800	3.3%	13,220	1,445	10.9%
川崎市麻生区	332,934	11,385	3.4%	12,184	2,038	16.7%	363,539	13,340	3.7%	12,619	2,007	15.9%
相模原市緑区	276,995	11,786	4.3%	13,115	2,188	16.7%	327,665	13,119	4.0%	13,110	2,515	19.2%
相模原市中央区	461,871	16,636	3.6%	18,220	2,603	14.3%	519,680	20,120	3.9%	19,842	2,972	15.0%
相模原市南区	559,734	18,901	3.4%	21,636	3,505	16.2%	610,619	21,768	3.6%	21,113	3,406	16.1%
横須賀市	1,100,559	33,763	3.1%	34,303	3,175	9.3%	1,163,864	37,801	3.2%	33,737	3,176	9.4%
平塚市	523,160	20,374	3.9%	21,909	4,490	20.5%	581,570	22,078	3.8%	21,096	4,097	19.4%
鎌倉市	492,255	16,466	3.3%	19,062	2,100	11.0%	503,702	16,566	3.3%	17,057	2,051	12.0%
藤沢市	897,809	27,040	3.0%	30,862	3,544	11.5%	972,729	31,051	3.2%	30,059	3,582	11.9%
小田原市	450,008	16,664	3.7%	19,236	4,073	21.2%	469,902	17,941	3.8%	18,317	3,532	19.3%
茅ヶ崎市	512,640	16,501	3.2%	18,955	2,284	12.0%	554,921	20,082	3.6%	20,126	2,573	12.8%
逗子市	181,395	5,673	3.1%	6,174	659	10.7%	186,723	6,505	3.5%	6,246	915	14.6%
三浦市	124,103	4,999	4.0%	5,649	386	6.8%	131,173	5,296	4.0%	5,291	393	7.4%
秦野市	317,124	13,308	4.2%	14,973	3,069	20.5%	360,722	15,214	4.2%	14,695	3,189	21.7%
厚木市	371,971	12,854	3.5%	14,837	1,999	13.5%	422,988	16,068	3.8%	15,814	2,221	14.0%
大和市	417,061	13,920	3.3%	15,803	1,815	11.5%	458,035	17,049	3.7%	16,693	2,054	12.3%
伊勢原市	185,419	7,031	3.8%	7,526	1,464	19.5%	210,479	8,534	4.1%	8,058	1,648	20.5%
海老名市	226,665	7,647	3.4%	8,405	1,129	13.4%	259,795	9,787	3.8%	9,159	1,496	16.3%
座間市	239,194	8,814	3.7%	9,548	1,534	16.1%	266,577	9,976	3.7%	9,821	1,505	15.3%
南足柄市	109,473	3,724	3.4%	4,111	913	22.2%	116,342	4,210	3.6%	4,168	819	19.6%
綾瀬市	150,626	5,868	3.9%	6,651	782	11.8%	173,456	7,188	4.1%	7,182	924	12.9%
葉山町	92,098	2,886	3.1%	3,202	263	8.2%	98,996	3,151	3.2%	3,099	314	10.1%
寒川町	81,672	3,410	4.2%	4,051	562	13.9%	94,214	4,106	4.4%	4,293	582	13.6%
大磯町	85,112	3,375	4.0%	3,698	773	20.9%	93,524	3,218	3.4%	3,058	533	17.4%
二宮町	79,027	2,923	3.7%	3,185	631	19.8%	83,494	2,952	3.5%	2,838	411	14.5%
中井町	21,074	1,018	4.8%	1,064	262	24.6%	24,535	1,008	4.1%	1,017	178	17.5%
大井町	33,305	1,366	4.1%	1,574	418	26.6%	37,629	1,424	3.8%	1,441	160	11.1%
松田町	29,472	1,188	4.0%	1,383	300	21.7%	30,859	1,315	4.3%	1,353	314	23.2%
山北町	31,337	1,245	4.0%	1,561	384	24.6%	31,193	1,485	4.8%	1,470	382	26.0%
開成町	36,157	1,105	3.1%	1,279	222	17.4%	41,131	1,497	3.6%	1,429	323	22.6%
箱根町	31,502	1,285	4.1%	1,585	235	14.8%	31,764	1,305	4.1%	1,355	217	16.0%
真鶴町	24,320	941	3.9%	1,172	136	11.6%	23,894	913	3.8%	1,031	117	11.3%
湯河原町	79,596	2,973	3.7%	3,878	898	23.2%	81,888	3,272	4.0%	3,539	673	19.0%
愛川町	71,899	2,779	3.9%	3,153	468	14.8%	79,466	3,336	4.2%	3,298	512	15.5%
清川村	6,530	305	4.7%	296	55	18.6%	6,710	198	3.0%	229	30	13.1%
(県全体)	18,342,757	615,541	3.4%	688,706	89,703	13.0%	19,809,458	699,379	3.5%	681,963	89,803	13.2%

* KDB健康スコアリング(医療)より集計

(資料-18) 市区町村別の人工透析導入者数明細 (平成30年度・令和4年度) ※令和2年度分は掲載割愛

(人数単位:人)

市町村名	平成30年度					令和4年度				
	被保険者数	人工透析導入者数	(割合)	新規導入者数 (内数)	(割合)	被保険者数	人工透析導入者数	(割合)	新規導入者数 (内数)	(割合)
横浜市	451,788	3,872	0.9%	412	10.6%	502,983	4,476	0.9%	525	11.7%
川崎市	141,590	1,279	0.9%	161	12.6%	157,510	1,438	0.9%	183	12.7%
相模原市	86,714	806	0.9%	98	12.2%	100,754	991	1.0%	110	11.1%
横須賀市	65,196	693	1.1%	66	9.5%	71,371	757	1.1%	80	10.6%
平塚市	34,457	313	0.9%	40	12.8%	39,231	351	0.9%	40	11.4%
鎌倉市	30,336	191	0.6%	23	12.0%	32,422	196	0.6%	26	13.3%
藤沢市	53,058	396	0.7%	42	10.6%	60,125	453	0.8%	35	7.7%
小田原市	28,107	261	0.9%	19	7.3%	30,822	293	1.0%	25	8.5%
茅ヶ崎市	32,280	256	0.8%	37	14.5%	36,784	302	0.8%	37	12.3%
逗子市	10,575	78	0.7%	8	10.3%	11,226	100	0.9%	12	12.0%
三浦市	8,552	104	1.2%	10	9.6%	9,205	115	1.2%	3	2.6%
秦野市	21,586	184	0.9%	17	9.2%	25,822	216	0.8%	26	12.0%
厚木市	25,408	226	0.9%	21	9.3%	30,560	274	0.9%	25	9.1%
大和市	27,324	225	0.8%	30	13.3%	31,389	273	0.9%	21	7.7%
伊勢原市	12,561	108	0.9%	12	11.1%	14,446	166	1.1%	26	15.7%
海老名市	15,221	131	0.9%	17	13.0%	18,316	147	0.8%	15	10.2%
座間市	15,604	137	0.9%	14	10.2%	18,112	151	0.8%	9	6.0%
南足柄市	6,836	66	1.0%	8	12.1%	7,717	74	1.0%	4	5.4%
綾瀬市	10,965	101	0.9%	8	7.9%	12,907	120	0.9%	11	9.2%
葉山町	5,606	32	0.6%	5	15.6%	6,193	43	0.7%	7	16.3%
寒川町	6,003	53	0.9%	5	9.4%	7,000	59	0.8%	8	13.6%
大磯町	5,578	53	1.0%	4	7.5%	6,298	52	0.8%	2	3.8%
二宮町	5,192	41	0.8%	6	14.6%	5,796	41	0.7%	4	9.8%
中井町	1,435	14	1.0%	2	14.3%	1,697	12	0.7%	0	0.0%
大井町	2,264	15	0.7%	2	13.3%	2,688	23	0.9%	3	13.0%
松田町	1,923	13	0.7%	1	7.7%	2,070	13	0.6%	0	0.0%
山北町	1,976	17	0.9%	1	5.9%	2,121	28	1.3%	6	21.4%
開成町	2,187	13	0.6%	2	15.4%	2,575	27	1.0%	5	18.5%
箱根町	2,076	15	0.7%	6	40.0%	2,239	29	1.3%	2	6.9%
真鶴町	1,532	15	1.0%	5	33.3%	1,675	17	1.0%	4	23.5%
湯河原町	5,105	45	0.9%	5	11.1%	5,556	44	0.8%	4	9.1%
愛川町	5,169	43	0.8%	8	18.6%	6,122	58	0.9%	8	13.8%
清川村	456	9	2.0%	2	22.2%	504	2	0.4%	0	0.0%
(県全体)	1,124,660	9,805	0.9%	1,097	11.2%	1,264,236	11,341	0.9%	1,266	11.2%

*「新規人工透析者数等集計表(令和5年9月提供)」(令和5年度データ分析支援事業として神奈川県保連合会にて独自作成)をもとに集計

*各年度の被保険者数は、元データ作成仕様の相違により、KDBから集計したものと異なることに注意

(資料-19) 大分類による疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(金額単位:円)

疾病大分類	平成30年度	令和2年度	令和4年度	(構成比)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
感染症及び寄生虫症	1,159,703,781	981,739,812	1,061,675,414	1.1%	-8.5%
新生物<腫瘍>	9,070,873,419	10,110,548,444	11,770,180,192	12.0%	29.8%
血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	640,501,753	700,534,303	856,781,903	0.9%	33.8%
内分泌、栄養及び代謝疾患	5,935,648,256	6,396,419,172	6,792,961,065	6.9%	14.4%
精神及び行動の障害	2,466,720,598	2,683,429,824	2,823,262,241	2.9%	14.5%
神経系の疾患	5,499,033,198	5,538,558,816	5,175,762,540	5.3%	-5.9%
眼及び付属器の疾患	3,706,379,545	3,641,727,197	4,195,583,372	4.3%	13.2%
耳及び乳様突起の疾患	264,291,926	255,149,691	297,135,839	0.3%	12.4%
循環器系の疾患	18,535,193,082	19,093,652,387	20,801,041,627	21.2%	12.2%
呼吸器系の疾患	6,753,216,502	6,352,511,980	6,911,532,324	7.0%	2.3%
消化器系の疾患	5,324,564,261	5,648,535,835	6,386,912,150	6.5%	20.0%
皮膚及び皮下組織の疾患	1,095,288,266	1,156,571,428	1,278,985,083	1.3%	16.8%
筋骨格系及び結合組織の疾患	10,420,661,488	10,495,441,510	11,655,031,868	11.9%	11.8%
泌尿器系の疾患	6,904,016,297	7,251,726,776	7,562,127,982	7.7%	9.5%
妊娠、分娩及び産じよく	175,493	64,322	106,100	0.0%	-39.5%
周産期に発生した病態	5,880	1,347	3,779	0.0%	-35.7%
先天奇形、変形及び染色体異常	14,989,939	19,381,263	19,165,183	0.0%	27.9%
症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	1,455,057,632	1,401,659,464	1,557,712,105	1.6%	7.1%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4,737,674,442	5,146,420,802	5,684,177,901	5.8%	20.0%
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	275,170,698	251,446,783	254,299,189	0.3%	-7.6%
特殊目的用コード		50,406,688	2,102,231,037	2.1%	-
その他(上記以外のもの)	1,061,744,204	962,700,260	1,019,569,940	1.0%	-4.0%
(合計)	85,320,910,660	88,138,628,104	98,206,238,834	100.0%	15.1%

* KDB医療費分析(2)(大・中・細小分類) データより集計

(資料-20) 中分類による疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(金額単位:円)

疾病中分類	平成30年度	令和2年度	令和4年度	(構成比)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
その他の心疾患	7,656,708,649	8,445,168,514	9,857,009,107	10.0%	28.7%
腎不全	5,074,244,640	5,360,803,027	5,666,973,397	5.8%	11.7%
その他の悪性新生物<腫瘍>	3,984,693,514	4,565,232,852	5,240,255,155	5.3%	31.5%
骨折	3,602,882,821	3,963,319,772	4,281,263,073	4.4%	18.8%
糖尿病	3,430,104,909	3,785,478,907	4,220,510,769	4.3%	23.0%
その他の消化器系の疾患	3,119,600,351	3,567,831,783	4,148,597,616	4.2%	33.0%
その他の呼吸器系の疾患	2,840,973,903	2,895,700,919	3,380,692,821	3.4%	19.0%
高血圧性疾患	3,225,231,778	3,018,280,090	2,987,728,928	3.0%	-7.4%
その他の眼及び付属器の疾患	2,453,779,092	2,550,239,983	2,890,512,427	2.9%	17.8%
脳梗塞	2,634,651,447	2,763,001,781	2,805,472,202	2.9%	6.5%
骨の密度及び構造の障害	2,585,275,937	2,598,330,958	2,752,369,719	2.8%	6.5%
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,818,490,738	2,114,019,562	2,677,122,005	2.7%	47.2%
脊椎障害(脊椎症を含む)	2,378,585,701	2,177,375,891	2,283,780,473	2.3%	-4.0%
虚血性心疾患	2,359,034,573	2,128,848,203	2,121,154,846	2.2%	-10.1%
その他の特殊目的用コード	0	50,406,688	2,102,231,037	2.1%	-
その他の神経系の疾患	1,708,808,407	1,931,062,700	2,097,711,131	2.1%	22.8%
関節症	1,856,514,684	1,753,002,829	1,966,791,420	2.0%	5.9%
脂質異常症	2,018,531,617	1,919,767,842	1,809,970,904	1.8%	-10.3%
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	1,229,321,046	1,530,574,891	1,769,325,060	1.8%	43.9%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	1,455,057,632	1,401,659,464	1,557,712,105	1.6%	7.1%
アルツハイマー病	2,312,767,040	1,992,474,105	1,532,542,948	1.6%	-33.7%
その他の循環器系の疾患	1,084,298,366	1,099,030,879	1,252,451,804	1.3%	15.5%
炎症性多発性関節障害	905,480,166	1,023,846,399	1,136,561,916	1.2%	25.5%
肺炎	1,414,496,534	1,104,065,931	1,083,971,306	1.1%	-23.4%
白内障	988,233,172	821,651,813	1,041,474,226	1.1%	5.4%
慢性閉塞性肺疾患	937,948,674	1,001,233,153	1,022,991,151	1.0%	9.1%
その他(上記以外のもの)	1,061,744,204	962,700,260	1,019,569,940	1.0%	-4.0%
その他の腎尿路系の疾患	772,830,223	921,216,810	975,578,272	1.0%	26.2%
パーキンソン病	893,980,919	961,973,382	925,861,866	0.9%	3.6%
その他損傷及びその他の外因の影響	744,337,283	769,735,463	925,426,901	0.9%	24.3%

* KDB医療費分析(2)(大・中・細小分類) データより集計

(資料 - 2 1) 市区町村別の医療費上位 5 疾病分類 (令和 4 年度)

市区町村名	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
横浜市鶴見区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	骨折
横浜市神奈川区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	骨折
横浜市西区	その他の心疾患	腎不全	骨折	糖尿病	その他の消化器系の疾患
横浜市中区	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患
横浜市南区	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患
横浜市保土ヶ谷区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	骨折
横浜市磯子区	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病
横浜市金沢区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	その他の消化器系の疾患
横浜市港北区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	糖尿病
横浜市戸塚区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	糖尿病
横浜市港南区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	その他の消化器系の疾患
横浜市旭区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	糖尿病
横浜市緑区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	骨折
横浜市瀬谷区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	その他の消化器系の疾患
横浜市栄区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨折
横浜市泉区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	その他の消化器系の疾患
横浜市青葉区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	その他の消化器系の疾患	骨折
横浜市都筑区	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患
川崎市川崎区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	その他の消化器系の疾患
川崎市幸区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨折
川崎市中原区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病
川崎市高津区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病
川崎市多摩区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	糖尿病
川崎市宮前区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	その他の消化器系の疾患
川崎市麻生区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	その他の消化器系の疾患
相模原市緑区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
相模原市中央区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
相模原市南区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
横須賀市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
平塚市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
鎌倉市	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	腎不全	その他の消化器系の疾患
藤沢市	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	その他の消化器系の疾患	骨折
小田原市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
茅ヶ崎市	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨折
逗子市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	骨折
三浦市	その他の心疾患	腎不全	糖尿病	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折
秦野市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
厚木市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
大和市	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患
伊勢原市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
海老名市	その他の心疾患	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折
座間市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	糖尿病
南足柄市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病
綾瀬市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
葉山町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	腎不全	糖尿病
寒川町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病
大磯町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
二宮町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨の密度及び構造の障害
中井町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病	腎不全
大井町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	その他の呼吸器系の疾患
松田町	その他の心疾患	骨折	腎不全	その他の呼吸器系の疾患	糖尿病
山北町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
開成町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨折
箱根町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	骨折
真鶴町	その他の心疾患	骨折	腎不全	その他の消化器系の疾患	糖尿病
湯河原町	その他の心疾患	腎不全	その他の消化器系の疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他(上記以外のもの)
愛川町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	骨折
清川村	その他の心疾患	その他の神経系の疾患	糖尿病	骨折	高血圧性疾患

* KDB医療費分析(2) (大・中・細小分類) データより集計

(資料-22) 生活習慣病の疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(金額単位：円)

疾病中分類	平成30年度	令和2年度	令和4年度	(構成比)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
くも膜下出血	176,020,219	193,146,848	196,890,659	0.6%	11.9%
その他の悪性新生物<腫瘍>	3,984,693,514	4,565,232,852	5,240,255,155	16.2%	31.5%
その他の脳血管疾患	593,925,248	631,115,281	696,076,795	2.2%	17.2%
悪性リンパ腫	391,640,542	454,977,964	641,291,233	2.0%	63.7%
胃の悪性新生物<腫瘍>	780,224,532	730,675,613	806,804,731	2.5%	3.4%
肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	258,436,886	272,991,361	357,017,840	1.1%	38.1%
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	1,229,321,046	1,530,574,891	1,769,325,060	5.5%	43.9%
虚血性心疾患	2,359,034,573	2,128,848,203	2,121,154,846	6.6%	-10.1%
結腸の悪性新生物<腫瘍>	795,462,265	813,581,728	858,930,416	2.7%	8.0%
高血圧性疾患	3,225,231,778	3,018,280,090	2,987,728,928	9.3%	-7.4%
子宮の悪性新生物<腫瘍>	61,311,237	67,916,356	82,615,381	0.3%	34.7%
脂質異常症	2,018,531,617	1,919,767,842	1,809,970,904	5.6%	-10.3%
腎不全	5,074,244,640	5,360,803,027	5,666,973,397	17.5%	11.7%
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	358,838,397	340,156,304	385,624,227	1.2%	7.5%
糖尿病	3,430,104,909	3,785,478,907	4,220,510,769	13.1%	23.0%
乳房の悪性新生物<腫瘍>	435,034,912	477,075,514	575,213,940	1.8%	32.2%
脳梗塞	2,634,651,447	2,763,001,781	2,805,472,202	8.7%	6.5%
脳動脈硬化(症)	3,758,831	3,817,943	3,924,640	0.0%	4.4%
脳内出血	630,412,105	661,668,917	709,900,220	2.2%	12.6%
白血病	186,989,876	208,844,841	356,033,452	1.1%	90.4%
(生活習慣病計)	28,627,868,574	29,927,956,263	32,291,714,795	100.0%	12.8%
生活習慣病の占める割合	33.6%	34.0%	32.9%		

* KDB医療費分析(2) (大・中・細小分類) データより集計

(資料-23) 市区町村別の重複・頻回・重複投薬者数明細 (令和4年度)

(単位:人)

市区町村名	重複受診	頻回受診	重複服薬	※特定の疾患・治療の対象者を除外した場合の人数(内数)		
				※重複受診	※頻回受診	※重複服薬
横浜市鶴見区	225	142	54	44	65	9
横浜市神奈川区	202	102	33	31	51	8
横浜市西区	84	66	26	15	32	7
横浜市中区	114	116	37	20	58	9
横浜市南区	232	164	38	67	80	12
横浜市保土ヶ谷区	178	154	45	49	80	7
横浜市磯子区	184	131	36	43	65	13
横浜市金沢区	185	174	33	33	80	12
横浜市港北区	292	223	56	46	105	11
横浜市戸塚区	185	118	62	39	60	14
横浜市港南区	304	177	48	85	101	14
横浜市旭区	234	213	51	44	119	13
横浜市緑区	166	77	38	34	37	14
横浜市瀬谷区	94	152	30	22	85	6
横浜市栄区	108	48	28	25	23	6
横浜市泉区	120	110	28	23	53	7
横浜市青葉区	259	97	85	59	45	26
横浜市都筑区	133	94	26	28	44	3
川崎市川崎区	165	153	37	36	74	10
川崎市幸区	182	186	26	34	94	11
川崎市中原区	175	113	26	36	50	6
川崎市高津区	119	120	31	20	56	5
川崎市多摩区	146	137	34	22	70	7
川崎市宮前区	172	111	45	34	51	9
川崎市麻生区	140	89	39	34	53	7
相模原市緑区	66	29	33	12	14	9
相模原市中央区	164	64	35	27	36	7
相模原市南区	212	51	57	31	29	17
横須賀市	321	334	116	74	179	25
平塚市	115	145	45	24	91	11
鎌倉市	200	66	50	33	20	12
藤沢市	336	145	77	72	73	17
小田原市	123	80	44	29	46	11
茅ヶ崎市	153	135	53	33	61	13
逗子市	78	21	14	12	7	5
三浦市	40	30	12	13	16	4
秦野市	76	42	37	11	13	7
厚木市	119	77	34	18	42	4
大和市	133	140	48	36	78	14
伊勢原市	42	38	13	11	17	4
海老名市	62	29	23	15	14	8
座間市	84	66	27	14	32	6
南足柄市	23	6	10	10	3	2
綾瀬市	57	20	24	20	8	7
葉山町	35	13	10	5	6	3
寒川町	22	21	7	7	14	2
大磯町	24	8	10	4	2	2
二宮町	16	5	12	4	2	2
中井町	9	4	6	2	4	3
大井町	8	5	4	3	0	0
松田町	8	2	2	2	1	0
山北町	6	4	4	0	3	2
開成町	10	6	3	3	4	1
箱根町	17	1	3	4	0	1
真鶴町	11	2	3	4	1	1
湯河原町	23	10	10	3	3	3
愛川町	17	10	10	3	6	0
清川村	2	3	0	0	1	0
(県全体)	7,010	4,879	1,828	1,462	2,457	449

* 令和4年度分のレセプトデータより集計

* 「特定の疾患・治療の対象者」とは、癌、精神疾患、認知症、難病、および人工透析の該当者を指す

(資料 - 24) 市区町村別の後発医薬品利用状況明細 (令和4年度)

(金額単位:円)

市区町村名	数量ベース			金額ベース		
	先発薬	後発薬	(後発薬割合)	先発金額	後発金額	(後発薬割合)
横浜市鶴見区	12,280,686	54,288,602	81.6%	726,530,095	910,997,805	55.6%
横浜市神奈川区	12,210,939	43,984,868	78.3%	698,780,957	744,572,885	51.6%
横浜市西区	5,104,280	17,389,640	77.3%	292,236,496	292,702,354	50.0%
横浜市中区	7,814,324	26,046,798	76.9%	433,556,808	457,591,158	51.3%
横浜市南区	12,216,204	44,552,667	78.5%	710,848,664	774,179,586	52.1%
横浜市保土ヶ谷区	12,787,455	49,421,356	79.4%	735,460,722	842,276,162	53.4%
横浜市磯子区	12,075,809	39,428,422	76.6%	654,680,481	682,202,214	51.0%
横浜市金沢区	13,460,975	48,806,120	78.4%	793,091,826	889,113,996	52.9%
横浜市港北区	17,611,939	56,012,206	76.1%	1,000,611,707	986,027,051	49.6%
横浜市戸塚区	13,387,020	65,228,099	83.0%	837,918,518	1,092,851,164	56.6%
横浜市港南区	16,120,316	54,314,752	77.1%	892,521,791	946,382,675	51.5%
横浜市旭区	17,439,401	65,180,165	78.9%	1,002,755,239	1,122,652,176	52.8%
横浜市緑区	8,556,092	39,457,121	82.2%	533,898,279	664,846,872	55.5%
横浜市瀬谷区	6,700,911	32,834,257	83.1%	400,002,852	562,825,916	58.5%
横浜市栄区	7,749,505	32,997,796	81.0%	501,904,387	601,838,141	54.5%
横浜市泉区	9,491,836	40,338,135	81.0%	561,141,120	680,269,230	54.8%
横浜市青葉区	16,450,370	52,309,706	76.1%	987,816,873	934,923,201	48.6%
横浜市都筑区	8,354,372	31,468,844	79.0%	487,621,781	566,540,221	53.7%
川崎市川崎区	10,691,481	45,270,933	80.9%	639,606,896	752,896,569	54.1%
川崎市幸区	8,636,759	32,238,776	78.9%	504,035,743	548,633,122	52.1%
川崎市中原区	10,276,529	31,493,948	75.4%	590,206,724	565,572,558	48.9%
川崎市高津区	9,837,403	35,368,330	78.2%	588,582,898	609,633,321	50.9%
川崎市多摩区	9,461,385	35,748,845	79.1%	577,747,520	626,417,567	52.0%
川崎市宮前区	10,800,034	41,353,740	79.3%	666,944,043	731,050,132	52.3%
川崎市麻生区	9,955,721	34,175,265	77.4%	590,119,912	621,663,154	51.3%
相模原市緑区	8,189,724	38,609,369	82.5%	478,605,443	678,386,323	58.6%
相模原市中央区	15,194,816	55,743,404	78.6%	876,201,896	1,002,795,960	53.4%
相模原市南区	17,611,928	60,307,878	77.4%	1,026,162,282	1,030,502,535	50.1%
横須賀市	34,439,415	112,309,806	76.5%	1,876,134,681	1,953,570,284	51.0%
平塚市	15,731,400	59,844,193	79.2%	860,951,314	1,024,162,732	54.3%
鎌倉市	14,565,911	47,236,748	76.4%	830,201,755	841,330,661	50.3%
藤沢市	25,307,693	91,391,969	78.3%	1,378,312,996	1,568,566,763	53.2%
小田原市	17,412,497	44,669,023	72.0%	984,482,977	760,918,167	43.6%
茅ヶ崎市	14,050,477	55,092,571	79.7%	859,815,296	977,042,263	53.2%
逗子市	4,991,301	15,519,551	75.7%	312,490,381	288,637,909	48.0%
三浦市	4,751,983	15,071,521	76.0%	249,903,577	253,916,369	50.4%
秦野市	11,878,541	34,057,991	74.1%	636,539,142	592,837,488	48.2%
厚木市	14,231,613	43,610,061	75.4%	813,856,677	748,699,425	47.9%
大和市	11,930,865	48,153,487	80.1%	663,214,684	842,272,508	55.9%
伊勢原市	6,727,855	20,574,927	75.4%	376,153,697	376,299,691	50.0%
海老名市	8,881,142	24,715,831	73.6%	502,848,930	420,235,770	45.5%
座間市	7,798,094	27,780,173	78.1%	447,304,649	481,598,587	51.8%
南足柄市	3,043,307	11,297,605	78.8%	194,773,944	190,999,389	49.5%
綾瀬市	4,655,126	19,969,955	81.1%	283,812,586	348,674,235	55.1%
葉山町	2,377,560	8,815,496	78.8%	143,666,995	155,433,580	52.0%
寒川町	3,116,953	10,700,151	77.4%	193,669,623	183,458,940	48.6%
大磯町	2,797,454	9,537,857	77.3%	153,311,692	158,979,921	50.9%
二宮町	2,704,197	8,632,295	76.1%	155,688,295	148,662,401	48.8%
中井町	622,971	2,596,980	80.7%	38,960,542	42,840,812	52.4%
大井町	1,038,700	4,065,964	79.7%	59,982,017	65,536,457	52.2%
松田町	788,222	3,093,037	79.7%	42,045,694	49,303,855	54.0%
山北町	681,595	3,299,097	82.9%	43,707,183	54,666,695	55.6%
開成町	1,089,743	3,883,834	78.1%	59,184,769	66,294,504	52.8%
箱根町	1,084,427	3,447,107	76.1%	57,696,276	59,047,020	50.6%
真鶴町	745,808	2,666,397	78.1%	44,280,068	46,517,129	51.2%
湯河原町	2,828,756	8,500,137	75.0%	172,915,330	149,953,303	46.4%
愛川町	2,483,411	9,192,953	78.7%	139,324,723	155,122,524	52.7%
清川村	356,967	633,778	64.0%	18,189,524	9,402,886	34.1%
(県全体)	543,582,197	1,954,730,536	78.2%	31,383,011,969	33,935,326,314	52.0%

* 令和4年度分のレセプトデータより集計

(資料－25) 75歳以上要介護認定者の主要疾病別人数明細 (令和4年度)

【全体】

(単位：人)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	(計)
認定人数	50,709	56,880	76,621	74,211	58,310	63,499	47,613	427,843
糖尿病	28,793	33,463	43,881	44,333	34,314	36,872	26,954	248,610
糖尿病性神経障害	1,492	2,056	2,509	3,019	2,188	2,237	1,429	14,930
糖尿病性網膜症	5,205	6,380	7,815	8,217	5,783	5,929	3,812	43,141
糖尿病性腎症	2,656	3,238	4,188	4,511	3,263	3,340	2,230	23,426
高血圧症	42,996	49,084	64,994	64,703	50,815	55,613	40,593	368,798
脂質異常症	37,602	42,698	55,319	52,900	40,216	42,753	30,840	302,328
高尿酸血症	9,986	12,079	15,681	16,800	12,608	13,540	9,044	89,738
脳出血	1,060	1,275	2,342	3,054	3,297	4,740	4,613	20,381
脳梗塞	15,606	18,692	29,564	30,810	26,927	31,669	25,594	178,862
虚血性心疾患	20,350	24,409	30,707	32,429	25,103	27,824	20,129	180,951
腎不全	6,144	8,338	10,984	13,447	10,719	12,516	9,018	71,166
人工透析	224	1,179	968	1,910	1,067	1,245	912	7,505
筋・骨格疾患	48,506	55,399	71,775	70,622	55,364	60,759	44,914	407,339
認知症	6,008	5,912	37,675	34,201	35,389	40,107	33,636	192,928
歯肉炎・歯周病	40,823	45,302	58,033	55,256	42,595	46,303	35,058	323,370

【男性】

(単位：人)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	(計)
認定人数	17,181	17,007	26,648	26,102	19,783	19,898	14,463	141,082
糖尿病	10,840	11,033	16,756	16,982	12,527	12,670	9,076	89,884
糖尿病性神経障害	676	870	1,095	1,368	933	898	594	6,434
糖尿病性網膜症	2,226	2,426	3,457	3,599	2,426	2,412	1,621	18,167
糖尿病性腎症	1,234	1,407	1,949	2,171	1,492	1,444	997	10,694
高血圧症	14,664	14,786	22,633	22,576	17,130	17,317	12,359	121,465
脂質異常症	11,900	12,018	18,046	17,474	12,912	12,704	8,929	93,983
高尿酸血症	5,681	6,066	8,734	8,966	6,411	6,397	4,398	46,653
脳出血	468	532	1,087	1,395	1,505	1,811	1,603	8,401
脳梗塞	6,310	6,636	11,534	12,227	10,241	10,923	8,299	66,170
虚血性心疾患	7,827	8,180	11,569	12,099	8,988	9,233	6,638	64,534
腎不全	3,128	3,721	5,375	6,289	4,806	5,151	3,775	32,245
人工透析	148	726	624	1,155	619	649	510	4,431
筋・骨格疾患	15,883	16,142	24,225	24,256	18,390	18,694	13,496	131,086
認知症	2,373	1,904	12,331	11,087	11,057	11,394	8,943	59,089
歯肉炎・歯周病	13,474	13,360	20,134	19,417	14,624	14,857	10,845	106,711

【女性】

(単位：人)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	(計)
認定人数	33,528	39,873	49,973	48,109	38,527	43,601	33,150	286,761
糖尿病	17,953	22,430	27,125	27,351	21,787	24,202	17,878	158,726
糖尿病性神経障害	816	1,186	1,414	1,651	1,255	1,339	835	8,496
糖尿病性網膜症	2,979	3,954	4,358	4,618	3,357	3,517	2,191	24,974
糖尿病性腎症	1,422	1,831	2,239	2,340	1,771	1,896	1,233	12,732
高血圧症	28,332	34,298	42,361	42,127	33,685	38,296	28,234	247,333
脂質異常症	25,702	30,680	37,273	35,426	27,304	30,049	21,911	208,345
高尿酸血症	4,305	6,013	6,947	7,834	6,197	7,143	4,646	43,085
脳出血	592	743	1,255	1,659	1,792	2,929	3,010	11,980
脳梗塞	9,296	12,056	18,030	18,583	16,686	20,746	17,295	112,692
虚血性心疾患	12,523	16,229	19,138	20,330	16,115	18,591	13,491	116,417
腎不全	3,016	4,617	5,609	7,158	5,913	7,365	5,243	38,921
人工透析	76	453	344	755	448	596	402	3,074
筋・骨格疾患	32,623	39,257	47,550	46,366	36,974	42,065	31,418	276,253
認知症	3,635	4,008	25,344	23,114	24,332	28,713	24,693	133,839
歯肉炎・歯周病	27,349	31,942	37,899	35,839	27,971	31,446	24,213	216,659

* 令和4年度分のレセプトデータより集計

(資料-26) 市区町村別の75歳以上要介護認定者の介護給付額明細 (令和4年度)

市区町村名	介護認定者数 (月平均・人)	全体の介護給付額 (百万円)			要介護認定者1人当たり給付額 (円)		
		居宅給付額	施設給付額	(計)	居宅給付額	施設給付額	(計)
横浜市鶴見区	12,221	12,986	5,102	18,088	1,062,530	417,480	1,480,010
横浜市神奈川区	10,564	10,863	5,496	16,359	1,028,306	520,253	1,548,558
横浜市西区	3,981	4,339	1,952	6,291	1,089,779	490,187	1,579,966
横浜市中区	7,533	9,432	2,659	12,090	1,252,003	352,930	1,604,933
横浜市南区	11,050	11,433	5,182	16,615	1,034,696	468,995	1,503,691
横浜市保土ヶ谷区	10,895	10,846	5,764	16,610	995,481	529,058	1,524,539
横浜市磯子区	8,888	8,665	4,047	12,712	974,918	455,322	1,430,240
横浜市金沢区	10,805	9,984	5,217	15,201	924,014	482,883	1,406,897
横浜市港北区	13,460	14,313	5,876	20,189	1,063,409	436,585	1,499,994
横浜市戸塚区	13,686	13,649	7,092	20,741	997,309	518,229	1,515,539
横浜市港南区	11,976	11,592	5,393	16,985	967,940	450,265	1,418,205
横浜市旭区	14,626	13,668	8,624	22,292	934,472	589,586	1,524,058
横浜市緑区	8,022	7,680	5,030	12,710	957,388	627,087	1,584,474
横浜市瀬谷区	7,443	7,601	3,660	11,261	1,021,135	491,750	1,512,885
横浜市栄区	6,880	6,463	3,086	9,550	939,469	448,612	1,388,081
横浜市泉区	8,566	8,733	5,205	13,938	1,019,515	607,671	1,627,185
横浜市青葉区	12,391	12,467	5,844	18,311	1,006,109	471,615	1,477,724
横浜市都筑区	7,313	7,721	3,567	11,288	1,055,870	487,790	1,543,660
川崎市川崎区	11,265	13,250	4,005	17,255	1,176,225	355,490	1,531,715
川崎市幸区	7,522	8,265	2,942	11,207	1,098,815	391,098	1,489,913
川崎市中原区	7,764	8,527	3,249	11,775	1,098,316	418,458	1,516,774
川崎市高津区	8,846	9,295	3,845	13,141	1,050,852	434,721	1,485,572
川崎市多摩区	8,481	8,884	3,810	12,694	1,047,493	449,190	1,496,682
川崎市宮前区	9,369	9,934	3,833	13,767	1,060,228	409,086	1,469,313
川崎市麻生区	8,162	8,312	3,698	12,010	1,018,408	453,141	1,471,549
相模原市	34,991	32,742	15,769	48,511	935,711	450,655	1,386,366
横須賀市	23,929	21,894	11,071	32,965	914,945	462,676	1,377,620
平塚市	12,419	13,046	5,803	18,849	1,050,418	467,282	1,517,700
鎌倉市	11,444	11,184	4,405	15,589	977,276	384,951	1,362,228
藤沢市	21,155	20,164	7,674	27,838	953,160	362,764	1,315,924
小田原市	10,331	10,497	4,589	15,086	1,016,127	444,186	1,460,313
茅ヶ崎市	11,493	10,661	4,659	15,319	927,607	405,356	1,332,963
逗子市	4,244	3,977	1,613	5,589	937,058	379,951	1,317,009
三浦市	3,390	3,166	1,830	4,996	933,901	539,745	1,473,647
秦野市	7,418	7,359	4,471	11,830	992,093	602,740	1,594,833
厚木市	9,090	9,377	4,655	14,033	1,031,675	512,161	1,543,835
大和市	10,803	10,741	4,742	15,484	994,343	439,015	1,433,358
伊勢原市	4,416	4,442	2,101	6,542	1,005,767	475,669	1,481,436
海老名市	5,612	4,905	2,320	7,225	873,999	413,395	1,287,394
座間市	5,928	5,748	2,438	8,186	969,583	411,220	1,380,803
南足柄市	2,287	2,058	1,065	3,123	899,844	465,540	1,365,384
綾瀬市	3,896	3,396	1,838	5,234	871,854	471,706	1,343,560
葉山町	1,921	1,780	880	2,660	926,656	458,298	1,384,954
寒川町	2,159	1,751	1,101	2,852	811,246	509,780	1,321,026
大磯町	1,890	1,720	845	2,565	910,092	447,113	1,357,205
二宮町	1,764	1,528	820	2,348	866,279	465,110	1,331,389
中井町	490	441	263	705	901,057	537,600	1,438,657
大井町	700	636	469	1,105	907,784	670,348	1,578,132
松田町	616	545	388	933	885,113	630,951	1,516,064
山北町	775	643	395	1,038	830,295	509,482	1,339,777
開成町	773	722	399	1,121	934,255	516,724	1,450,979
箱根町	766	620	589	1,209	809,343	769,309	1,578,653
真鶴町	522	493	319	813	945,718	611,838	1,557,556
湯河原町	1,692	1,760	806	2,566	1,040,213	476,418	1,516,631
愛川町	1,899	1,660	1,241	2,901	874,094	653,626	1,527,719
清川村	153	151	121	272	989,063	793,277	1,782,340
(県全体)	440,671	438,709	203,859	642,568	995,546	462,610	1,458,156

* KDB健康スコアリング (介護) より集計

【参 考】

(参考 - 1) 本計画書で使用した疾病分類表 (1/2)

分類コード	中分類別疾患	生活習慣病	対応する大分類
b-0101 b-0102 b-0103 b-0104 b-0105 b-0106 b-0107 b-0108 b-0109	腸管感染症 結核 主として性的伝播様式をとる感染症 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患 ウイルス性肝炎 その他のウイルス性疾患 真菌症 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 その他の感染症及び寄生虫症		感染症及び寄生虫症
b-0201 b-0202 b-0203 b-0204 b-0205 b-0206 b-0207 b-0208 b-0209 b-0210 b-0211	胃の悪性新生物<腫瘍> 結腸の悪性新生物<腫瘍> 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍> 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 乳房の悪性新生物<腫瘍> 子宮の悪性新生物<腫瘍> 悪性リンパ腫 白血病 その他の悪性新生物<腫瘍> 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	(対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象)	新生物<腫瘍>
b-0301 b-0302	貧血 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
b-0401 b-0402 b-0403 b-0404	甲状腺障害 糖尿病 脂質異常症 その他の内分泌、栄養及び代謝障害	(対象) (対象)	内分泌、栄養及び代謝疾患
b-0501 b-0502 b-0503 b-0504 b-0505 b-0506 b-0507	血管性及び詳細不明の認知症 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 気分（感情）障害（躁うつ病を含む） 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 知的障害（精神遅滞） その他の精神及び行動の障害		精神及び行動の障害
b-0601 b-0602 b-0603 b-0604 b-0605 b-0606	パーキンソン病 アルツハイマー病 てんかん 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 自律神経系の障害 その他の神経系の疾患		神経系の疾患
b-0701 b-0702 b-0703 b-0704	結膜炎 白内障 屈折及び調節の障害 その他の眼及び付属器の疾患		眼及び付属器の疾患
b-0801 b-0802 b-0803 b-0804 b-0805 b-0806 b-0807	外耳炎 その他の外耳疾患 中耳炎 その他の中耳及び乳様突起の疾患 メニエール病 その他の内耳疾患 その他の耳疾患		耳及び乳様突起の疾患
b-0901 b-0902 b-0903 b-0904 b-0905 b-0906 b-0907 b-0908 b-0909 b-0910 b-0911	高血圧性疾患 虚血性心疾患 その他の心疾患 くも膜下出血 脳内出血 脳梗塞 脳動脈硬化（症） その他の脳血管疾患 動脈硬化（症） 低血圧（症） その他の循環器系の疾患	(対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象)	循環器系の疾患
b-1001 b-1002 b-1003 b-1004 b-1005 b-1006 b-1007 b-1008 b-1009 b-1010 b-1011	急性鼻咽喉炎（かぜ） 急性咽喉炎及び急性扁桃炎 その他の急性上気道感染症 肺炎 急性気管支炎及び急性細気管支炎 アレルギー性鼻炎 慢性副鼻腔炎 急性又は慢性と明示されない気管支炎 慢性閉塞性肺疾患 喘息 その他の呼吸器系の疾患		呼吸器系の疾患

(次ページにつづく)

(参考 - 1) 本計画書で使用した疾病分類表 (2/2)

分類コード	中分類別疾患	生活習慣病	対応する大分類
b-1101	う蝕		消化器系の疾患
b-1102	歯肉炎及び歯周疾患		
b-1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害		
b-1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍		
b-1105	胃炎及び十二指腸炎		
b-1106	痔核		
b-1107	アルコール性肝疾患		
b-1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）		
b-1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）		
b-1110	その他の肝疾患		
b-1111	胆石症及び胆のう炎		
b-1112	脾疾患		
b-1113	その他の消化器系の疾患		
b-1201	皮膚及び皮下組織の感染症		皮膚及び皮下組織の疾患
b-1202	皮膚炎及び湿疹		
b-1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患		
b-1301	炎症性多発性関節障害		筋骨格系及び結合組織の疾患
b-1302	関節症		
b-1303	脊椎障害（脊椎症を含む）		
b-1304	椎間板障害		
b-1305	頸腕症候群		
b-1306	腰痛症及び坐骨神経痛		
b-1307	その他の脊柱障害		
b-1308	肩の障害		
b-1309	骨の密度及び構造の障害		
b-1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患		
b-1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	(対象)	尿路性器系の疾患
b-1402	腎不全		
b-1403	尿路結石症		
b-1404	その他の腎尿路系の疾患		
b-1405	前立腺肥大（症）		
b-1406	その他の男性生殖器の疾患		
b-1407	月経障害及び閉経周辺期障害		
b-1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患		
b-1501	流産		妊娠、分娩及び産じょく
b-1502	妊娠高血圧症候群		
b-1503	単胎自然分娩		
b-1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく		
b-1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害		周産期に発生した病態
b-1602	その他の周産期に発生した病態		その他の周産期に発生した病態
b-1603	その他の周産期に発生した病態		
b-1701	心臓の先天奇形		先天奇形、変形及び染色体異常
b-1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常		
b-1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの		症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの
b-1901	骨折		損傷、中毒及びその他の外因の影響
b-1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷		
b-1903	熱傷及び腐食		
b-1904	中毒		
b-1905	その他損傷及びその他外因の影響		
b-2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者		健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
b-2102	予防接種		
b-2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画		
b-2104	歯の補てつ		
b-2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者		
b-2106	その他の理由による保健サービスの利用者		
b-2210	重症急性呼吸器症候群（SARS）		特殊目的用コード
b-2220	その他の特殊目的用コード		
	傷病及び死亡の外因		傷病及び死亡の外因
	その他（上記以外のもの）		その他（上記以外のもの）

(参考-2) 本計画書で使用した死因分類表(死因簡単分類) (1/2)

上位	中位	死因簡単分類コード	分類名	死因基本分類コード(ICD10)
○		01000	感染症及び寄生虫症	A00~B99
	○	01100	腸管感染症	A00~A09
	○	01200	結核	A15~A19
		01201	呼吸器結核	A15~A16
		01202	その他の結核	A17~A19
	○	01300	敗血症	A40~A41
	○	01400	ウイルス性肝炎	B15~B19
		01401	B型ウイルス性肝炎	B16~B17.0, B18.0~B18.1
		01402	C型ウイルス性肝炎	B17.1, B18.2
		01403	その他のウイルス性肝炎	B15~B19の残り
	○	01500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	B20~B24
	○	01600	その他の感染症及び寄生虫症	A00~B99の残り
○		02000	新生物<腫瘍>	C00~D48
	○	02100	悪性新生物<腫瘍>	C00~C96
		02101	口唇、口腔及び咽喉頭の悪性新生物<腫瘍>	C00~C14
		02102	食道の悪性新生物<腫瘍>	C15
		02103	胃の悪性新生物<腫瘍>	C16
		02104	結腸の悪性新生物<腫瘍>	C18
		02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	C19~C20
		02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	C22
		02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	C23~C24
		02108	膵の悪性新生物<腫瘍>	C25
		02109	喉頭の悪性新生物<腫瘍>	C32
		02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	C33~C34
		02111	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	C43~C44
		02112	乳房の悪性新生物<腫瘍>	C50
		02113	子宮の悪性新生物<腫瘍>	C53~C55
		02114	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	C56
		02115	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61
		02116	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	C67
		02117	中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	C70~C72, C75.1~C75.3
		02118	悪性リンパ腫	C81~C86
		02119	白血病	C91~C95
		02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	C88~C90, C96
		02121	その他の悪性新生物<腫瘍>	C00~C96の残り
	○	02200	その他の新生物<腫瘍>	D00~D48
		02201	中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	D32~D33, D35.2~D35.4, D42~D43, D44.3~D44.5
		02202	中枢神経系を除くその他の新生物<腫瘍>	D00~D48の残り
○		03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D50~D89
	○	03100	貧血	D50~D64
	○	03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D65~D89
○		04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	E00~E88
	○	04100	糖尿病	E10~E14
	○	04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	E00~E88の残り
○		05000	精神及び行動の障害	F01~F99
	○	05100	血管性及び詳細不明の認知症	F01~F03
	○	05200	その他の精神及び行動の障害	F01~F99の残り
○		06000	神経系の疾患	G00~G98
	○	06100	髄膜炎	G00~G03
	○	06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12
	○	06300	パーキンソン病	G20
	○	06400	アルツハイマー病	G30
	○	06500	その他の神経系の疾患	G00~G98の残り
○		07000	眼及び付属器の疾患	H00~H57
○		08000	耳及び乳様突起の疾患	H60~H93
○		09000	循環器系の疾患	I00~I99
	○	09100	高血圧性疾患	I10~I15
		09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	I11, I13
		09102	その他の高血圧性疾患	I10, I12, I15
	○	09200	心疾患(高血圧性を除く)	I01~I02.0, I05~I09, I20~I25, I27, I30~I51
		09201	慢性リウマチ性心疾患	I05~I09
		09202	急性心筋梗塞	I21~I22
		09203	その他の虚血性心疾患	I20, I24~I25
		09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	I34~I38
		09205	心筋症	I42
		09206	不整脈及び伝導障害	I44~I49
		09207	心不全	I50
		09208	その他の心疾患	I01~I02.0, I27, I30~I33, I40, I51
	○	09300	脳血管疾患	I60~I69
		09301	くも膜下出血	I60, I69.0
		09302	脳内出血	I61, I69.1
		09303	脳梗塞	I63, I69.3
		09304	その他の脳血管疾患	I60~I69の残り
	○	09400	大動脈瘤及び解離	I71
	○	09500	その他の循環器系の疾患	I00~I99の残り

(次ページにつづく)

(参考-2) 本計画書で使用した死因分類表(死因簡単分類) (2/2)

上位	中位	死因簡単 分類コード	分類名	死因基本分類コード(ICD10)
○		10000	呼吸器系の疾患	J00~J98
	○	10100	インフルエンザ	J09~J11
	○	10200	肺炎	J12~J18
	○	10300	急性気管支炎	J20
	○	10400	慢性閉塞性肺疾患	J41~J44
	○	10500	喘息	J45~J46
	○	10600	その他の呼吸器系の疾患	J00~J98の残り
		10601	誤嚥性肺炎	J69
		10602	間質性肺疾患	J84
		10603	その他の呼吸器系の疾患(10601及び10602を除く)	J00~J98の残り(J69,J84を除く)
○		11000	消化器系の疾患	K00~K92
	○	11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	K25~K27
	○	11200	ヘルニア及び腸閉塞	K40~K46, K56
	○	11300	肝疾患	K70~K76
		11301	肝硬変(アルコール性を除く)	K74.3~K74.6
		11302	その他の肝疾患	K70~K76の残り
	○	11400	その他の消化器系の疾患	K00~K92の残り
○		12000	皮膚及び皮下組織の疾患	L00~L98
○		13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	M00~M99
○		14000	腎尿路生殖器系の疾患	N00~N98
	○	14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	N00~N15
	○	14200	腎不全	N17~N19
		14201	急性腎不全	N17
		14202	慢性腎臓病	N18
		14203	詳細不明の腎不全	N19
	○	14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	N00~N98の残り
○		15000	妊娠、分娩及び産じょく	O00~O99
○		16000	周産期に発生した病態	P00~P96
	○	16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	P05~P08
	○	16200	出産外傷	P10~P15
	○	16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	P20~P29
	○	16400	周産期に特異的な感染症	P35~P39
	○	16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	P50~P61
	○	16600	その他の周産期に発生した病態	P00~P96の残り
○		17000	先天奇形、変形及び染色体異常	Q00~Q99
	○	17100	神経系の先天奇形	Q00~Q07
	○	17200	循環器系の先天奇形	Q20~Q28
		17201	心臓の先天奇形	Q20~Q24
		17202	その他の循環器系の先天奇形	Q25~Q28
	○	17300	消化器系の先天奇形	Q35~Q45
	○	17400	その他の先天奇形及び変形	Q00~Q89の残り
	○	17500	染色体異常、他に分類されないもの	Q90~Q99
○		18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00~R99
	○	18100	老衰	R54
	○	18200	乳幼児突然死症候群	R95
	○	18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00~R99の残り
○		20000	傷病及び死亡の外因	V01~Y89
	○	20100	不慮の事故	V01~X59
		20101	交通事故	V01~V98
		20102	転倒・転落・墜落	W00~W17
		20103	不慮の溺死及び溺水	W65~W74
		20104	不慮の窒息	W75~W84
		20105	煙・火及び火炎への曝露	X00~X09
		20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	X40~X49
		20107	その他の不慮の事故	W00~X59の残り
	○	20200	自殺	X60~X84
	○	20300	他殺	X85~Y09
	○	20400	その他の外因	Y10~Y89
○		22000	特殊目的用コード	U00~U49
	○	22100	重症急性呼吸器症候群(SARS)	U04
	○	22200	その他の特殊目的用コード	U00~U49の残り

(参考 - 3) 健康診査結果のリスク判定基準

リスク項目	条件
肥満リスクあり	BMI \geq 25
血圧リスクあり	次のいずれかを満たす者 ①収縮期血圧 \geq 140 ②拡張期血圧 \geq 90
脂質リスクあり	次のいずれかを満たす者 ①中性脂肪 \geq 300 ②HDL $>$ 0 かつ HDL $<$ 35 ③LDL \geq 140 ④non-HDL \geq 170
血糖リスクあり	次のいずれかを満たす者 ①空腹時血糖 \geq 126の場合 ②HbA1c \geq 6.5 ③随時血糖 \geq 126 かつ 食後3.5時間 \leq 採血時間 $<$ 10時間
肝機能リスクあり	次のいずれかを満たす者 ①AST(GOT) \geq 51 ②ALT(GPT) \geq 51 ③ γ -GT \geq 101
痩身リスクあり	BMI $<$ 18.5

(参考 - 4) 後期高齢者質問票のリスク判定基準

リスク項目	条件
健康状態リスクあり	「あなたの現在の健康状態はいかがですか」が 4：あまりよくない / 5：よくない のいずれか
心の健康状態リスクあり	「毎日の生活に満足していますか」が 3：やや不満 / 4：不満 のいずれか
食習慣リスクあり	「1日3食きちんと食べていますか」が いいえ
口腔機能リスクあり	下記のいずれかに該当する 「半年前に比べ固いものが食べにくくなりましたか」が はい 「お茶や汁物等でむせることがありますか」が はい
体重変化リスクあり	「6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」が はい
運動・転倒リスクあり	下記のいずれかに該当する 「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」が はい 「この1年間に転んだことがありますか」が はい 「ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」が いいえ
認知機能リスクあり	下記のいずれかに該当する 「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか」が はい 「今日が何月何日かわからない時がありますか」が はい
喫煙リスクあり	「あなたはたばこを吸いますか」が 吸っている/やめた のいずれか
社会参加リスクあり	下記のいずれかに該当する 「週に1回以上は外出しますか」が いいえ 「ふだんから家族や友人との付き合いがありますか」が いいえ
ソーシャルサポートリスクあり	「体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか」が いいえ

(参考 - 5) 本計画書で使用したフレイル該当疾病分類

フレイル系疾患	ICD-10 コードの先頭	分類名
筋骨格系	M00～M25	関節障害
	M40～M54	脊柱障害
	M80	骨粗しょうく鬆> 症 <オステオポロシス> , 病的骨折を伴うもの
	M81	骨粗しょうく鬆> 症 <オステオポロシス> , 病的骨折を伴わないもの
	M82	他に分類される疾患における骨粗しょうく鬆> 症 <オステオポロシス>
	S02	頭蓋骨及び顔面骨の骨折
	S12	頸部の骨折
	S22	肋骨, 胸骨及び胸椎骨折
	S32	腰椎及び骨盤の骨折
	S42	肩及び上腕の骨折
	S52	前腕の骨折
	S62	手首及び手の骨折
	S72	大腿骨骨折
	S82	下腿の骨折, 足首を含む
	S92	足の骨折, 足首を除く
	T02	多部位の骨折
	T08	脊椎骨折, 部位不明
T10	上肢の骨折, 部位不明	
T12	下肢の骨折, 部位不明	
肺炎	J12	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの
	J13	肺炎連鎖球菌による肺炎
	J14	インフルエンザ菌による肺炎
	J15	細菌性肺炎, 他に分類されないもの
	J16	その他の感染病原体による肺炎, 他に分類されないもの
	J17	他に分類される疾患における肺炎
	J18	肺炎, 病原体不詳
	J69	固形物及び液状物による肺臓炎
貧血・低栄養等	D50～D53	栄養性貧血
	D55～D59	溶血性貧血
	D60～D64	無形成性貧血及びその他の貧血
	E46	詳細不明のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調 (症)
	N393	緊張性<腹圧性>尿失禁
	N394	その他の明示された尿失禁
R32	詳細不明の尿失禁	
オーラルフレイル	K02	う<嚙>蝕
	K05	歯肉炎及び歯周疾患
	K08	歯及び歯の支持組織のその他の障害
	T888	外科的及び内科的ケアのその他の明示された合併症, 他に分類されないもの (注) 歯科レセプトのみ対象とする)
精神的フレイル	F00	アルツハイマー<Alzheimer> 病の認知症
	F01	血管性認知症
	F02	他に分類されるその他の疾患の認知症
	F03	詳細不明の認知症
	F32	うつ病エピソード
	F33	反復性うつ病性障害
	G30	アルツハイマー<Alzheimer> 病

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）

令和6年3月

神奈川県後期高齢者医療広域連合
所在地：〒221-0052
神奈川県横浜市神奈川区栄町8番地 1
ヨコハマポートサイドビル9階
代表電話：045-440-6700
